

第七十五回帝國議會 衆議院 東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第六回

付託議案
東北興業株式會社法中改正法律案
(政府提出)(第四三號)
東北興業株式會社法中改正法律案(政府提出)(第四四號)

會議

昭和十五年二月二十七日(火曜日)午前十時三十五分開議

出席委員 左ノ如シ

委員長 野村 嘉六君

理事 森田重次郎君 理事 林 平馬君

理事 庄司 一郎君

栗山 博君

高橋壽太郎君

大内竹之助君

熊谷 直太君

井上 知治君

菊地養之輔君

小野 謙一君

出席政府委員 左ノ如シ

內閣東北局長 宇都宮孝平君

內務省地方局長 挾間 茂君

文部政務次官 子爵舟橋 清賢君

農林省山林局長 田中 長茂君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

東北興業株式會社法中改正法律案(政府提出)

東北振興電力株式會社法中改正法律案(政府提出)

○庄司委員長代理 兩法案ノ繼續委員會ヲ

是ヨリ開會致シマス——森田君

○森田委員 私ノ居リマセヌ間ニ農林大臣

ガ才見エニナリマシテ、木炭ノ問題ニ對シ

テ質疑應答ガアツタヤウデアリマスガ、私ハ

狙ヒ所トソレカラ具體的ナ事項ニ付テ、モウ

少シ農林省ノ意向ヲ確メテ置キタイト思ヒマ

スカラ、成ルベク重複シナイヤウニ、出來ルダ

ケ簡單ニ要點ダケ御同致シタイト思ヒマス

先ツ木炭ノ不足ニナリマシタ原因ニ付

テ、農林省ハドウ考ヘテ居ルカト云フコ

トデアリマスガ、併シ之ヲ細々トヤツテ居

リマス時間ガ掛リマスカラ、私ハ此處デ

大體私ノ考ヘテ居ルコトヲ申上ゲマシテ、

之ニ付テ其ノ通り御認メ下サルカドウカト

云フコトヲ聽イタ方ガ宜イト思ヒマスノ

デ、サウ云フ風ニ致シタイト思ヒマス、木

炭不足ノ原因ハ、第一ニ勞力ノ不足ト、二

番目ニ車馬ガ微發セラレテ運輸關係ガ非常

ニ圓滑デナイ、三番目ニ貨車ノ配給ガ不圓

滑デアル、ソレカラ四番目ニ「ガソリン」ノ

節約關係カラ貨物自動車ガ非常ニ不足ヲ致

シテ居ル、以上ノヤウナ事情ガアルノミナ

ラズ、原木ガ非常ニ高クナツテ來テ居ル、

斯ウ云フヤウナ事情ニ加ヘテ、逆ニ需要ガ

「ガソリン」代用其ノ他デ多クナツテ居リマ

スコトカラ、結局相對的ニ需要ニ對シ生産

ト云フモノガ非常ニ減ツタコトニナリ、而

モ其ノ減ツタモノニ加ヘテ公定價格ガ不適

正デアツテ、闇取引デナケレバ取引ガ出來

ナイト言ツタヤウナ、一ツノ客觀的ナ事情

ガ起ツタコトガ、此ノ木炭ノ供給ヲ非常ニ

不足ニシタ原因ダ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居

ルノデアリマスガ、是等ノ點ニ付テ農林省

ハドウ云フ御考ヲ持ツテ居デニナリマス

カ、其ノ點ヲ一ツ伺ツテ置キタイト思フノ

デアリマス

及ビ季節時期等ニ付キマシテハ、ソレ等ノ

諸條件ニ付テ多少ノ違ヒハアルヤウデアリ

マスルガ、大體ニ於テ御說明ハ要シナイト

思ツテ居リマス、一々御說明ハ要シナイト

云フ御話デアリマスカラ、御説ニ付テハ大

體同感ノヤウデアリマス

○森田委員 ソコデ斯ウ云フヤウナ原因デ

生産力ガ擴充サレナイ、ソレト價格ノ關係

デ供給ガ非常ニ不圓滑ニナツテ居ル、斯ウ

云フコトニナリマス、コ、ニ生産ヲ増シ

同時ニ圓滑ナ配給ヲスル爲ニハ、私ハヤハ

リ他ノ一般物價ト照シ合セテ適當ダと思ハ

レル、所謂「適正價格」ト云フモノガ決メラ

レナイ限りハ木炭ト云フモノハ決シテ多ク

ナラナイモノダ、供給モ滑ラカニナルモノ

デハナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデア

リマスガ、此ノ點ニ對シマシテ、ドウ云フ

考ヲ御持デアリマスカ之ヲ伺ツテ置キタイ

ト思ヒマス

○田中政府委員 實ハ増産ヲ刺戟スル一ツ

ノ大キナ要素ハ、御話ノヤウニ價格ヲ上ゲ

ルト云フコトデアルト思フノデアリマス

ガ、御承知ノ通りニ價格ヲ上ゲルト云フ其

ノ事ハ、低物價政策ニ對シテノ大キナ影響

ヲ與ヘル關係、ソレカラ木炭ハ全國民ノ消

費物デアアル、一部ノ人ノ消費デハナクシテ

全國民ノ消費對象物デアルト云フヤウナ關

係カラ、消費者ニ對スル値上ニ依ル影響ト

云フモノガアル關係等カラ致シマシテ、價

格ヲ上ゲルト云フコトニ付キマシテハ、吾々

アリマス、殊ニ此ノ時期ニ於キマシテハ、

吾々事務當局ダケノ問題デハナイヤウニ

吾々ハ考ヘマスノデ、此ノ價格ノ問題ニ付テ

ノ値上ト云フコトハ、只今ノ所考ヘテハ

居ナイノデアリマス、隨ヒマシテソレニ

依ル増産減ト云フコトガ多少トモ考ヘラ

レルノデアリマスルガ、ソレニ付キマシテ

ハ、例ヘバ原木ノ供給ニ付キマシテハ、地

方ニ於テ當業者ノ方々或ハ地方廳ノ關係ノ

當局ト云フヤウナ方々ヲ、協議會ト言ヒマ

スカ、御集リヲ願ツテ、原木ノ供給ト云フ

問題ニ付テ御相談ヲスル、或ハ勿論各縣デ相

當オヤリニナツタヤウニ、山ノ所有者ノ方

ニ對シテ、御無理デアツテモ此ノ際相

當出來ル限りノ安價提供ヲ御願スル、其ノ

他製炭能率ノ増加ニ付テハ、炭窯ノ構築助

成等モアリマスルガ、ソレニ伴フ炭窯ノ改

良デアリマスルカ、或ハ勞働能率、製炭能

率ノ向上ニ關スル色々指導等ヲヤル、サ

ウシテ出來ル限りノ生産費ノ低下ヲ圖ルト

云フヤウナ方法ヲ講ジマシテ、更ニ出來得

マスレバ配給過程ニ於ケル不合理性ヲ成ベ

ク合理的ニ致シマシテ、ソレノ關係業

者ニ均分ニ利益ガ行クヤウニスルト云フヤ

ウナ方法、其ノ他共同製炭ト云フヤウナ

方法ヲ講ジマシテ、生産費ノ低下、利潤ノ

歩留リノ増加ト云フヤウナコトヲ出來ルダ

ケ講ジテ行キタイ、其ノ上尙ホ生産ガ不足

スルト云フコトハ、是ハモウ分ツテ居リマ

スノデ、敢テ需給ノ調整ヲスルト云フヤウ

○森田委員 色々御意見ヲ承リマシタガ、ソコデ學生ヲ總動員スルトカ、或ハ青年團其ノ他ノモノヲ利用スルトカ、或ハ或ル縣ニ於テハ縣知事ガ自ラ出動シテ、色々勸誘スルトカノコトヲ色々オヤリニナツテ居ルヤウデアリマスガ、サウ云ツタヤウナコトハ非常ニ觀念的ナコトデ、無イヨリハ宜イデセウケレドモ、ソシテコトデ木炭ノ増産ヲ圖ラウト致シマシテモ容易デナイ、結局私等ノ考カラ見マスト、適正ナル木炭價格ト云フコトニナラナケレバイケナイ、此ノ適正ト云フノハ、要スルニ他ノ物價ト比較シテ見テ、ソレガ適當ナ價格デナケレバナラス、ト云フコトニナラナケレバイカスノデハナイカト思フ、生産費ノ構成要素ト云フノハ何々デアアルカト言ヒマスト、木炭ニ於テハ第一ニ原木、第二ニ勞賃、第三ニ運賃、第四ニ金利、第五ニ利潤、此ノ五ツノ要素ガ集ツテ初メテ適正價格ト云フコトニナル、而モ他ノ平均物價ト平衡ガ取レルト云フ所ニ行カケレバイカスと思フ、現在公定價格ニ依ツテ最高ノ價格ハ決メラレテ居リマス、是ハ其ノ通り便宜デアリマセウガ、然ラバ原木ヲドウナサツテオ居デニナルカ、原木ノ値上リヲ統制ナサツテオ居デニナルカト云ヘバ、ナサツテ居ナイ、勞賃ノ高クナルヲ御止メナサツテ居ルノカト云ヘバ、是モナサツナイ、運賃ハドウカ、金利ハドウカ、利潤ハドウカ、是等ハ或ル程度マデ統制ガ出來ルデアリマセウガ、一番問題ニナルノハ、原木ト勞賃ト運賃、此ノ三ツガ皆統制ガ付イテ居リ、コレニ最小限度ニ於ケル利潤ト云フモノヲ加味シタモノデナイト本當ノ價格ニナラナイと思フ、是ハ原則トシテ恐ラク農林省モ御認メナサ

ルノデハナイカト思フノデアリマス、是モクド／＼申上ゲルト時間ヲ取リマスカラ私申上ゲマセヌガ、原木、勞賃、並ニ運賃ノ統制ヲ爲サナケレバ、炭ノ生産力擴充ニナラナイノダト云フ此ノ原則ヲ農林省ニ於テモ御認メ爲サツテ居ルノカドウカ、此ノ點ヲ御伺致シマス

○田中政府委員 御話ノヤウニ勞賃ト運賃、ソレカラ原木、此ノ三ツガ大キナ生産費デアリマス、其ノ點ニ付キマシテ、勿論國トシテハ九・一八ノアノ價格統制令ニ依ツテ「ストップ」サレテ居リマスルガ、事實ハ地方的ニハドウモ其ノ九・一八ノ價格ト云フモノ、其ノモノガ色々アルヤウデアリマシテ、中々困難ナ事情ガアルヤウデアリマス、假ニ九・一八ニ致シマシテモ、ソレマデニ相當「トラック」トカ牛馬車賃トカ云フモノガ既ニ上ツテ居リマス、隨ヒマシテ價格ガソレダケ上ツタカト云フト、必ズシモ地方的ニハサウデナイ、殊ニ出シノ不便ナ所ハ餘計ソレニ伴ツテ居ナイト云フヤウナ事情ニアリマス、ソレカラ原木ノ問題ニ付キマシテモ、實ハ原木ノ價格ノ統制ト云フモノヲ考ヘテモ見マシタケレドモ、是ハモウ實際家モ御反對ニナツテ居ルヤウニ、中是ハ難カシイ問題デス、隨ヒマシテ先程申上ゲマシタヤウナ原木ノ供給ニ付テノ打合會ヲ地方的ニ設ケテ、サウシテ成ベク出來ルダケノ範圍ニ於テ、合理的ニ供給ラスルト云フヤウナコトヲ只今ノ所ハヤル以上ニハ方法ハナカラウ、ノミナラズ、ドウモ甚ダ此ノ點ハ遺憾デアリマスルガ、御話ノ諸點ヲ木炭ニ付テノミ考ヘルト云フコトガ非常ニ困難デアリマス、又木炭ノ燒歩ヲ非常ニ統制スルト、却テ炭燒ガ逃ゲテシマフ、

御承知ノ通り燒歩ヲ倍ニデモ致シマシタナラバ宜イカモ知レマセヌガ、併シアノ生活ヲ眺メテ考ヘマスニ、里近ク行ケバ、高等小學ヲ出タ子供デサヘモ、二圓トカ三圓トカ一日ニ收入ガアルト云フ状態デアリマスカラ、夫婦共稼デ木炭ノ燒歩ニ付テハ二圓五十錢トカ、三圓トカ取ツタノデハツマラスト云フ感ジヲ持チマスガ、ソレヲ六圓ニスルト云フヤウナコトニナリマス、是ハ非常ニ値上ニナリマスカラ、中々其ノ邊ガ難カシイノデ、木炭ニ關スル限リダケノ問題デナイノデ、吾々トシテハ甚ダ遺憾デアルケレドモ惱シデ居ルノデアリマス、之ニ對シテハソレヲ放任シテ居ルノデハナイノデアリマシテ、十五年度ノ豫算ニモ原木ノ共同購入ニモ極ク僅カデアリマスガ、補給金ノ助成デアリマス、或ハ林道ノ擴充デアリマス、炭窯設置ノ助成トカ云フコトヲヤツテ、出來ルダケノ緩和ヲ圖ツテハ居リマスルガ、必ズシモソレデ以テ十分トハ考ヘテ居ナイノデアリマス、殊ニ此ノ供給ハ吾々ト致シマシテハ、相當増加スルト思ヒマス、六億五千萬貫ノ基準數量ニ對シテ、十四年度ノ一億四千萬貫ト計畫通りニハ參ラヌト思ヒマス、相當ノ所マデ行クト思ヒマス、十五年度ニ於テハ更に増産ヲスル積リデ居リマスガ、計畫通りニ參リマセヌニシテモ、相當計畫ニ近ク行クト思ヒマス、併シ一方需要ガ石炭ノ規正、瓦斯ノ規正、鑛工業ニ於ケル需要ノ増加ト云フヤウナコトガアリマス、中々其ノ供給ヲ何シテモ追付カナイト思ヒマス、連モ此ノ現狀ノ生産狀件、林力、林業ノ狀態デハ追付カナイト思ツテ居リマス、御話ノ通

リ大體ニ於テハドウモ御説ニ遺憾ナガラ贊同セザルヲ得ナイ、併シソレニ對シテハ出來ルダケ吾々トシテハ努力シテ居ル、又シテ行キタイト考ヘルノデアリマス

○森田委員 成程農林省ノ立場竝ニ木炭ト云フ一ツノ限定サレタコトガ目標ニナリマス限り、只今ノ御答辯ヨリ外仕方ガナイダラウト私ハ思フノデアリマスガ、併シ結局ニ於テハハリ全國的ニ勞力統制、運賃統制、資材價格ノ統制、コマデ行クノデナケレバ統制經濟ト云フモノハ到底成立ツモノデナイト斯ウ私等ハ思フノデアリマス、此ノ戰時經濟ニ於テハ國民各自犧牲ヲ拂ハナケレバナラナイノデアリマス、其ノ犧牲ガ平均シテサヘ居レバ、國民ノ間ニ不平等ヲ起ラナイト私ハ思フノデアリマス、ソコデ只今ノ御説明ニナリマス所ニ依リマス、結局原木ノ統制、勞賃ノ統制、或ハ運賃ノ統制ハ非常ニ困難ナコトデ、今早急ニ手ヲ著ケラレナイト云フ御説明ノヤウデアリマスルガ、是ハ私等ノ希望ト致シマシテハ、出來ルダケ早くサウ云フヤウナ徹底シタ統制ニマデ入ツテ戴キタイト云フコトヲ希望致シテ置ク譯デアリマス、ソコデ木炭ノ實際計算ヲ青森縣ニ於テ致シテ見タノデアリマスガ、ソレニ依レバ、昭和十四年ノ八月十五日現在デ櫛割ノ黒炭ヲ標準トシテデアリマスガ、百貫及當リドレ位掛ルカト聽イテ見タ所、原木代ガ三圓九十六錢、製炭費ガ十四圓、俵裝費ガ二圓九十錢、運搬費ガ七圓十五錢、是ハ若干不定ナモノガアル譯デアリマスガ、私ノ方デハ三戸ト云フ町ノ驛マデ出シタ仕切ニシテ運搬費ヲ七圓十五錢ト見タノデアリマス、雜費ガ一圓九十七錢五厘、金利ガ四錢九厘、合計三十圓四十七錢

御承知ノ通り燒歩ヲ倍ニデモ致シマシタナラバ宜イカモ知レマセヌガ、併シアノ生活ヲ眺メテ考ヘマスニ、里近ク行ケバ、高等小學ヲ出タ子供デサヘモ、二圓トカ三圓トカ一日ニ收入ガアルト云フ状態デアリマスカラ、夫婦共稼デ木炭ノ燒歩ニ付テハ二圓五十錢トカ、三圓トカ取ツタノデハツマラスト云フ感ジヲ持チマスガ、ソレヲ六圓ニスルト云フヤウナコトニナリマス、是ハ非常ニ値上ニナリマスカラ、中々其ノ邊ガ難カシイノデ、木炭ニ關スル限リダケノ問題デナイノデ、吾々トシテハ甚ダ遺憾デアルケレドモ惱シデ居ルノデアリマス、之ニ對シテハソレヲ放任シテ居ルノデハナイノデアリマシテ、十五年度ノ豫算ニモ原木ノ共同購入ニモ極ク僅カデアリマスガ、補給金ノ助成デアリマス、或ハ林道ノ擴充デアリマス、炭窯設置ノ助成トカ云フコトヲヤツテ、出來ルダケノ緩和ヲ圖ツテハ居リマスルガ、必ズシモソレデ以テ十分トハ考ヘテ居ナイノデアリマス、殊ニ此ノ供給ハ吾々ト致シマシテハ、相當増加スルト思ヒマス、六億五千萬貫ノ基準數量ニ對シテ、十四年度ノ一億四千萬貫ト計畫通りニハ參ラヌト思ヒマス、相當ノ所マデ行クト思ヒマス、十五年度ニ於テハ更に増産ヲスル積リデ居リマスガ、計畫通りニ參リマセヌニシテモ、相當計畫ニ近ク行クト思ヒマス、併シ一方需要ガ石炭ノ規正、瓦斯ノ規正、鑛工業ニ於ケル需要ノ増加ト云フヤウナコトガアリマス、中々其ノ供給ヲ何シテモ追付カナイト思ヒマス、連モ此ノ現狀ノ生産狀件、林力、林業ノ狀態デハ追付カナイト思ツテ居リマス、御話ノ通

御承知ノ通り燒歩ヲ倍ニデモ致シマシタナラバ宜イカモ知レマセヌガ、併シアノ生活ヲ眺メテ考ヘマスニ、里近ク行ケバ、高等小學ヲ出タ子供デサヘモ、二圓トカ三圓トカ一日ニ收入ガアルト云フ状態デアリマスカラ、夫婦共稼デ木炭ノ燒歩ニ付テハ二圓五十錢トカ、三圓トカ取ツタノデハツマラスト云フ感ジヲ持チマスガ、ソレヲ六圓ニスルト云フヤウナコトニナリマス、是ハ非常ニ値上ニナリマスカラ、中々其ノ邊ガ難カシイノデ、木炭ニ關スル限リダケノ問題デナイノデ、吾々トシテハ甚ダ遺憾デアルケレドモ惱シデ居ルノデアリマス、之ニ對シテハソレヲ放任シテ居ルノデハナイノデアリマシテ、十五年度ノ豫算ニモ原木ノ共同購入ニモ極ク僅カデアリマスガ、補給金ノ助成デアリマス、或ハ林道ノ擴充デアリマス、炭窯設置ノ助成トカ云フコトヲヤツテ、出來ルダケノ緩和ヲ圖ツテハ居リマスルガ、必ズシモソレデ以テ十分トハ考ヘテ居ナイノデアリマス、殊ニ此ノ供給ハ吾々ト致シマシテハ、相當増加スルト思ヒマス、六億五千萬貫ノ基準數量ニ對シテ、十四年度ノ一億四千萬貫ト計畫通りニハ參ラヌト思ヒマス、相當ノ所マデ行クト思ヒマス、十五年度ニ於テハ更に増産ヲスル積リデ居リマスガ、計畫通りニ參リマセヌニシテモ、相當計畫ニ近ク行クト思ヒマス、併シ一方需要ガ石炭ノ規正、瓦斯ノ規正、鑛工業ニ於ケル需要ノ増加ト云フヤウナコトガアリマス、中々其ノ供給ヲ何シテモ追付カナイト思ヒマス、連モ此ノ現狀ノ生産狀件、林力、林業ノ狀態デハ追付カナイト思ツテ居リマス、御話ノ通

御承知ノ通り燒歩ヲ倍ニデモ致シマシタナラバ宜イカモ知レマセヌガ、併シアノ生活ヲ眺メテ考ヘマスニ、里近ク行ケバ、高等小學ヲ出タ子供デサヘモ、二圓トカ三圓トカ一日ニ收入ガアルト云フ状態デアリマスカラ、夫婦共稼デ木炭ノ燒歩ニ付テハ二圓五十錢トカ、三圓トカ取ツタノデハツマラスト云フ感ジヲ持チマスガ、ソレヲ六圓ニスルト云フヤウナコトニナリマス、是ハ非常ニ値上ニナリマスカラ、中々其ノ邊ガ難カシイノデ、木炭ニ關スル限リダケノ問題デナイノデ、吾々トシテハ甚ダ遺憾デアルケレドモ惱シデ居ルノデアリマス、之ニ對シテハソレヲ放任シテ居ルノデハナイノデアリマシテ、十五年度ノ豫算ニモ原木ノ共同購入ニモ極ク僅カデアリマスガ、補給金ノ助成デアリマス、或ハ林道ノ擴充デアリマス、炭窯設置ノ助成トカ云フコトヲヤツテ、出來ルダケノ緩和ヲ圖ツテハ居リマスルガ、必ズシモソレデ以テ十分トハ考ヘテ居ナイノデアリマス、殊ニ此ノ供給ハ吾々ト致シマシテハ、相當増加スルト思ヒマス、六億五千萬貫ノ基準數量ニ對シテ、十四年度ノ一億四千萬貫ト計畫通りニハ參ラヌト思ヒマス、相當ノ所マデ行クト思ヒマス、十五年度ニ於テハ更に増産ヲスル積リデ居リマスガ、計畫通りニ參リマセヌニシテモ、相當計畫ニ近ク行クト思ヒマス、併シ一方需要ガ石炭ノ規正、瓦斯ノ規正、鑛工業ニ於ケル需要ノ増加ト云フヤウナコトガアリマス、中々其ノ供給ヲ何シテモ追付カナイト思ヒマス、連モ此ノ現狀ノ生産狀件、林力、林業ノ狀態デハ追付カナイト思ツテ居リマス、御話ノ通

御承知ノ通り燒歩ヲ倍ニデモ致シマシタナラバ宜イカモ知レマセヌガ、併シアノ生活ヲ眺メテ考ヘマスニ、里近ク行ケバ、高等小學ヲ出タ子供デサヘモ、二圓トカ三圓トカ一日ニ收入ガアルト云フ状態デアリマスカラ、夫婦共稼デ木炭ノ燒歩ニ付テハ二圓五十錢トカ、三圓トカ取ツタノデハツマラスト云フ感ジヲ持チマスガ、ソレヲ六圓ニスルト云フヤウナコトニナリマス、是ハ非常ニ値上ニナリマスカラ、中々其ノ邊ガ難カシイノデ、木炭ニ關スル限リダケノ問題デナイノデ、吾々トシテハ甚ダ遺憾デアルケレドモ惱シデ居ルノデアリマス、之ニ對シテハソレヲ放任シテ居ルノデハナイノデアリマシテ、十五年度ノ豫算ニモ原木ノ共同購入ニモ極ク僅カデアリマスガ、補給金ノ助成デアリマス、或ハ林道ノ擴充デアリマス、炭窯設置ノ助成トカ云フコトヲヤツテ、出來ルダケノ緩和ヲ圖ツテハ居リマスルガ、必ズシモソレデ以テ十分トハ考ヘテ居ナイノデアリマス、殊ニ此ノ供給ハ吾々ト致シマシテハ、相當増加スルト思ヒマス、六億五千萬貫ノ基準數量ニ對シテ、十四年度ノ一億四千萬貫ト計畫通りニハ參ラヌト思ヒマス、相當ノ所マデ行クト思ヒマス、十五年度ニ於テハ更に増産ヲスル積リデ居リマスガ、計畫通りニ參リマセヌニシテモ、相當計畫ニ近ク行クト思ヒマス、併シ一方需要ガ石炭ノ規正、瓦斯ノ規正、鑛工業ニ於ケル需要ノ増加ト云フヤウナコトガアリマス、中々其ノ供給ヲ何シテモ追付カナイト思ヒマス、連モ此ノ現狀ノ生産狀件、林力、林業ノ狀態デハ追付カナイト思ツテ居リマス、御話ノ通

御承知ノ通り燒歩ヲ倍ニデモ致シマシタナラバ宜イカモ知レマセヌガ、併シアノ生活ヲ眺メテ考ヘマスニ、里近ク行ケバ、高等小學ヲ出タ子供デサヘモ、二圓トカ三圓トカ一日ニ收入ガアルト云フ状態デアリマスカラ、夫婦共稼デ木炭ノ燒歩ニ付テハ二圓五十錢トカ、三圓トカ取ツタノデハツマラスト云フ感ジヲ持チマスガ、ソレヲ六圓ニスルト云フヤウナコトニナリマス、是ハ非常ニ値上ニナリマスカラ、中々其ノ邊ガ難カシイノデ、木炭ニ關スル限リダケノ問題デナイノデ、吾々トシテハ甚ダ遺憾デアルケレドモ惱シデ居ルノデアリマス、之ニ對シテハソレヲ放任シテ居ルノデハナイノデアリマシテ、十五年度ノ豫算ニモ原木ノ共同購入ニモ極ク僅カデアリマスガ、補給金ノ助成デアリマス、或ハ林道ノ擴充デアリマス、炭窯設置ノ助成トカ云フコトヲヤツテ、出來ルダケノ緩和ヲ圖ツテハ居リマスルガ、必ズシモソレデ以テ十分トハ考ヘテ居ナイノデアリマス、殊ニ此ノ供給ハ吾々ト致シマシテハ、相當増加スルト思ヒマス、六億五千萬貫ノ基準數量ニ對シテ、十四年度ノ一億四千萬貫ト計畫通りニハ參ラヌト思ヒマス、相當ノ所マデ行クト思ヒマス、十五年度ニ於テハ更に増産ヲスル積リデ居リマスガ、計畫通りニ參リマセヌニシテモ、相當計畫ニ近ク行クト思ヒマス、併シ一方需要ガ石炭ノ規正、瓦斯ノ規正、鑛工業ニ於ケル需要ノ増加ト云フヤウナコトガアリマス、中々其ノ供給ヲ何シテモ追付カナイト思ヒマス、連モ此ノ現狀ノ生産狀件、林力、林業ノ狀態デハ追付カナイト思ツテ居リマス、御話ノ通

御承知ノ通り燒歩ヲ倍ニデモ致シマシタナラバ宜イカモ知レマセヌガ、併シアノ生活ヲ眺メテ考ヘマスニ、里近ク行ケバ、高等小學ヲ出タ子供デサヘモ、二圓トカ三圓トカ一日ニ收入ガアルト云フ状態デアリマスカラ、夫婦共稼デ木炭ノ燒歩ニ付テハ二圓五十錢トカ、三圓トカ取ツタノデハツマラスト云フ感ジヲ持チマスガ、ソレヲ六圓ニスルト云フヤウナコトニナリマス、是ハ非常ニ値上ニナリマスカラ、中々其ノ邊ガ難カシイノデ、木炭ニ關スル限リダケノ問題デナイノデ、吾々トシテハ甚ダ遺憾デアルケレドモ惱シデ居ルノデアリマス、之ニ對シテハソレヲ放任シテ居ルノデハナイノデアリマシテ、十五年度ノ豫算ニモ原木ノ共同購入ニモ極ク僅カデアリマスガ、補給金ノ助成デアリマス、或ハ林道ノ擴充デアリマス、炭窯設置ノ助成トカ云フコトヲヤツテ、出來ルダケノ緩和ヲ圖ツテハ居リマスルガ、必ズシモソレデ以テ十分トハ考ヘテ居ナイノデアリマス、殊ニ此ノ供給ハ吾々ト致シマシテハ、相當増加スルト思ヒマス、六億五千萬貫ノ基準數量ニ對シテ、十四年度ノ一億四千萬貫ト計畫通りニハ參ラヌト思ヒマス、相當ノ所マデ行クト思ヒマス、十五年度ニ於テハ更に増産ヲスル積リデ居リマスガ、計畫通りニ參リマセヌニシテモ、相當計畫ニ近ク行クト思ヒマス、併シ一方需要ガ石炭ノ規正、瓦斯ノ規正、鑛工業ニ於ケル需要ノ増加ト云フヤウナコトガアリマス、中々其ノ供給ヲ何シテモ追付カナイト思ヒマス、連モ此ノ現狀ノ生産狀件、林力、林業ノ狀態デハ追付カナイト思ツテ居リマス、御話ノ通

御承知ノ通り燒歩ヲ倍ニデモ致シマシタナラバ宜イカモ知レマセヌガ、併シアノ生活ヲ眺メテ考ヘマスニ、里近ク行ケバ、高等小學ヲ出タ子供デサヘモ、二圓トカ三圓トカ一日ニ收入ガアルト云フ状態デアリマスカラ、夫婦共稼デ木炭ノ燒歩ニ付テハ二圓五十錢トカ、三圓トカ取ツタノデハツマラスト云フ感ジヲ持チマスガ、ソレヲ六圓ニスルト云フヤウナコトニナリマス、是ハ非常ニ値上ニナリマスカラ、中々其ノ邊ガ難カシイノデ、木炭ニ關スル限リダケノ問題デナイノデ、吾々トシテハ甚ダ遺憾デアルケレドモ惱シデ居ルノデアリマス、之ニ對シテハソレヲ放任シテ居ルノデハナイノデアリマシテ、十五年度ノ豫算ニモ原木ノ共同購入ニモ極ク僅カデアリマスガ、補給金ノ助成デアリマス、或ハ林道ノ擴充デアリマス、炭窯設置ノ助成トカ云フコトヲヤツテ、出來ルダケノ緩和ヲ圖ツテハ居リマスルガ、必ズシモソレデ以テ十分トハ考ヘテ居ナイノデアリマス、殊ニ此ノ供給ハ吾々ト致シマシテハ、相當増加スルト思ヒマス、六億五千萬貫ノ基準數量ニ對シテ、十四年度ノ一億四千萬貫ト計畫通りニハ參ラヌト思ヒマス、相當ノ所マデ行クト思ヒマス、十五年度ニ於テハ更に増産ヲスル積リデ居リマスガ、計畫通りニ參リマセヌニシテモ、相當計畫ニ近ク行クト思ヒマス、併シ一方需要ガ石炭ノ規正、瓦斯ノ規正、鑛工業ニ於ケル需要ノ増加ト云フヤウナコトガアリマス、中々其ノ供給ヲ何シテモ追付カナイト思ヒマス、連モ此ノ現狀ノ生産狀件、林力、林業ノ狀態デハ追付カナイト思ツテ居リマス、御話ノ通

御承知ノ通り燒歩ヲ倍ニデモ致シマシタナラバ宜イカモ知レマセヌガ、併シアノ生活ヲ眺メテ考ヘマスニ、里近ク行ケバ、高等小學ヲ出タ子供デサヘモ、二圓トカ三圓トカ一日ニ收入ガアルト云フ状態デアリマスカラ、夫婦共稼デ木炭ノ燒歩ニ付テハ二圓五十錢トカ、三圓トカ取ツタノデハツマラスト云フ感ジヲ持チマスガ、ソレヲ六圓ニスルト云フヤウナコトニナリマス、是ハ非常ニ値上ニナリマスカラ、中々其ノ邊ガ難カシイノデ、木炭ニ關スル限リダケノ問題デナイノデ、吾々トシテハ甚ダ遺憾デアルケレドモ惱シデ居ルノデアリマス、之ニ對シテハソレヲ放任シテ居ルノデハナイノデアリマシテ、十五年度ノ豫算ニモ原木ノ共同購入ニモ極ク僅カデアリマスガ、補給金ノ助成デアリマス、或ハ林道ノ擴充デアリマス、炭窯設置ノ助成トカ云フコトヲヤツテ、出來ルダケノ緩和ヲ圖ツテハ居リマスルガ、必ズシモソレデ以テ十分トハ考ヘテ居ナイノデアリマス、殊ニ此ノ供給ハ吾々ト致シマシテハ、相當増加スルト思ヒマス、六億五千萬貫ノ基準數量ニ對シテ、十四年度ノ一億四千萬貫ト計畫通りニハ參ラヌト思ヒマス、相當ノ所マデ行クト思ヒマス、十五年度ニ於テハ更に増産ヲスル積リデ居リマスガ、計畫通りニ參リマセヌニシテモ、相當計畫ニ近ク行クト思ヒマス、併シ一方需要ガ石炭ノ規正、瓦斯ノ規正、鑛工業ニ於ケル需要ノ増加ト云フヤウナコトガアリマス、中々其ノ供給ヲ何シテモ追付カナイト思ヒマス、連モ此ノ現狀ノ生産狀件、林力、林業ノ狀態デハ追付カナイト思ツテ居リマス、御話ノ通

御承知ノ通り燒歩ヲ倍ニデモ致シマシタナラバ宜イカモ知レマセヌガ、併シアノ生活ヲ眺メテ考ヘマスニ、里近ク行ケバ、高等小學ヲ出タ子供デサヘモ、二圓トカ三圓トカ一日ニ收入ガアルト云フ状態デアリマスカラ、夫婦共稼デ木炭ノ燒歩ニ付テハ二圓五十錢トカ、三圓トカ取ツタノデハツマラスト云フ感ジヲ持チマスガ、ソレヲ六圓ニスルト云フヤウナコトニナリマス、是ハ非常ニ値上ニナリマスカラ、中々其ノ邊ガ難カシイノデ、木炭ニ關スル限リダケノ問題デナイノデ、吾々トシテハ甚ダ遺憾デアルケレドモ惱シデ居ルノデアリマス、之ニ對シテハソレヲ放任シテ居ルノデハナイノデアリマシテ、十五年度ノ豫算ニモ原木ノ共同購入ニモ極ク僅カデアリマスガ、補給金ノ助成デアリマス、或ハ林道ノ擴充デアリマス、炭窯設置ノ助成トカ云フコトヲヤツテ、出來ルダケノ緩和ヲ圖ツテハ居リマスルガ、必ズシモソレデ以テ十分トハ考ヘテ居ナイノデアリマス、殊ニ此ノ供給ハ吾々ト致シマシテハ、相當増加スルト思ヒマス、六億五千萬貫ノ基準數量ニ對シテ、十四年度ノ一億四千萬貫ト計畫通りニハ參ラヌト思ヒマス、相當ノ所マデ行クト思ヒマス、十五年度ニ於テハ更に増産ヲスル積リデ居リマスガ、計畫通りニ參リマセヌニシテモ、相當計畫ニ近ク行クト思ヒマス、併シ一方需要ガ石炭ノ規正、瓦斯ノ規正、鑛工業ニ於ケル需要ノ増加ト云フヤウナコトガアリマス、中々其ノ供給ヲ何シテモ追付カナイト思ヒマス、連モ此ノ現狀ノ生産狀件、林力、林業ノ狀態デハ追付カナイト思ツテ居リマス、御話ノ通

御承知ノ通り燒歩ヲ倍ニデモ致シマシタナラバ宜イカモ知レマセヌガ、併シアノ生活ヲ眺メテ考ヘマスニ、里近ク行ケバ、高等小學ヲ出タ子供デサヘモ、二圓トカ三圓トカ一日ニ收入ガアルト云フ状態デアリマスカラ、夫婦共稼デ木炭ノ燒歩ニ付テハ二圓五十錢トカ、三圓トカ取ツタノデハツマラスト云フ感ジヲ持チマスガ、ソレヲ六圓ニスルト云フヤウナコトニナリマス、是ハ非常ニ値上ニナリマスカラ、中々其ノ邊ガ難カシイノデ、木炭ニ關スル限リダケノ問題デナイノデ、吾々トシテハ甚ダ遺憾デアルケレドモ惱シデ居ルノデアリマス、之ニ對シテハソレヲ放任シテ居ルノデハナイノデアリマシテ、十五年度ノ豫算ニモ原木ノ共同購入ニモ極ク僅カデアリマスガ、補給金ノ助成デアリマス、或ハ林道ノ擴充デアリマス、炭窯設置ノ助成トカ云フコトヲヤツテ、出來ルダケノ緩和ヲ圖ツテハ居リマスルガ、必ズシモソレデ以テ十分トハ考ヘテ居ナイノデアリマス、殊ニ此ノ供給ハ吾々ト致シマシテハ、相當増加スルト思ヒマス、六億五千萬貫ノ基準數量ニ對シテ、十四年度ノ一億四千萬貫ト計畫通りニハ參ラヌト思ヒマス、相當ノ所マデ行クト思ヒマス、十五年度ニ於テハ更に増産ヲスル積リデ居リマスガ、計畫通りニ參リマセヌニシテモ、相當計畫ニ近ク行クト思ヒマス、併シ一方需要ガ石炭ノ規正、瓦斯ノ規正、鑛工業ニ於ケル需要ノ増加ト云フヤウナコトガアリマス、中々其ノ供給ヲ何シテモ追付カナイト思ヒマス、連モ此ノ現狀ノ生産狀件、林力、林業ノ狀態デハ追付カナイト思ツテ居リマス、御話ノ通

御承知ノ通り燒歩ヲ倍ニデモ致シマシタナラバ宜イカモ知レマセヌガ、併シアノ生活ヲ眺メテ考ヘマスニ、里近ク行ケバ、高等小學ヲ出タ子供デサヘモ、二圓トカ三圓トカ一日ニ收入ガアルト云フ状態デアリマスカラ、夫婦共稼デ木炭ノ燒歩ニ付テハ二圓五十錢トカ、三圓トカ取ツタノデハツマラスト云フ感ジヲ持チマスガ、ソレヲ六圓ニスルト云フヤウナコトニナリマス、是ハ非常ニ値上ニナリマスカラ、中々其ノ邊ガ難カシイノデ、木炭ニ關スル限リダケノ問題デナイノデ、吾々トシテハ甚ダ遺憾デアルケレドモ惱シデ居ルノデアリマス、之ニ對シテハソレヲ放任シテ居ルノデハナイノデアリマシテ、十五年度ノ豫算ニモ原木ノ共同購入ニモ極ク僅カデアリマスガ、補給金ノ助成デアリマス、或ハ林道ノ擴充デアリマス、炭窯設置ノ助成トカ云フコトヲヤツテ、出來ルダケノ緩和ヲ圖ツテハ居リマスルガ、必ズシモソレデ以テ十分トハ考ヘテ居ナイノデアリマス、殊ニ此ノ供給ハ吾々ト致シマシテハ、相當増加スルト思ヒマス、六億五千萬貫ノ基準數量ニ對シテ、十四年度ノ一億四千萬貫ト計畫通りニハ參ラヌト思ヒマス、相當ノ所マデ行クト思ヒマス、十五年度ニ於テハ更に増産ヲスル積リデ居リマスガ、計畫通りニ參リマセヌニシテモ、相當計畫ニ近ク行クト思ヒマス、併シ一方需要ガ石炭ノ規正、瓦斯ノ規正、鑛工業ニ於ケル需要ノ増加ト云フヤウナコトガアリマス、中々其ノ供給ヲ何シテモ追付カナイト思ヒマス、連モ此ノ現狀ノ生産狀件、林力、林業ノ狀態デハ追付カナイト思ツテ居リマス、御話ノ通

御承知ノ通り燒歩ヲ倍ニデモ致シマシタナラバ宜イカモ知レマセヌガ、併シアノ生活ヲ眺メテ考ヘマスニ、里近ク行ケバ、高等小學ヲ出タ子供デサヘモ、二圓トカ三圓トカ一日ニ收入ガアルト云フ状態デアリマスカラ、夫婦共稼デ木炭ノ燒歩ニ付テハ二圓五十錢トカ、三圓トカ取ツタノデハツマラスト云フ感ジヲ持チマスガ、ソレヲ六圓ニスルト云フヤウナコトニナリマス、是ハ非常ニ値上ニナリマスカラ、中々其ノ邊ガ難カシイノデ、木炭ニ關スル限リダケノ問題デナイノデ、吾々トシテハ甚ダ遺憾デアルケレドモ惱シデ居ルノデアリマス、之ニ對シテハソレヲ放任シテ居ルノデハナイノデアリマシテ、十五年度ノ豫算ニモ原木ノ共同購入ニモ極ク僅カデアリマスガ、補給金ノ助成デアリマス、或ハ林道ノ擴充デアリマス、炭窯設置ノ助成トカ云フコトヲヤツテ、出來ルダケノ緩和ヲ圖ツテハ居リマスルガ、必ズシモソレデ以テ十分トハ考ヘテ居ナイノデアリマス、殊ニ此ノ供給ハ吾々ト致シマシテハ、相當増加スルト思ヒマス、六億五千萬貫ノ基準數量ニ對シテ、十四年度ノ一億四千萬貫ト計畫通りニハ參ラヌト思ヒマス、相當ノ所マデ行クト思ヒマス、十五年度ニ於テハ更に増産ヲスル積リデ居リマスガ、計畫通りニ參リマセヌニシテモ、相當計畫ニ近ク行クト思ヒマス、併シ一方需要ガ石炭ノ規正、瓦斯ノ規正、鑛工業ニ於ケル需要ノ増加ト云フヤウナコトガアリマス、中々其ノ供給ヲ何シテモ追付カナイト思ヒマス、連モ此ノ現狀ノ生産狀件、林力、林業ノ狀態デハ追付カナイト思ツテ居リマス、御話ノ通

五厘、是ガ三戸驛ニ出マシテ、三十二圓デ仕切ラレテ居ル、サウスルト一俵當リ一圓二十四錢ニナツテ居ルノデアリマス、ソコデ先程申上ゲマシタヤウニ、原木代ヲ引イタ外ノモノハ統制スルコトモ何モ出來ナイノデアリマスルカラコ、デ私ハ問題ニ致シマセヌ、ソコデ結局問題ヲ此ノ原木ダケニ限ツテ申上ゲマシテ、私ノ質問ノ焦點ト致シタイト思フノデアリマス、ソコデ此ノ原木デゴザイマスガ、是ガ國有林野カラ拂下ガラレタモノデアリマスルト、一俵十二錢平均ト云フコトニナツテ居ルヤウデアリマス、所ガ民木其他ノ公有木ノ場合ニハドウ云フコトニナルカト申シマス一俵七十錢カラ八十錢見當ニナル斯ウ云フコトニナルノデアリマス、茲ニ非常ニ大キイ差ガアルノデアリマス、サウスルト一體燒賃ガドレ位ニナルノカト云フコトヲ調ベテ見マシタ所ガ、官木ノ方ハ一人一日當リガ大體一圓五十錢カラ二圓ニナルサウデアリマス、所ガ民木ノ場合ハドウ云フコトニナルカト云フト、先程ノ差額ノ關係ガアリマスルノデ先ヅ七八十錢カラ一圓二十錢見當ニシカナラナイノデアリマス、私ハ青森縣デ縣廳ニモ參リマシタシ、其ノ他一般業者ノ間ニ入リマシテ調査致シタ結果ガ斯ウナツテ來タ譯デアリマス、ソコデ山林局長ニ御伺致シタイコトハ、原木代ト致シマシテ國有林野ノ拂下ノ場合ハ一俵十二錢見當ト云フコトニナリ、民木並ニ其ノ他ノ公有木ノ場合ハ一俵七十錢カラ八十錢ト云フ見當デアリコト隨テ燒子ノ燒賃モ亦前ニ申上ゲタヤウナ差異ガ生ズルト云フコトヲ御認メナサルカドウカ、此ノ點ヲ一ツ御伺致シタイ

○田中政府委員 ドウモ地方的事情デハツキリ分リマセヌガ、併シ今ノ御話ノ調査ハ是ハ懸引ノナイ調査ノヤウニ私數字ヲ見マシテ思ツテ居リマス、或ハ恐ラク國有林ノ價值ト民有林ノ價值トノ實額ハドウカ知レマセヌガ、民有ノ原木ノ代モ恐ラク或ハ此ノ程度デハナイカト想像シマスケレドモ、具體的ニハ一寸私正確ナコトヲ申上ゲル譯ニ行キマセヌガ、併シ此ノ調査ハ懸引ノナイ調査ノヤウニ考ヘマス

○森田委員 ソコデ其ノ次ノ問題ニ入リマスガ、農林省ガ此ノ際一ツノ國策トシテ木炭ノ供給ノ不足ヲ緩和シテ、生産力ヲ擴充セシメナケレバナラナイト云フ御見解ニ御立チニナリマスルナラバ、私ハ有ユル方面ノ製炭能力ノアル者ニ對シテハ、國策ノ許ス限リ一般的ニ安イ國有林野カラノ原木拂下ヲスルノガ目下ノ急ニ應ズル施設ニナルノデハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ對シテ山林局長ハ如何ニ御考ニナリマスカ

○田中政府委員 同感デアリマス、唯御承知ノ通り國有林其ノモノノ力ガ非常ニ少イノハ御承知ノ通りデアリマス、面積ニ致シマシテ民有林ガ千三百萬町歩位ニ對シテ國有林ガ四百二十萬町歩位ニ過ギマセヌカラ其ノ點ガ吾々トシテモ非常ニ殘念ナ所デアリマス、併シ是ハ府縣ダケノ統計デアリマシテ、北海道ヲ入レマスルト相當アリマス、北海道ガ三百五十萬町歩位ノ國有林ガアリマスカラ、兩方加ヘマスルト七百七十萬町歩ニナル譯デアリマスカラ、相當ノ林力ガアル譯デアリマス、實ハ北海道ハ農林省ノ管轄デナイモノデスカラ、吾々トシテハドウニモナラヌノデアリマス、吾々ノ範圍ニ

於テハ四百二十萬町歩ヲ相手ニシテヤツテ居ル、隨ヒマシテ來年度ニ於キマシテハ、出來ルダケノ拂下ヲシタイト云フ計畫ヲ持ツテ居リマス、併シ御承知ノ通り國有林ハ山奥ニ多イモノデスカラ、其ノ點、安ク拂下ゲテモ、今度ハ運賃トカ其ノ他ニ掛ルト云フノデ、吾々ノ豫期通りノ振興ガ出來ルカドウカ、ソレハ疑問デアリマス

○森田委員 サウ致シマスルト、要スルニ國有林野ノ原木ト云フモノハ、舊來ノ製炭能力アル者ニ對シテハ公平ニ拂下ゲル斯ウ了解シテ宜シウゴザイマセウカ

○田中政府委員 原則トシテサウデアリマス、唯御承知ノヤウニ地元山村ノ部落ニ對シマシテハ、緣故拂下其ノ他優先的拂下ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、ソレヲ除イテハ公平ニ拂下ゲルト云フ考デアリマス

○森田委員 只今ノ局長サンノ御答辯ニ關シテ更ニ御伺シタイノデアリマスルガ、青森縣ニ於テハドウ云フ關係カ分リマセヌガ、實行組合ト云フモノヲ拵ヘサセテ居ル、是ハ結構ナコトダト私ハ思ヒマス、出來ルダケ地元ノ農民ヲ露スト云フコトハ結構ナコトデアリマシテ、私ハ全ク雙手ヲ舉ゲテ此ノコトニ贊成ヲスルノデアリマス、所ガ此ノ實行組合ナルモノノ歴史ト云フモノハ、サウ古イモノデハナイノデス、今マデ炭ヲ燒イタコトモ何モナイ人デモ實行組合ノ中ニ入レテ何カヤラセヨウト云フコトデ一ツノ組織ガ出來上ツテ居ルヤウナ有様デアリマスカラ、製炭能力ト云フモノハ、必ズシモ大キクナイノデス、然ルニ製炭能力ノ必ズシモ大キクナイ此ノ組合デナケレバ國有林野ヲ拂下ゲナイト云フ方針ヲ青森營林局ニ於テハ立テテ居ルラシイノデアリマシテ、

舊來ノ一般業者ニ對シテハ官木ヲ拂下ゲナイト云フコトニナツテ居ルサウデアリマスガ、是ハ果シテ農林省ノ御方針ニ基イテサウ云フ建前ヲ執ツテ居ルノデアルカ、或ハ營林局長獨自ノ立場デ斯ウ云フ方針ヲ執ツテオ居デナルノデアルカ、若シ農林省ノ方針ニアラズシテ營林局長ダケノ考デヤツテ居ルモノダトシタナラバ、斯ノ如キ偏狹ナル建前ヲ拂下ニ對シテ農林省デハ如何ナル御考ヲ御持チニナツテオ居デニナリマスカ、此ノ點ヲ一ツ御伺致シマス

○田中政府委員 具體的ノ問題ニ付キマシテハ、餘リ農林省ハ干涉ヲ致シマセヌノデ、地方的ノ實情ニ依ツテ色々ノ指導ヲヤツテ居ルコトト思ヒマス、今ノ御話ノ實行組合ノ組合員ニ對シテ特ニ拂下ゲテ居ルト云フ、而モ其ノ組合員ハ過去ニ於テハ製炭ノ經驗ガナイ者モアルヤウナ御話デアリマスガ、或ハサウカトモ思ヒマス、事實ドウ云フコトニナツテ居ルカハハツキリ致シマセヌガ、營林局デ苦心シテ居リマスハ、製炭者ガ段々ナクナル、殊ニ國有林ハ御承知ノ通りニ豫算面ニ於キマシテ單價ト云フモノガ決ツテ居リマスカラ、幾ラ收入ヲ舉ゲテモ、其ノ舉ゲタ收入ヲ利用シテ製炭夫ニ對スル待遇改善ヲヤルト云フヤウナコトガ出來ナイノデアリマス、隨ヒマシテ單價ガ決ツテ居ル關係カラ、先程モオ舉ゲニナリマシタヤウニ、國有林ノ一人一日ノ燒歩ヨリ場所ニ依ツテハ民間ノ燒歩ノ方ガ高イ所ガアリマス、國有林ノ方ハ四十五錢ナラ四十五錢ト決ツテ居リマスケレドモ、民間ハ五十錢トカ七十錢或ハ八十錢、サウ云フヤウニ民間ノ方ガ却テ高ク出シテ燒イテ居ル所ガアリマス、サウ云フ所ニナルト製炭夫

ガ逃ゲルノデアリマス、ノミナラズ、股賑産業ノアル地方、殊ニ東北デハソレガ激シイヤウデアリマスガ、安クナクテモ製炭夫ガ去ツテシマフノデアリマス、隨テ從來ノヤウナ經驗者ダケヲ相手ニ製炭スルト云フコトガ出來兼ネルノデアリマス、ソコデ一般ノ農家ニ農閑期ヲ利用シテ製炭スルヤウニ仕向ケルコト、モウ一ツハ山元ニ勞働力ヲ保有スルコトガ非常ニ必要デアル、是ハ炭ノ問題ダケデナク、今木材ヲ非常ニ増産シテ居リマスガ、其ノ人夫モ段々ト減ツテ行クノデアリマス、ソレデ豫算ガ決ツテ居リマスカラ、金デハドウニモ出來マセヌノデ、色々ト出來ル範圍デ指導其ノ他組織方面ニ努力シテ山元ニ勞力ヲ保有スル、サウ云フ方面ニ營林局トシテハ非常ニ苦心シテ居リマス、サウ云フヤウナ關係カラ、或ハ多少ノ無理ヲシテ居ル所モアラウカト思ヒマス、併シソレガ爲ニ却テ木炭ノ増産ヲ減ズルト云フヤウナコトデアツテハ困リマスカラ、其ノ點ハ注意シタイト思ツテ居リマス

○森田委員 ソコデ私ハ實行組合ノ性格ニ付テ御參考ニ申上ゲテ見タイト思ヒマス、成ベク山元ヘ勞力ヲ蓄積シテ、サウシテ營林署ト色々ナ計畫上ノ連絡ヲ付ケタイ、サウ云フコトハ確ニ國有林野經營上必要ナコトデアリマス、其ノ關係上多少サウ云ツタヤウナ利益關係ガ結び付クコトニナルノデアリマセウガ、組合員ニナルニハ住居ノ制限ガアル、ソレカラ戸主ナケレバ大體入ラナイ譯デアリマス、サウシテソレニ地元ノ最モ近い所ヲ拂下ゲスルノデス、サウシテ一方公定價格ト云フモノハチヤント決ツテ居ル、斯ウ云フコトニナリマス、此ノ

實行組合員ト云フモノハ大抵農家デアリマスカラ、農閑期デナケレバ炭ヲ燒カナイト云ツタヤウナコトニナルノデアリマス、年中通シテ炭ヲ燒クト云フコトニハナラナイノデアリマス、サウナリマスカラ、結局炭ノ生産力ト云フモノガ、政府ノ望ムヤウナ形デ出來ナイト云フ結果ニナル譯ナノデス、然ラバ他ノ舊來ノ一般木炭業者ト云フモノハドウカ、ソレハ果シテ勞力ヲ自ラノ手許ニ集メルダケノ力ガアルノカト云フト、是ハ過去カラノ傳統、デ相當縁故關係ガ結び付イテ、サウシテ燒子ト云フモノハ其ノ土地ニ定住シテ居ル者デナク、他ノ方面ノ次男、三男ト云フヤウナ者、詰リ組合員ニナル資格ノナイ者デ移動シテ歩イテ炭燒ヲ年百年中ヤルコトノ出來ル者、燒子ヲ專門ニスル者等カ舊來ノ所謂業者ト連絡關係ガ出來テ來テ居ル譯デアリマス、是ト競ヒマス、先ニ述ベタ組合ハ範圍ノ狭イ次第デアリマス、デアリマスカラ業者ノ方デハ何處カラデモ次男、三男ノ者ヲ集メラレル、舊來金ヲ貸シテアルトカ、物資ヲ提供スルトカ色々ノ人の關係、物的關係ニ依ツテ結び付ク一ツノ利益團體ト云ツタヤウナ形ノ連絡關係ガソコニ付イテ來テ居リマスカラ、是亦侮ルベカラザル一ツノ力ヲ持ツテ居ル譯デス、而モ年百年中燒イテ居ル、又一方木炭ガ生業デアリマスカラ、一生懸命スル、ソコデ生産力全體ノ立場カラ見マス、實行組合ガ持ツテ居ル製炭能力ト、業者ノ持ツテ居ル製炭能力ハ相匹敵スルモノガアル、斯ウ云フノガ東北地方、少クトモ岩手縣、青森縣ニ於ケル實情ナノデス、所ガ此ノ狀態ニ拘ハラズ營林局デハ一方的ニ「イデオロギー」ヲ強制シテ、サウシテ此ノ時局ニ

便乗シテ、組合ニダケ原木ノ拂下ヲスルガ、一般業者ニ對シテハ昭和十三年度カラ絶對拂下ゲナイ、斯ウ云フコトニナツテキルノデアリマス、平時ノ場合之ヲヤルト云フコトナラバ、或ル程度マデノ「イデオロギー」ノ實行モ許サルベキデアルガ、今日斯ノ如ク逼迫セル全國的ナ木炭不足ノ際ニ、一方的「イデオロギー」ヲ時局ニ便乗シテ之ヲ強制スルコトニ依ツテ舊來ノ業者ガ製炭能力アルニ拘ラズ原木ヲコナラフ方ヘ拂下ゲナイナド云フ様ナコトヲスルノハ觀念ニ閉籠ツテ日本ノ國ノ現實ヲ忘レタ考ヘ方デ是コソ本當ノ官吏獨善ノ考方デハナイカト私ハ考ヘル、之ヲモウ少シ大キイ考ヘ方カラ、此ノ製炭能力アル者ニモナゼ公平ニ原木ヲ拂下ゲナイノデアルカ、茲ニ私ハ大キイ疑點ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソコデ農林省ノ御當局ハ斯ノ如キ實情ニ付テ果シテドウ云フヤウナ御考ヲ御持ニナツテオ居デニナルノデアアルカ、此ノ點ヲ御伺致シタイト思ヒマス

○田中政府委員 吾々ト致シマシテハ、サウ云フ能力ノアル場合ニ於テハ出來ルダケ利用シタイ——利用ト云フト語弊ガアリマスカ、ヤツテ實ヒタイト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ唯便利ナ山ダト云フノデ皆押寄せラレルト、ソコハドウシテモヤハリ地元ノ人ニ優先サセザルヲ得ナイ、斯ウ思フノデアリマス、ダカラサウデナイ場所デアリマスレバ、吾々トシテハ寧ロ歡迎シテ色々ナ便宜ヲ圖リタイ、現ニ實ハ吾々ノ考トシテハ、農村ト同ジヤウニ、勞力移動ニ付テモ指導或ハ出來得ルナラバ、助成モト、斯ウ考ヘテ居リマスガ、ソレガ具體化シテ居リマセスケレドモ、サウ云フ考ヲ持ツテ

居リマス、サウ云フ際デアリマスカラ、場所的ニ見テ或ハ希望通りノ所マデハ行カスカモ知レマセヌガ、場所ヲ異ニシテハ相當御便利ヲ圖リ又圖ラナケレバナラス、斯ウ考ヘテ居リマス

○森田委員 大變ハツキリシタ御答辯ヲ承リマシテ、此ノ點感謝ヲ致シマス、ソコデ只今ノ拂下ノ場所ノ問題デアリマスガ、是モドウモヤハリ我子可愛イト言ヒマスガ、自分ガ育テタ組合ガヤハリ可愛イト云ツタ關係デ、組合ニ對シテハ好イ場所ヲ與ヘルケレドモ、業者ノ方カラ言フト、途方モナイ非常ナ不便ナ所、恐ラクハ故意ニヤツテ居ルデヤナイカ、ト思ハル様ナ所ヲ指令許可スル、眼ノ前ノ便利ノ好イ停車場ノ近くニ非常ニ澤山ノ製炭資材ガアルニ拘ラズ、ソレハ願出テモドウシテモ許サナイ、サウシテ山ノ中ノ逆モ引合ハナイヤウナ所ヲ拂下シテ居テ、君等ニモ許可シテ居ルデヤナイカ、斯ウ云フヤウナ態度ニ出ルノデアアル、コラニモヤハリサウ云フ一ツノ「イデオロギー」ノ強行ト云ツタヤウナ弊害ガアルヤウニ私ハ考ヘルノデアリマスガ、是等ノ點ハ具體問題トシテ考ヘマスニ、私ハ組合モヤハリ一ツノ建前トシテハハ宜イコトデアリマスカラ、ソレハソレデ宜シイノデアリマスガ、ヤハリ一般業者ニモ公平ナル形ニ於テ拂下シテ戴カナケレバナラスモノダト考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ對シテハドウデアリマスカ

○田中政府委員 個々ノ人、個々ノ營林署ノモノニ於テハソレレノ言ヒ分ガアラウカト思ヒマス、實ハ縣ニ依リマシテハ製炭夫ヲ持ツテ居ラレナイ——過去ハ持ツテ居ラレタノデアリマセウケレドモ、現實ニ持

タナイヤウナ企業家ノ方ガアツテ、營林署ニ燒子ノ世話ヲシテ呉レト云フ申込ノ所モアルノデアリマス、兩方言ヒ分ガアラウカト思ヒマスカラ、具體的ノ問題ニ付キマシテハ注意ヲシタイト考ヘマス

○森田委員 尙ホモウ少シ御參考マデニ申上ゲテ置キタイ點ガアルノデアリマス、ソレハヤハリ或ル營林署ニ於テハ極端ニ此ノ「イデオロギ」ヲ強行シテ居ル、サウシテ組合ハオ上カラ拂下ゲタ山以外ニヤハリ民木ヲ買フカ、或ハ自ラ持ツテ居ル木ヲ燒イテ居ル場合モアル、其ノ場合其ノ組合デハ所謂業者ノ方面ヘ其ノ炭ヲ賣ル場合ガアル、所ガソレモ絕對ニ阻止スル、是ハ組合一本建デヤラナケレバナナイモノダトスル、サウシテ商人ノ倉庫ガアルノデ、其ノ倉庫ヘ炭ヲ納メラレレバ困ルト云フノデ、態、營林局ノ人ガ其ノ倉庫ノ所ニ行ツテ番ニ立ツテ居ル、サウシテ若シ其ノ組合ノ炭ガ業者ノ倉庫ヘ持ツテ來ルト云フコトニナリマス、一ツノ罰トデモ云フカ、一ツノ制裁ト云フヤウナコトヲヤツテ、其組合ニハモウ官木ハ拂下ゲナイゾ、斯ウ云ツタコトマデヤツテ一般製炭業者ノ製炭能力ヲ阻止スル措置ヲ執ツテ居ル所ガアルサウデアリマス、是ハ具體的ニ其ノ例ヲ舉ゲルト云フコトデアレバ舉ゲ得マスケレドモ、人ノ一身ノ問題デアリマスカラ私ハ是レ以上指摘致シマセヌガ、ソコマデ此ノ「イデオロギ」ノ強制ト云フモノガ徹底シテ居ルノデアリマス、是ハ非常ニ大キナ問題ダト思ヒマスカラ、ドウカ此ノ點ニ付テハ十分一ツ御考慮ヲ御願致シタイト思フノデアリマス

今マデノコトハ生産方面ニ付テ申上ゲタノデアリマスガ、今度ハ配給方法ニ付テモ

ウ一點御同致シタイト思フノデアリマス、ソレハヤハリ此ノ「イデオロギ」ノ強制カラ來ルノデアリマセウカ、組合系統一本建デ一元化シヨウ、斯ウ云フコトガ東北地方ノ縣ニ於テ行ハレテ居ルヤウデアリマス、今青森縣ニ於テ是マデ組合ト所謂業者側トデ取扱ツタ毎年ノ取扱數量ヲ調べテ見マシタ所、昭和十三年度ニ於ケル生産額デアリマスガ、組合ニ於テ生産致シタモノガ百八十二万一千五百七十一俵斯ウ云フコトニナツテ居ルヤウデアリマス、ソレガドンナ手ヲ通シテドウ云フ風ニ配給サレタカト言ヒマス、産業組合ヲ通シテ販賣セラレタモノガ五十七万五千五百九十七俵、次バ實行組合ノ共同販賣、即チ實行組合ガ其ノ已レノ所屬シテ居ル上級ノ組合ヲ通ズルコトナク、其ノ單位組合其ノモノガ直チニ今マデノ業者ニ賣ル量デアリマス、ソレハ百十七万九千六百五十四俵、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ實行組合ノ自體ガ各自ノ自由販賣ニ致シテ居ルモノガ十一万四千九百七十九俵、斯ウナツテ居リマス、此ノ計ガ百八十七万二千二百七十一俵ナツテ居リマス、是ハ幾ラカ其ノ年ノ生産額ヨリ多クナツテ居リマスケレドモ、其ノ年度以前ノ持越ガ若干アリマシタ爲ニ多クナツテ居ルノデアリマス、ソコデ此ノ配給機關ノ商人ノ手ヲ經由シタモノト組合自體ノ系統ヲ經タモノトヲ「パーセンテージ」デ現ハシテ見マスルト、商人ノ手ヲ經テ行ツタモノガ八四%、組合系統ヲ經タモノハ僅ニ一六%ト云フノガ青森縣ノ實情デアリマス、所ガ之ヲ其ノ後ドウ云フ風ニナサツテ居ルカト言フト、是亦組合一本建デ行カウト云フノデ、單位組合ガ舊來ノ業者ヘ

賣ルコトヲ絕對ニ禁ジテシマツテ居ルノデス、若シ單位組合カラ商人ノ手ヲ經テヤラウトスルト、將來其ノ組合ニハ原木ノ拂下ヲシナイゾト云フノガ一ツノ強壓手段トシテ利用サレテ居ルサウデアリマス、然ルニ青森縣廳ノ建前ハドウナツテ居ルカト云ヒマス、是ハ商人ト組合トノ二本建ヲ許可シテ居ルノデアリマス、縣ノ方針トシテ二本建ヲ許可シテ居ルニ拘ラズ、營林局ハ先程申上ゲマシタ「イデオロギ」一本ニ立籠ル、斯ウ云フコトニナツテ縣ノ方針ト營林局ノ方針ト云フモノガ玆ニ大キナ食違ヒヲ生ジテ來テ居ルト云フノガ青森縣ノ實情ナノデアリマス、果シテ斯ノ如キコトニ依ツテ色々ノ配給關係ニ摩擦ヲ生ズルト云フノガ農林省ノ御方針ナノデアリカ、青森縣デ執ツテ居リマスルヤウニ商人ト組合トノ二本建デ行ツテ、此ノ際相剋摩擦ノナイヤウニ行カウト云フノガ農林省ノ御方針ナノデアリマス、此ノ點ニ付テ一ツ御同致シタイノデアリマス

○田中政府委員 此ノ配給機構ト聞取引ノ問題ガ現在ノ公定價格ノ或ル品物ニ付テノ大キナ問題デアルト思ヒマス、隨ヒマシテ此ノ配給機構ニ付テ或ル程度ノ整備ヲスルト云フコトガ必要デアルトハ申スマデモナイト思ヒマス、併シ急激ナル變化ヲ與ヘルコトニ付テハ、吾々トシテハ賛成シテ居ナイノデアリマス、殊ニ木炭ニ關スル限リニ於キマシテハ、實ハ少クモ本年度木炭ニ付テハ、餘リ配給機構ニ付テヤラレト云フト木炭ノ流レヲ阻止スル結果ニナル、ソレ少クモ東京市ノ如キニ於キマシテハ成ベク自由ニ木炭ガ入ルヤウニシテ置イテ貰ヒタイト云フコトヲ申シテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、農林省トシテ極端ニ産業組合ヲラザルベカラズト云フヤウナ指導ハシテ居ラナイノデアリマス

○森田委員 洵ニ御明解ナル御答辯デアリマシテ、私は満足致シマスガ、併シ只今ノ御方針ニ違フヤウナコトヲ下級ノ官廳ガ強行シテ居ルト云フ事實ガアリマシタナラバ、ソレハドウ云フヤウナ御處置ヲナサル御積リデゴザイマス

○田中政府委員 事情ヲ取調ベマシテ、ソレガ非常ニ無理デアルト云フコトデアリマスレバ、斯ウ云フ際デアリマスルカラ考ヘテ見タイト思ヒマス

○森田委員 私ハ此處デ具體的ニソレヲ舉ゲマセヌ、何レハ適當ナ機會ニ申上ゲタ方ガ宜イト思ヒマスカラ、營林局トシテハ大體青森縣ノ方針ニ則リタイト云フ意向ヲシイノデアリマスガ、其ノ下ノ方ガ中々言フコトヲ聽カスト云フノデ、非常ナ摩擦ヲ起シテ居ルト云フ具體的ナ事實ガアルノデアリマスカラ、ドウカソレ等ニ付テモ將來一ツ適當ナル方法デ之ヲ緩和シテ戴キタイト云フコトヲ希望ヲ申上ゲテ置キマス、ト同時ニ先程御願申上ゲタ通り原木ノ拂下ゲラ一般業者ト、ソレカラ組合トノ二本建ニシテ戴カナケレバドウシテモ木炭ノ増産ニナラスト云フノガ青森縣ノ縣廳ノ方針ナノデアリマシテ、此點私等ト同ジ考ナノデアリマス、又農林省ノ御考モソレト同一デアルト云フコトガ今日ノ問答デハツキリ私ニ納得ガ出來タノデアリマスガ、是ハ決シテ小サナ問題デナイト思ヒマスルシ、單ナル「イデオロギ」ノ強行等カラ相剋摩擦ヲ起シテ、サウシテ東京邊リノ斯ウ云フ大都市ニ木炭ノ供給ヲ不足ニスルナドト云フコトハ、是

ハ非常ニ大キイ問題ダト思ヒマスカラ、今日此處で局長サンカラ色々ノ方面カラ私等ノ考ト同ジヤウナ答辯ヲ得タノデアリマサルカラ、單ナル議會デノ答辯ト云フコトデナク、下ウカ此ノ趣旨ヲ下級官廳ニ徹底セシメテ戴キタイ、斯ウ云フコトヲ御願申上ダマシテ私ノ質問ヲ打切ル次第ゴザイマス

○庄司委員長代理 一寸御一同ニ御諮リ申シマスガ、内務省ノ地方局長ガ見エテ居ルノデアリマスガ、貴族院ノ豫算總會其ノ他ノ關係上午後ハ到底來レナイヤウナ關係ニアルサウデゴザイマシテ、私ノ地方局長ニ對スル質問ハ三分位ノ質問デゴザイマスガ、御諒解ヲ得マシテ一寸地方局長ニ質問ヲサセテ戴キタイト思フノデアリマス、其ノ間森田サンニ委員長ヲ代ツテ戴キマス

〔庄司委員長代理退席 森田委員長代理著席〕

○庄司委員 東北地方ノ國稅並ニ地方稅ノ稅制上ニ關スル質問ヲ内務省ノ當局ニ御伺ヲ申上ゲマス、雪國地方ノ稅制上ノ負擔輕減問題ニ關シマシテハ、過般東北六縣市町村長、系統農會長、産業組合長其ノ他公職ニ在ル者三千六百八十二名ノ請願ガ、本議會ノ請願委員會ニ於テ滿場一致採擇ニナツテ居ルノデアリマス、所デ私ノ内務省ニ御伺申上ゲタイノハ、東北六縣ハ御承知ノ如ク氣候寒冷ノ爲ニ冷害頻發、或ハ海岸地方ニ於キマシテハ、高潮害、或ハ桑畑ニ於テハ霜害其ノ他各種ノ災害ガ頻々トシテ起リ、爲ニ東北地方ノ産業經濟ト云フモノハ非常ニ衰ヘテ居ルコトハ内務當局ニ於テモ既ニ御承知ノコトデアルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ國稅デアル所ノ地租ノ問題ニ付テハ

今ヨリ約二十五六年前ニ秋田縣ノ故代議士齋藤宇一郎サン、又只今此處ニ居ラレル現東北振興同盟會長熊谷翁ノ如キ方々ガ率先サレテ、東北六縣雪國地方ニ於ケル稅ノ負擔ノ輕減運動、二毛作、三毛作、或ハ高知縣ノヤウニ五毛作以上モ收穫アル地方ト、氣候寒冷ノ爲ニ絕對ニ二毛作以上ノ收穫ノナイ東北地方ト、同率ナル所ノ地租、例ヘバ其ノ當時ニ於キマシテハ賃賃價格ノ百分ノ三・六ト云ツタヤウナ稅ノ賦課率デハ、東北ノ擔稅者ハ助カラス、斯ウ云フ意味ノ運動ガ長イ間繼續サレマシタ、最近ニ於テハ雪國協會ト云フモノヲ作りマシテ、現拓務省政務次官松岡代議士ナドハ、コソ數年背中ニ觀音様ノ像ヲ背負ハレテ、此ノ地租ノ特別ナル東北ニ關スル限り輕減ノ運動ヲ繼續サレマシタコトハ、内務省モ御承知ノ通りデアラウト思フノデアリマス、東北地方ノ擔稅力或ハ生産力ハドウナツテ居ルカト言ヒマスナラバ極ク簡單ニ申シマス、昭和十年ノ大日本帝國統計年鑑ニ依リマス、東北六縣民一人當リ平均ノ生産額ハ全國一道三府四十三縣ノ最末等デアリマス、具體的ニ申シマス、北海道一人當リノ生産額ハ百八十四圓デアリマス、青森縣ハ一人當リノ生産額ハ百圓、北海道ノ百八十四圓ト云フ一人當リノ生産額ハ、全國一道三府四十三縣ノ第二十一番目デアリマスガ、青森縣ノ百圓ト云フ一人當リノ收入ハ四十五番目デアリマス、岩手縣ノ百四十四圓ノ一人當リノ生産額ハ全國ノ第三十六番目、宮城縣ノ百二圓ト云フハ、是ハ全國ノ四十四番目、山形縣ノ百十三圓ト云フハ全國ノ四十三番目、秋田縣ノ百四十四圓ト云フハ全國ノ三十七番目デアリマス、福島縣

ノ百十七圓ト云フハ全國ノ四十二番目デアリマス、斯ノ如ク全國一道三府四十三縣ノ最末等ト云フノガ東北六縣ノ生産力デアリマス、然ルニ一方大阪府ハ一人當リ四百九十二圓、愛知縣ハ四百二十九圓、兵庫縣ハ四百十圓、神奈川縣ハ四百三圓デゴザイマス、斯ノ如キ驚クベキ差額、三倍、四倍ノ差額ガアル、他府縣ト東北六縣ニ關スル限りノ生産力ノ比較檢討ニ於テ斯様ナ關係ニ相成ツテ居リマス、是等ハ孰レモ冷害ニ依リ、凶作ニ依リ、高潮害ニ依リ、霜害ニ依リ、其ノ他ノ災害ノ爲ニ生産力ガ斯ノ如ク衰ヘテ居ルノデアリマス、日本勸業銀行調査報ト云フ雜誌ノ昭和元年ヨリ昭和七年マデノ土地實價價格東北六縣平均ハ田畑一反歩ニ付テ二百七十八圓デアリマス、北海道ト沖繩縣ノ二箇所ヲ除イタ以外ノ他ノ三十九府縣ノ平均ハ四百十八圓デアリマス、斯ノ如ク土地實價價格ニ於テ差額ガゴザイマス、又一方農林省ノ公ナル統計ノ發表ニ依リマス、昭和元年カラ昭和五年マデ東北六縣一反歩當リ耕地收穫高ハ四十三圓五十錢、是ハ田畑モ平均致シマシテ一反歩當リ四十三圓五十錢デアル、然ルニ北海道ト沖繩縣ヲ除イタ他ノ三十九府縣ノ平均一反歩當リノ收穫高ハ六十三圓四十錢、實ニ二十圓ト云フ差額デゴザイマス、斯ノ如ク東北六縣ト他ノ府縣ト比較ベマシタ場合ニ於テ、生産力ノ點ニ於テモ田畑ノ賣買價格ノ點ニ於テモ、彼ハ三ノ力ガアリ東北ハ二ノ力シカナイ、三對二デアリマス、田畑ノ賣買價格ノ點ニ於テモ、生産力ノ點ニ於テモ三ニ對スル二デアアル、斯ノ如ク東北ト云フモノハ、産業ニ於テ、經濟ニ於テ、生産高ニ於テ貧弱ナル所ノ經濟力ヲ示シテ居ル、

生産力ヲ示シテ居ル、斯様ナ狀態デアリマスガ故ニ、今申上ゲルヤウナ地租輕減運動ト云フヤウナ運動ガ起リマシテ、二毛作、或ハ五毛作、十毛作——高知縣ノヤウナ米ガ二度モ出來ルヤウナ所ト同ジ百分ノ三八ト云フ、地租ニ於テハ左様ナ課率サレテ居ル、東北六縣ハ左様ナ非常ナル所ノ生活難生活苦ノ上ニ出發シタル所ノ地租輕減ノ運動デゴザイマス、幸ナルカナ雪國地方ニ關スル救済並ニ稅制上ノ負擔ノ輕減問題ニ關シマシテ、衆議院ニ於テ決議案トシテ現ハレマシテ、全院ノ同情ガ猛然トシテ起リマシタ、昭和十二年度ノ地租賃賃價格ノ改定ノ場合ニ於キマシテハ、全國ノ平均ハ地租ニ於テ二割輕減サレマシタガ、東北六縣ハ特ニ左様ナ理由ノ下ニ賃賃價格ノ査定ノ場合ニ於テ四割二分ノ輕減ニナリマシタ、即チ關西、關東、四國九州方面ノ地租ノ課率ガ二割ヲ減ゼラレマシタ場合ニ於テ、東北ハソレ等ト比較シテ二割二分ダケヲ安クシテ戴イタノデアリマス、是ハ非常ニ東北ノ爲ニハ有難イコトデアリ、感謝スル所デアリマス、カレドモ、ソレハ當然ノ權利デアル、負擔力ガナイ所ハ少額ヲ取ルト云フコトハ、蓋シ此ノ所得稅ノ體系トスル所、或ハ賃賃價格ヲ基本トスル所ノ稅制上ノ課率賦課ニ對シテハ、當然ノ權利デアアル、然ルニ今御承知ノ通り稅制上ニ大ナル變化ガ行ハレントシテ居リマス、國稅體系ニ於テモ、地方稅體系ニ於キマシテモ、大ナル今回改革ガ行ハレル此ノ際ニ於テ、ヤハリ昭和十二年地租改正當時ノ賃賃價格ノ改正ノ場合ニ於テ大藏省及ビ内務省ガ東北六縣ニ對シテ特ニ四割二分減ト云フ御理解ヲ示シテ下サイマシタアノ心持ヲ以テヤツテ戴キ

タイ、今回ノ稅制改革ニ於キマシテモ、特ニ東北六縣ノ地租或ハ家屋稅、又各種ノ稅制ノ種目ヲ通ジテ賃賃價格ノ評價ト云フ場合、課率ノ改正ト云フヤウナ場合ニ於テ、昭和十二年度ノ東北ニ對スル溫カイ御理解ト大ナル英斷ヲ御忘レナク、今回ノ稅制ノ改革ニ直面致シマシテ、而シテ東北六縣ノ擔稅力ノ少イ方面ヨリハ、擔稅力ノ旺盛ナル方面ト較ベテ賃賃價格ニ著シイ所ノ差等ヲ設ケルヤウニ價格ノ差等ニ付テ御同情ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ見地カラ過般ノ建議委員會ニ於テモ滿場一致採擇ニナツテ居ルノデアリマシガ、東北地方ト云フ特異性ヲ有シテ居ル、生産力ノ少イ、擔稅力ノ少イ、災害交々至ル疲弊困憊ノ東北六縣ニ對シテ、當局ハ稅制上ニ於テ如何ナル御信念ト御理解ヲ御持チデアルカ、昭和十二年ノ地租改革ノ際御示シ下サシマシタヤウナ御理解ヲ今回ノ稅制改革ノ際ニ於テモ御示シ下サルコトガ出來得ルカドウカト云フコトヲ、內務當局ニ御伺申上ガルノガ私ノ內務省關係ニ對スル全部ノ質問デアリマスガ、ドウカ胸襟ヲ開イテ本當ニ寬イデ東北ニ對スル所ノ稅制上ヨリ見タル御理解アル所ノ御信念ヤ御計畫ヤヲ拜聽シタイノデアリマス

○狹間政府委員 御尋ニナリマシタ東北地方ニ於ケル稅負擔ノ問題ニ付キマシテハ、當局ト致シマシテモ、東北地方ニ於ケル産業經濟ノ狀態、竝ニ一般ノ生活狀態カラ考ヘマシテ、出來ルダケ其ノ振興ヲ各方面カラ企圖シナケレバナラヌト云フコトヲ年來考慮致シテ居ルノデアリマス、御存ジノ通り施設ノ方面ニ於キマシテハ、東北振興調查會等ヲ設置致シマシテ、其ノ答申ニ基キノレムノ部門ニ於キマシテ振興計畫ヲ實行シテ居ルノデアリマス、內務當局ト致シマシテ、地方稅制ノ上ニ付テ東北ノ如何様ニ考ヘルカト云フコトニ付キマシテハ、東北振興ノ問題ト相關聯致シマシテ、深甚ナル注意ヲ拂ツテ考究ヲ致シテ居ルノデアリマス、御述ベニナリマシタ稅負擔ノ實際ノ生産力ヨリモ高イト云フコトニ付キマシテハ、現行ノ稅制ノ運用ト將來ノ——今回企圖致シテ居リマス地方稅制改正ノ内容トニ分ケテ申上ガマシテ、十分ノ御理解ヲ御願致シタイト思フノデアリマス、現行制度ニ付キマシテハ、只今御述ベニナリマシタ通り、賃賃價格ノ調査ニ付キマシテ、政府トシテ十分ノ考慮ヲ東北地方ノ土地賃賃價格ニ付テ盡シテ居ルノデアリマスガ、其ノ外收穫皆無トナリマシタ場合ニハ、無論災害免租ガゴザイマスガ、災害免租ニナラナイ場合ニ於キマシテモ、御存ジノ通り臨時租稅措置法、又臨時租稅措置ニ關スル勅令ニ依リマシテ、或ハ冷害、潮害、水害等ノ場合ニ於キマシテ減收ガ生ジマスレバ、成ル程度ノ輕減ヲ致スコトモ考慮致シテ居ルノデアリマスガ、是ハ臨時ノ措置デゴザイマシテ、將來ノ問題ト致シマシテ考ヘマスナラバ、今回ノ地方稅制ノ改正ハ恰モ御述ベニナリマシタヤウナ狀態ニ對シテ、稅制ヲ地方ノ財政事情ニ即應セシムルヤウニ考究立案致シテ居ルノデアリマス、即チ今日ノ地方團體ノ財政狀況ヲ見マスト、財源ニ乏シイ團體ハ非常ニ稅收入ガ少クテ、而モ年々増加シテ來ル事務ニ追ハレテ居ルヤウナ狀況デアリマスカラ、負擔ガ過重ニナルコトヲ避ケ難イ情勢デアリマス、而モ他ノ一面ニ於テハ非常ニ資力ノ豐富ナ團體モアルノデアリマシテ、此ノ狀態ヲ此ノ儘繼續致シマシ

テハ、地方財政ガ地域的ニ見マシテ非常ニ不均衡デアアル結果、益々窮乏ノ一途ヲ辿ルコトニナリマスノデ、此ノ度ノ稅制改正ニ於キマシテハ、大體地方稅收入ノ六割數分ト云フモノハ獨立財源ヲ以テ充當致シマスガ、三割數分ハ所謂地方分與稅トシテ財政調整ノ目的ヲ以テ地方財源ヲ分與スルト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、此ノ分與ノ問題ハ、課稅力ト云フモノガ大キナ分與ノ標準ニナルノデアリマシテ、只今御述ベニナリマシタヤウニ、土地ノ生産力ガ非常ニ低イ、或ハ營業ガ十分盛デナイ、家屋ノ賃賃價格モ低イト云フヤウナ土地柄ニ於キマシテハ、ソレガ分與稅ノ分與ノ基準トシテ用ヒラレマスノデ、課稅力ノ低イ所ニハ分與稅ガ多額ニ分與セラレルヤウナ仕組ニナツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ東北地方ヲ例ニ申シマス、從來土地、家屋、營業等ノ負擔ニ於テ過重デアツタノガ、全國大體平均シタ負擔トナリマシテ、而モ財源トシテハ分與稅ノ方面ニ於テ相當餘裕ノアル財源ヲ與ヘラレルコトニナルト思ヒマス、尙ホ市町村ニ付キマシテハ、戶數割ヲ、今回全廢致シタノデアリマシテ、動モスレバ地方負擔ノ過重ニナツテ居リマシタ原因ノ戶數割ガ今回全然ナクナリマシテ、地方ノ負擔ハ此ノ意味ニ於テモ輕減セラレルコトニナルト思フノデアリマス、斯様ナ次第デアリマシテ、今回ノ稅制改正ハ、恰モ御述ベニナリマシタヤウナ財政窮乏シテ居ル地方ニ對シテ、必要ナル財源ヲ分與スルト云フ建前ニナツテ居リマス、此處デ具體的ニ、東北某縣ニ於テ或ハ某町村ニ於テ、ドレダケノ財政力ノ餘裕ガ今回ノ稅制改正ニ依ツテ與ヘラレルカト云

フコトヲ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、全體的ニ大量觀察ヲ致シマシテ、只今申上ゲマシタ通り、財政窮乏セル地方ニ對スル十分財源ヲ付與スルト云フコトガ、今回ノ稅制改正ノ内容ニ盛ツテアル次第デアリマス、又賃賃價格ノ問題ニ付キマシテ、土地家屋等ニ付テ御述ニナツタ點モ吾々非常ニ同感デゴザイマス、唯課率ヲ其ノ爲ニ下ゲルト云フコトハ、是ハ如何カと思フノデアリマシテ、自然土地並ニ家屋ニ對スル賃賃價格ノ問題ハ、國ガ全國的ニ之ヲ調査致スノデアリマシテ、生産力ノ大ナル地方ノ土地ノ賃賃價格ト、冷害乃至雪害等ニ依ツテ生産力ガ非常ニ低イ土地ノ賃賃價格ト云フモノハ、自ラソコニ相當ノ差等ガ設ケラレルコトニナルト思ヒマス、隨ヒマシテ地租ニ付テノ其ノ課稅標準タル土地賃賃價格ノ決定ニ付キマシテハ、會デ政府ガ執リマシタト同様ナ方針ヲ以テ其ノ調査ニ當ルコトト考ヘテ居リマス、次ニ家屋ノ賃賃價格ニ付キマシテハ、只今ノ所デハ家屋稅ガ府縣稅デゴザイマス爲ニ、各府縣各、勝手ナ調査ヲ致シマス爲ニ、非常ニ賃賃價格ノ決定ニ地方的ニ不均衡ガアルノデアリマシテ、是ハ地方稅負擔トシテ適當デナイト考ヘラレマスノデ、今回ノ稅制改正ニ於キマシテハ、家屋稅モ之ヲ國稅ニ移管スルコトニ致シマシタノデ、將來國ニ於テ全國一律ニ統一シタル標準ノ下ニ家屋ノ賃賃價格ヲ決定スルコトニナツテ參リマスカラ、御述ニナリマシタヤウナ賃賃價格ニ付キマシテモ、全國ヲ押並ベテ合理的ナ賃賃價格ノ決定ガ出來ルト思ツテ居リマス、但シ家屋稅ニ付キマシテハ、此ノ調査ニ數年ヲ要シマス爲ニ、稅制改正後昭和十五、十六ノ兩年度間ハ尙

第六類第四號 東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會會議錄 第六回 昭和十五年二月二十七日

豫定通り供給出來ルノデアリマスカ
○田中政府委員 前ノ問題ニ付テハ、吾々
ト致シマシテ、國有林木材ニ付テハ現在モ

指導致シテ居リマスガ、更ニ若シ暴利ヲ取ツテ居ルト云フ事實ガアリマスレバ、是ハ出來ルダケ指導ヲシテ行ク積リデ、現ニ計畫モシテ居ルノデアリマスガ、山林局トシテハ難カシイ立場ニアリマシテ、尙ホ國有林ノ木材拂下價格ヲ下ゲルト云フ強い御要求モ、是ハ軍部デハナクシテ民間ノ人ノ中ニアリ、吾々トシテハ立場ニ苦シンデ居ルノデアリマスガ、併シ暴利ヲ取ルト云フヤウナコトハ、此ノ際避クベキデアリマスカラ、出來ルダケ是正出來ルヤウニヤリタイト思ツテ居リマス、東北振興「バルブ」ニ對スル供出材ニ付キマシテハ、出來ルダケ目的ヲ完遂シタイ、サウ云フ積リデ營林局ニモ指導ヲシテ居リマス、多分間違ナイト思ツテ居リマス

○中田委員　木材ノ價格ヲ下ゲルト云フ要

求モアルト云フ今ノ御話デアリマスガ、私
ハ下ゲルト云フコトニ對シテハ何等異議ノ
ナイ者デアリマシテ、拂下價格ガ下ツタコ
トニ依ツテ消費者ガ其ノ恩惠ニ浴シ得レバ
此ノ上ナイコトデアリマス、唯拂下ヲ受ケ
タ一部ノ業者ノミガ非常ニ不當ナ利益ヲ得

テ居ルト云フ現狀デアルカラ、之ヲ是正シ
ナケレバ國家ガ折角價格暴騰ヲ抑止ス
ル爲ニ公賣ヲ廢止シタル理由ト云フモノ
ハ全然ナクナツタ、斯ウ云フ現狀デアルガ、
只今承ハルト、相當ナ計畫ヲ御立デニナツ

テ居ルト云フコトデアルカラ、成ベク早く
適切ナ計畫ヲ御立テニナツテ、斯様ナ不當

不合理ナコトノ解消スルヤウニ御盡力ヲ御願致シタイト思フノデアリマス、ソレカラ

「パルプ」ノ原本供給ニ付テハ、ソレノ計
畫ヲ立テテ營林局デヤツテ居ルト云フコト
デアリマスガ、地元ニ於テハ非常ニ心配致
シテ居ル問題デアリマス、豫定通りノ供給
ハ出來得ナイノデハナカラウカ、サウナルト
工場ガ竣工シタ後ニ、作業ヲ開始致シマス
ルト、會社トシテ工場ヲ遊バセテ置ク譯ニ
ハ行キマセヌカラ、民間ノ色々ナ原木ヲ手
近ナ各方面カラ集メル結果ニナルノデナカ
ラウカ、サウスルト民間ノ木材ガ非常ナ高
値ニナル、サウシテ「パルプ」原料ニナル物
ハ必ズシモ立派ナ木材デナクモ宜イ、地
方ニ於キマシテ薪等ニ使ツテ居ツタ物が皆
其ノ方ニ流レテ行クト云フコトニナツテ、
薪炭材ニ非常ナ支障ヲ來ス結果ニナルノデ
ハナカラウカト云フコトヲ非常ニ心配ヲ致
シテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付テハ具
體ノコトヲ御尋シテモ此ノ席デハ御答辯
ハ難カシト思ヒマスルカラ、唯其ノ地方
ニ於テ非常ニ心配ヲ致シテ居リマスコトヲ
御考下サイマシテ、御調査下サイマシテ、
成ベク之ニ對シテモ若シ豫定通りノ原木ノ
供給ガ出來レバ之ニ越シタコトハナイノデ
アリマスガ、出來得ナカツタ場合ノコトニ
付テ御考置キテ願ヒタイト思フノデアリマ
ス

倒シタ儘デ山元ニ於テ拂下ヲスル、其ノ結
果トシテ山元カラ運搬スル人夫ニ付テ非常
ナ苦痛ヲ感ジテ居ルヤウデアリマス、併シ
一旦拂下ヲ受ケタモノヲ一日モ早ク處分シ
タイト云フ關係カラシテ、色々ナ方法ヲ取
ツテ努力ノ奪合ヒヲヤツテ居ル、無統制ノ
儘デ山ノ中ノ狭イ所デ人夫ノ奪合ヒヲヤツ
テ居ルカラシテ、斯ウ云フヤウナ情勢カラ
勞働賃銀ガ果シナク段々上ツテ行ク、其ノ
結果ト致シマシテ木材價格モ段々上ツテ行
ク、先程モ薪炭材ノコトニ付テ色々森田サ
シカラ御話ガアリマシタガ、是モ一ツノ原
因ニナルト思フノデアリマス、斯様ナコトハ
從來ノヤウナ方法デ土場デ拂下ヲスルト云
フコトニナツタナラバ、營林局デ努力ノ統
制ガ出來テ一元ノニヤツテ行キマシタナラ
バ、左様ナコトモナク「スムース」ニ行ク筈
ダト考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付テハ
ドウシテモ現在ノヤウナ方法ヲ執ラナケレ
バナライ理由ハ、如何ナル理由デアルカ、
此ノ點ヲ御伺シタイノデアリマス

○田中政府委員 專門家デアレバ御分リニ
ナルヤウニ、國家ノ收入ヲ舉ゲルト云フ點
カラ言ヒマスレバ、市場マデ運シテ行ク方
ガ宜イノデアリマス、併シ決ツタ經費デア
ル關係カラ致シマシテ、サウ致シマス木
材ノ増産ト云フモノハ非常ニ困難デアリマ
ス、所ガ吾々ト致シマシテハ、其ノ收入モ
サルコトデアリマスレドモ、現下ニ於テ
ハ物ヲ出スト云フコトガ第一義デアル關係
カラ致シマシテ、兎ニ角物ヲ多ク出ルヤウ
ニスルト云フコトニ努メテ居ル譯デアリマ
ス、經費サハ潤澤ニアリマスレバ、又特別
會計ノ如クデアツテ賣ツテハ其ノ收入ヲ利
用スルト云フヤウナ建前デアリマスレバ、

土場ナリ或ハ驛近クマデ運搬スルト云フコ
トガ出來マスレドモ、單價ガ決ツテシマ
ツテ居リマスカラ、御話ノ通り勞賃ハ高イ
シ、輸送賃ハ高イシ、伐倒シ賃モ高イト云
フ譯デアリマスカラ、結局山ノ中ニ引込シ
テ仕事ヲスルト云フコトニナツテ居リマス、
結局經費ガ足りナイカラサウ云フコトニナ
ツテ居ルト云フ次第デアリマス、隨テ山デ
伐倒シテ居レバ却テ出ニクイト云フ場合モ
アリ得ルコトト思ヒマスレドモ、ドウシ
テモソレハ經費ノ關係上已ムヲ得ナシノデ
アリマス

○田中委員 私人御尋スル重點ハサウ云フ
山村ニ於ケル努力ノ需給ノ關係ヲ調整スル
ト云フ意味カラシテ、營林局デ從來ノ
ヤウナ方法デヤツタ方が適當デハナイカ
ト思フノデアリマス、唯私共ノ聞ク所
ニ依リマス、從來カラ豫算ノ關係上出
來得ナイ、豫算ガ足りナイカラ山元デ倒シ
テ、拂下ヲ受ケタ者ニ運搬料ノ負擔ヲサセ
ナケレバ出來得ナイ、官廳ノ事情デサ
ウ云フコトヲヤツテ居ルト云フコトヲ聞イ
テ居リマスガ、併シ斯様ナコトハ努力問題
ガ非常ニ重大ナ問題ニナツテ居リマス今日
デハ、作業豫算ガ少カツタナラバ、是ハ豫
算ヲ増シテモ營林局デ或ル程度マデノ作業
運搬ヲヤツテ、サウシテ拂下ゲシタ方が非
常ニ適當ナ方法デアルト思ヒマス、是ハド
ウシテモソレガ出來得ナイ事情ニアルカド
ウカ、斯ウ云フコトヲ御尋スル次第デアリ
マス

○田中政府委員 今申シマシタヤウニ、御
話ノ通り經費ガ無イカラ出來ナイ、ソレナ
ラバ要求スレバ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ
コトデアリマスガ、吾々トシテハサウ思ヒ

マスケレドモ、併シ又一面國家財政ノ立場
カラ言ツテ、サウ無理モ言ヒ得ナイ、要ス
ルニ收入ガアリマスルカラ相當經費ヲ取ツ
テモ差支ナイヤウニ吾々ハ思ヒマスルケレ
ドモ、ソコハ又財政當局トシテハ中々踏ミ
切レナイ所ノヤウデアリマス、經費ガ無イ
カラ出來ナイ、御話ノ通りデアリマス

○田中委員 豫算ガ少イカラ出來ナイト云
フヤウナコトデアリマスガ、ソレハ收入ヲ
伴フ、若シ豫算ガ無カツタナラバ、拂下價
格ヲ上ゲレバ必ズソレニ對スル收入ハ生レ
テ來ルノデアリマス、サウ云フコトハ出來
ナイ筈ハナイト思フノデアリマス、是ハ農
林省ダケノ問題デナク、大藏省トノ關係モ
アリマスカラ、此處デ局長サンニ御尋シテ
モ埒ノ明カナイコトト思フノデアリマスル
ガ、實情ハ其ノ爲ニ山村ニ於ケル勞働力ノ
爭奪ト云フモノハ非常ナ狀態ニ陥ツテ居ル
ノデアリマス、此ノ點ハ國家トシテ何等ソ
レニ對シテ損害ヲ蒙ル譯デハナシ、豫算
ヲ唯餘計出シテ餘計取レバ宜イダケノコト
デアツテ、サウシテ努力ノ合理化ガ出來ル
コトデアリマスカラ、斯様ナコトハ山林局
トシテモ大藏省ニ對シテ相當強ク出テ、豫
算ヲ増シテ戴キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、實
際此ノ問題ハ運搬ノ馬糞トカ馬車ノ奪合ヒ
ハ非常ナ深刻ナ狀態ニナツテ居ルノデアリ
マス、ソレデアルカラシテ、是ハ用材ダケ
ノ問題デナク、炭ノ運搬ニモ影響シテ居ル、
炭燒ノ問題ニモ影響シテ行キ、山村ノ努力
問題トシテハ重大ナ問題デアルト思フノデ
アリマス、是ハドウシテモ出來得ナイト云
フ非常ニ複雑ナモノデアレバ已ムヲ得ナイ
ケレドモ、極ク簡單ナコトデアリマスカラ、
更ニ十分大藏省ニ之ヲ諒解サセテ、必要ナ

豫算ハ増額サセテ拂下價格ヲ上ゲテモ此ノ點ハ解決シテ戴キタイ、斯ウ考ヘルノデアリマス

ソレカラ次ニ木炭ノコトニ付テ簡單ニ御同致シマス、新聞ヲ見マスト二億萬貫カノ木炭ヲ來年度ニ於テ生産致シマシテ、サウシテ大消費地ノ需要ニ充テルト云フヤウナコトガ掲載サレテ居リマスガ、此ノ計畫ハドノ程度マデ進ンデ居リマスカ、此ノ點ヲ承リタイト思ヒマス

○中田政府委員 基準數量ハ六億五千萬貫デアリマスガ、十四年度一億五千萬貫ノ増産計畫ヲ立テテ、十五年度ハ更ニ「プラス」五千何萬貫ノ計畫デアリマスカラ、約二億萬貫ノ増産計畫ヲ立テテ居リマス、ソレカラ前ノ問題ハ拂下價格ヲ高クシナクテモ宜イ譯デアリマス、是ハ高クスルト言ヒマスヨリカ、要スルニ運賃ダケヲ加ヘル譯デアリマスカラ、當リ前ノ値段マデ賣レバ宜イ譯デアリマス

○中田委員 若シソレガ拂下價格ヲ高クシナクテモ出來ルナラバ、殊ニソレハヤツテ戴キタイト思ヒマス、ソレハ地方デハ痛切ナ問題ニナツテ居リマスカラ、其ノ點ハ十分御研究願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ今ノ炭ノ生産ノ問題デアリマスガ、是ハ營林局等デ直營ナサルノカ、ドウ云フ方法デオヤリニナルノカ、其ノ點ヲ承ツテ置キマス

○田中政府委員 今ノハ全木炭ノ増産計畫デアリマシテ、國有林ノ炭ハ僅カデアリマス、今度ノ計畫ハ、從來ハ是モ相當製炭シテ居リマシタケレドモ、木材ト同ジデ、ヤハリ段々ト山ニ引込シテ、經費ガアリマセヌカラ官行製炭ハ減ラシテ來マシタ、併シ今年ハ全體的ニ國有林ノ原木ノ拂下ヲ増加

スルシ、官行製炭モ割合ニ増加スル、併シ官行製炭ヲ非常ニ多クスルコトハ經費ノ關係デ出來マセヌガ、全體ヲ多クシマス、拂下モ多クスルシ、官行製炭モ多少多クシマス

○野村委員長 中田君、餘程アリマスカ、アリマスレバ十二時過ぎデスカラ午後ニ御願シマセウ

○中田委員 モウ少シデス

○野村委員長 ソレナラバオヤリナサイ

○中田委員 サウシマスト是ハ根本ノ問題ニナリマスガ、一體木炭對策ノ主管ト言ヒマスカ、之ヲ一元的ニ政府ニ於テオヤリニナツテ居ルノデアリマスカ、昨年ノ木炭騒動ノ際ニ於テハ、何處ノ地方モサウダト思ヒマスガ、秋田縣ナドデハ警察ガ乗出シテ警察署長ガ警察署ノ管内ニ配給協議會トカ云フ新シイ機構ヲ設ケテ配給ヲヤリ出シタ、サウシテ生産シタ者モ其ノ管外ニハ絶對ニ出スコトガ出來ナイ、又賣リタイ者モ賣ルコトガ出來ナイ、物ヲ持ツテ居ツテモ金ニスルコトガ出來ナイト云フノデ、コンナヤカマシイノナラ炭焼ヲ止メテシマツテ外ノ仕事ヲスル方ガ宜イト云フノデ、他ニ轉業シテ行クト云フ現狀デアツタノデアリマス、ドウモ吾々考ヘテ見ルニ、木炭ナドノコトハ縣デアツタナラバ林務課ガ總デノ計畫ヲ立テテオヤリニナルベキモノデアルト考ヘテ居ツタノデアリマス、殊ニ又冬ニナツテ愈々寒イ需要期ニナツテ大騒ギヲシナイデモ、需給ノ關係ハモット早ク分ルベキ筈デス、又主ナル生産地デハ木炭検査ヲ實行シテ居リマシテ、木炭検査員ト云フモノガアリ、更ニ又各山元ノ事情ハ分ツテ居ルベキ筈デアリマス、又國有林ノアル所デ

ハ營林局、營林署其ノ他ノ組織ガアリマシテ、山村ノ事情ハ十分分ツテ居ルカラ、木炭ガ何處ニドレ位生産サレルト云フ數量ハ推定サレテ居ルベキ筈デス、唯需要ガ殖エタノハ外ノ方デ需要ガ殖エタト云フコトハ分ルベキ筈デアツテ、需要期ニ入ツテアア云フ風ナ大騒動ヲサセルト云フコトハ、普斷何ヤツテ居ラレタカ、主管課ガドンナ仕事ヲオヤリニナツテ居ツテ、アア云フ風ナ泡ヲ食ツテ醜態ヲ演ゼラレタカト云フコトヲ熟シ不思議ニ考ヘラレタ譯デアリマス、第二年度ニ入リマシテ、今年ハ六億五千萬貫ノ生産ノ計畫ヲ御立テニナルト云フコトデアリマスガ、其ノ計畫ニ對シテハ、生産ト配給ヲ一元的ニ主管省ガ出來テ之ヲオヤリニナルノデアアルカ、農林省ハ單ニ生産ノ計畫ヲ立テ配給ハ商工省デヤリ、何ハ何處デヤルト云フコトデハ、又切羽詰ツテ騒出シタ場合ニ内務省警保局邊リガ乗出シテ來テオ巡リサンガ色々ナコトヲヤリ出スコトニナルノカ、其ノ表ノ機構ヲ御説明願ヒタイ

○田中政府委員 御話ノ通りニ數量的ニ見テアノ時期ニアア云フ騒ギヲスルト云フコトハ不思議ナヤウニ實ハ思ヒマス、吾々モサウ思ヒマス、併シ實質ハヤハリ米デ大騒ヲシタト同ジヤウニ、結局配給ノ不圓滑ド、ソレニ伴フ人氣ト言ヒマス、木炭ニ對スル不足感ト云フヤウナコト、サウ云フコトガ絡マツテアア云フコトニナツタト思ヒマス、殊ニ政治都市デアル東京市ガ一番先ニ木炭不足感ヲ與ヘラレタノデアリマス、是ハ相當東京市ニ木炭ヲ流シテ居タ近クノ縣デ移出禁止ヲヤラレタ結果、相當ナル影響ガアリ、且ツ色々ナ問題ガアリマス

ケレドモ、ソコマデ申上ゲヌデモト思ヒマスガ、サウ云フコトデ實際以上ニ不足感ヲ與ヘテ、配給ノ不圓滑、分配ノ不均衡ガ起ツタ、斯ウ云フ譯デアリマス

○中田委員 昨年ノ事情ニ付テハ、今御話ノアツタ通りデアルト思ヒマス、私共ハヤハリ昨年ハ大騒ギシタノハ、實際私ノ見聞スル範圍内ニ於キマシテハ、丁度冬ノ需要期ニ入ル前ニ安カツタ、ダカラ結局公定價格ハ値上ゲニナルノダト云フコトデ、山元デハ炭ヲ出サナカツタ、其ノ内ニ段々雪ガ降ツテ來テ運搬ガ非常ニ難カシクナツテ出サウト思ツテモ出セナクナツタ結果、消費地ニ來ズニ大騒ギニナツタノダト思フ、所デ今年モヤハリ農林省ハ農林省デ一ツノ生産ノ計畫ヲ立テレバソレデ吾々ノ責任ハ濟ムノダ、更ニ配給ハ配給デ商工省ナリ企畫院ナリ外ノ方デヤルノダト云フコトデ、一貫シタ綜合的ナ計畫ガ立タナケレバ、又去年ト同ジヤウナコトニナツテ、去年ノ二ノ舞ヲヤルノデハナカラウカト思フノデアリマス、更ニ生産方面ニ於キマシテハ、先程森田君カラモ御話ガアリマシタガ、昨年ノ警察ガ乗出シタ當時ノコトヲ考ヘルト警察ハアルモノヲ分配スルト云フコトニ重點ヲ置イテヤリ出シタ、ソレデアアルカラ私ノ縣デモ配給協議會ガ出來テ、警察部長ハモウ非常ナ完全ナ機構ヲ拵ヘタ全縣下ノ各關係者ガ集マツテ配給協議會ヲ作り、各警察署ノ管内デ生産者ハ絶對ニ配給協議會ノ承認ヲ得ナケレバ木炭ヲ賣出スコトハ出來ナイ、運搬モ出來ナイト云フコトデアアルカラ、是ハ非常ナ立派ナ機構ダト云フコトヲ非常ニ自慢サウニ話シテ居ツタ、ソコデ私ハ、大變結構ナ機構デアルケレドモ、如何ニ立派ナ配給機構ヲ作ツテモ

ハ營林局、營林署其ノ他ノ組織ガアリマシテ、山村ノ事情ハ十分分ツテ居ルカラ、木炭ガ何處ニドレ位生産サレルト云フ數量ハ推定サレテ居ルベキ筈デス、唯需要ガ殖エタノハ外ノ方デ需要ガ殖エタト云フコトハ分ルベキ筈デアツテ、需要期ニ入ツテアア云フ風ナ大騒動ヲサセルト云フコトハ、普斷何ヤツテ居ラレタカ、主管課ガドンナ仕事ヲオヤリニナツテ居ツテ、アア云フ風ナ泡ヲ食ツテ醜態ヲ演ゼラレタカト云フコトヲ熟シ不思議ニ考ヘラレタ譯デアリマス、第二年度ニ入リマシテ、今年ハ六億五千萬貫ノ生産ノ計畫ヲ御立テニナルト云フコトデアリマスガ、其ノ計畫ニ對シテハ、生産ト配給ヲ一元的ニ主管省ガ出來テ之ヲオヤリニナルノデアアルカ、農林省ハ單ニ生産ノ計畫ヲ立テ配給ハ商工省デヤリ、何ハ何處デヤルト云フコトデハ、又切羽詰ツテ騒出シタ場合ニ内務省警保局邊リガ乗出シテ來テオ巡リサンガ色々ナコトヲヤリ出スコトニナルノカ、其ノ表ノ機構ヲ御説明願ヒタイ

物ガ無ケレバ消費者ニ満足ヲ與ヘルコトガ出來ナイ、此ノ騷ギヲ解消スルコトハ出來ナイと思フ、生産セズシテ新シイ機構ヲ立テモ、生産者ノ實情ヲ顧慮シナイデ、配給機構ダケデ圓滿ニ増産ガ出來ルカ、満足ニ消費者ニ所要量ノ配給ガ出來ルカト申シマシタ所、ソレニ對シテ御答ガナカツタノデアリマス、答ヘラレナイ筈ダと思フノデアリマス、ヤハリ從來ノ古い機構ト申シマス、東京ノ大キイ問屋カラ地方ノ商人ガ金ヲ借りテ山ヲ買ツテ、燒子ニ或ル契約ノ下ニ金ヲ貸シテ炭ヲ燒カシテ、出來上ツタモノヲ契約シテ價格ヲ買取ツテ東京ノ市場ニ問屋ノ方ヘ送り出ス、サウ云フ風ニ古い機構ガ一ツノ運轉ヲシテ居ツタ、所ガ生産ヲ顧慮シナイ唯配給ノミヲ考ヘタ新シイ機構ニ依ツテ總テノモノヲヤツテ行カウトフノデアリマスカラ、是ハトモ一時的ノアア云フ急場ノ大騷ギシタ時ハ已ムヲ得ナイ處置デアルト思ヒマスガ、又アア云フバラ／＼ノ機構デ、警察ハ警察デ、林務課ハ林務課デ、商工課ハ商工課デ、地方廳ニ於テモサウ云フ風ナバラ／＼シタコトヲヤリ出シタノデハ、又今年ノ冬モ同ジヤウナコトヲ繰返シ結果ニ陥ルト思フノデアリマスガ、何トカ政府ニハ綜合的ナ御計畫ガアルノデアリマスカ、ヤハリ農林省山林局トシテハ單ニ生産ノ部面ニダケ御關係ニナルト云フコトデアリマスカ、其ノ點ヲ御伺シマス

○田中政府委員 從來ノ儘デアリマスルト、御話ノ通りノ結果ガ豫想サレマス、ソコデ目下吾々トシマシテハ對策ヲ練ツテ居リマスカ

○中田委員 其ノ對策ハ農林省山林局ダケ

ノ生産ナラ生産ニ對スル對策デスカ、一元的ニ一貫シタ綜合的ナ對策デアリマスカ

○田中政府委員 研究デアリマスノデ、御質問ノ趣旨ニ副フカドウカ分リマセスガ、全配給機構ヲドウスルト云フ問題ハ實ハ吾等ノ方ハ考ヘテ居ナイノデアリマス、配給問題ニハ勿論觸レテ居ルコトハ觸レテ居リマス、生産ダケノ問題ハ生産トシテ増産ヲヤリマスガ、配給ニ付テハ全機構ノ問題デハナク、補足的ナ方法ヲ今考ヘテ居リマスガ、今此處デマダ御發表申上ゲル段取ニナツテ居ナイコトハ御諒承願ヒタイノデアリマス

○中田委員 是ハ農林省ダケデナク、ヤハリ關係各廳、企畫院トカ商工省トカ、サウ云フ方面ト御協議ニナツテ對策ヲ御立デニナラウトシテ居ルノデアリマスカ、農林省ダケノ省内ノ一ツノ對策デスカ

○田中政府委員 企畫院ニモ相談シテ居ル問題モアリマスシ、商工省ト相談スル問題モアリマス、問題ニ依リキリデアリマス、又取締關係ノモノニ付テハ警保局ニモ相談致シマス

○中田委員 木炭ノ問題ニ關スル主管ハ何處デオヤリニナルノデアリマスカ

○田中政府委員 御承知ノ通り現時ニ於キマシテハ單純ナ配給ト云フコトダケデ事濟マズニ、生産計畫、殊ニ數量ノ足ラナイ木炭デアリマスカラ、増産計畫ト云フ所カラ築キ上ゲテ、其ノ出來タ炭ヲドウ配給スルカト云フコトマデ、ズツト系統的ニ築キ上ゲナケレバナラナイノデアリマス、其ノ意味ニ於キマシテ、主トシテ農林省ガ主管シテヤツテ居リマス、ノミナラズ御承知ノ通り人間トシテモ山ノ關係ノ專門家モ澤山要

ル譯デアリマスカラ、是ハ商工省ニ御願シテモ御迷惑デモアリ、御無理カトモ思ヒマスノデ、増産計畫カラズツト系統的ノ範圍ニ於テハ、主トシテ農林省ガヤリマシテ、關係スル範圍ニ於テ關係官廳ト相談致シマス

○中田委員 能ク分リマシタ、炭ノ問題ニ付キマシテハ、農林省ガ大半ノ責任ヲ御持チニナルト云フコトニ承リマシタガ、之ニ對シテハ是非御盡力ヲ御願シタイト云フ希望ヲ申上ゲテ置キマス

次ニ東北地方ニ對スル稻作ノ一番ノ強敵ハ冷害デアリマス、昭和九年ノ凶作モ冷害ガ原因デアリマスガ、其ノ對策トシテ最モ適切ナ方法ハ、溫床苗代ノ設置ニ付デアリマス、是ハモウ既ニ農務局ニ於テモ十分御認メニナツテ居ルノデアリマシテ、一般農家ニ於テモ溫床苗代ノ良イモノデアルト云フコトハ、冷害防止ノミナラズ耕種ト云フコトカラモ能ク分ツテ居リマシテ、非常ニ普及シテ參ツテ居ルノデアリマス、唯問題ハ最近木材價格ノ昂騰ニ依ツテ、溫床ノ材料ノ入手困難デ苦シシデ居ル、之ニ對シテ農會ナリ、實行組合ナリニ對シテ之ヲ特賣シテ、安ク拂下ゲルコトハ出來ナイコトデアルカドウカ、其ノ點ニ付テハ如何デセウカ

○田中政府委員 具體的ノ計畫ニ依ツテ相談ガ出來ルト思ヒマス

○中田委員 ソレデハ此ノ點ハ十分農務局方面トモ御協議下サイマシテ、出來ルダケ入手ノ出來ルヤウニ御配慮ヲ願ヒタイと思ヒマス、是ハ岡田政務次官モ能ク分ツテ居ラレマスカラ、是非サウ云フ風ニサレタイト御願シテ置キマス

最後ニ簡單ニ御同致シマスガ、木材ノ検査ノコトデアリマス、是ハ既ニ請願委員會、豫算委員會ニ於テヤハリ論議サレタノデアリマス、民間ノ聲ガ何處ニアルカト云フコトハ、能ク局長ハ御承知ノコトト思ヒマス、具體的ニドウ云フ風ニ木材検査ヲ改メテ行クカト云フコトニ付テ、山林局デハ具體的ナ御考ヲドウ程度マデ進行ニナツテ居ルカ、其ノ程度ヲ簡單ニ御同致シマス

○田中政府委員 検査木材ノ用途ト公正ナ目的ニ反セザル限り、當業者ニ對スル弊害ヲ輕減スル爲ニ、著々改正スベキ點ハ改正シ、監督スベキ點ハ監督シマス

○中田委員 是デ宜シウゴザイマス

○野村委員長 十二時モ餘程過ギマシタカラ、一時休憩致シマシテ、午後一時半カラ始メマス、ソレデハ休憩致シマス

午後零時二十五分休憩

午後一時三十八分開議

○野村委員長 是カラ開會致シマス——小野君

○小野委員 私ハ山林局長ニ對シテ先般ノ御答ノ中デ若干ハツキリシナイ點ヲ一二伺ツテ見タイト思フノデアリマス、第一ハ國有林野ノ開放ノ問題デアリマス、國有林ノ地元町村ニ對スル利用ノ問題ハ、保安林ヲ除イタ他ノ國有林野ニ對シテハ、或ル程度利用サシテ居ルモノト承知シテ居リマスガ、其ノ地元町村民ノ利用シ得ル範圍ハ、柴草ノ採取デアルトカ、或ハ燃料トシテノ枯損枝葉ト申シマスカ、サウ云フモノノ採取トカ、又自然ニ發生スル果實又ハ山菜ノ採取ト云フヤウナモノノ範圍デ御認メニナツテ居ルノダト承知シテ居リマスガ、左様

ニ承知シテ宜シイノデゴザイマスカ

○田中政府委員 御話ノモノ以外ニ勿論無償デハアリマセスケレドモ、自家用薪炭材、或ル程度ノ稼用薪炭材ヲ緣故安價ニ拂下ゲテ居ルノデアリマス

○小野委員 大體斯ウ云フモノノ利用資源ヲ金額的ニ見積リマシタモノガ農林省アタリニ於テ全國的ニ統計ガ出來テ居リマセウカ

○田中政府委員 金額ハ私ト致シマシテハツキリ致シマセヌガ、山ノ利用トシテハ御承知ノ通りニ委託林トカ、簡易委託林トカ云フ制度デヤツテ居ル譯デアリマス、其ノ外部分林モアリマスケレドモ、東北ノ委託林ハ兩方引括メマシテ約百四十万町歩位アリマス、是ハ地元山村ニ對シテノ施設デアリマスガ、其ノ他山產物ノ利用或ハ御承知ノ通りニ經濟更生運動ガ盛ニナリマシテカラノ營林局ノ地元山村ニ對スル經濟更生ハ、御承知ノ通りニ寧ロ營林局長ガ熱心ニヤツテ居ルト云フ程度デアリマス、山林局關係ニ於テモ、サウ云フ地元山村ノ經濟更生ニ理解ノアル森林主事ナリ、營林署員ナリガ最近ハ重要視セラレルト云ヒマスカ、サウ云フコトニ理解ノアル山役人デナケレバ時代ニ目覺メタ山役人デハナイト云フ位ニ評價サレルヤウニナリマシテ、地元山村ニ對スル指導等ガ相當行届イテ居ルト思ヒマス、今後モ其ノ點ハ尙ホ益、ヤル積リデ居リマス

○小野委員 先般農林大臣ニ對スル國有林野開放ノ質問ニ對シマシテ、農林大臣ハ調査ノ出來テ居リマス部分カラ順次ニ適當ナ機會ヲ見テ、モウ一段ト廣イ意味ノ開放ヲナサル御考ガアルト云フヤウナ御答辯ガアリマシタガ、私ノ承知シテ居リマス所ニ依リ

マスト、有馬サンガ農相時代ニ、國有林野開放ノ問題ヲ相當深ク御考ニナリマシテ、當時ノ山林局長ニ對シマシテ全面的ニ調査ヲ御命ジニナツテ、既ニ成案ガ出來テ、大臣ノ御考如何ニ依ツテハ、是カラ調査ヲスルノデナシニ、最早調査ハ全面的ニ出來テ居ルヤウニ記憶シテ居ルノデアリマスガ、其ノ點モ先般農林大臣ニ伺ヒマシタ所、全面的ニ出來テ居ルト云フコトハハツキリ御認メニナリマセヌデシタケレドモ、サウ云フモノガ出來テ居ルトシテ、極メテ最近ノ機會ニソレデハ開放スルカト云フコトニ對シテハハツキリシタ御答ガナカウツヤウデアリマス、私ハ今申上ゲタヤウニ既ニ開放スルト云フ方針ガ決マレバ何時デモ開放スルヤウナ措置ガ出來テ居ルカドウカト云フコトヲ山林局長ニ伺ツテ見タイト思ヒマス

○田中政府委員 開放ト云フ意味ガ茫漠トシテ居リマスシ、農林大臣ガドウ云フ御答辯ニナリマシタカ分リマセヌガ、地元施設ニ對シテハ或ル調査ハ済ンデ居ルモノニ付キ、又新シイモノハ新シク調査ヲ致シマシテ、著々實行シテ居ルノデアリマス、御承知ノ通りニ國有林全體ガ全部施設計畫ガ立ツテ居ルト云フ譯デハナク、又新シイ林道ガ付ケバ付イタデ新シイ施設計畫ニ修正スルト云フコトニナリマスカラ、ヤハリ絶エズ調査ハ具體的ニ繼續シテ行ク譯デアリマ

ス

○小野委員 次ニ私ハ木炭ノ問題ニ付キマシテ極ク簡單ニ御尋ヲシテ見タイト思フノデアリマスガ、木炭ノ本年度ニ於ケル豫定計畫ノ増産ガ出來ナクテ寧ロ減産ニナツタト云フ原因ニ付テハ、先般來諸君カラ色々ノ點ヲ指摘サレマシテ御尋ガアツタヤウデアリマスガ、何レニシマシテモ本年度ノ増産ハ更ニ各方面ニ於ケル需要ノ増加ト相俟ツテ、果シテ今御考ニナツテ居ル程度ノ増産デ本年ノ木炭需要期ニ於ケル需給關係ヲ圓滑ニ調整シ得ルヤ否ヤニ對シマシテハ、私共今日尙ホ多大ノ疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマス、申上ゲルマデモナク、木炭ノ需要ハ單ニ家庭用バカリデナク、生産力擴充ノ意味カラ色々ナ方面ニ利用サレ、又「バス」其ノ他ノ動力ノ關係デモ非常ニ利用ノ範圍ガ廣クナツテ居ルヤウナ情勢ニアルノデアリマシテ、農林大臣ノ先般ノ御説明ニ依リマス、木炭ヲ需要セザル期間即チ夏季ノ間ニ手配ヲシテ燒溜ヲシテ相當ナ施設ヲスルノデアルカラ、今年ノ需要期ニ對シテハ大シタ心配ハアルマイト云フヤウナ御説明デアツタノデアリマスガ、私ハ從來トテモ夏ダカラ炭燒ガ全體休ンデ居ツタ譯デハナカウツタノデハナイト考ヘテ居リマスノデ、ソレ等ノ點ニ對シマシテ農林省ノ御手配ガドウナツテ居ルカ、又木炭生産ノ減少ヲ見マシタ重大ナル原因トシテ燒子ノ應召其ノ他ト先達テ私ハ農林大臣ニ申上ゲタノデアリマスガ、一ツハ一般自由労働者ノ勞銀ノ騰貴ニ伴レマシテ燒子ノ轉業ガ非常ニ多カウツタコトハ亦山林局長ハ御承知ノ通りデアラウト思フノデアリマス、青森縣ノ木炭ノ最モ大ナル生産地デアアル三戸郡方面ニ於キマシテモ、自由労働者ノ勞銀ハ二圓五十錢乃至三圓五十錢、宮城縣ノ一部ニ於テハ、何カ漁撈ノ雜夫ニ使用サレルヤウナ労働者ハ四圓見當デアアル、北海道ノ出面取、所謂労働者ハ松浦周太郎代議士ノ話ニ依リマシテモ、昨秋五圓ダ、斯ウ云フコトデアリマスナレバ從來炭燒ガ一家三人デ日ニ

二圓五十錢内外ニシカナラス點ニ比較シマシテ、非常ナ多數ノ專門ノ燒子ガ労働者ニ變ツタト云フヤウナコトガ此ノ木炭ノ増産ヲ著シク計畫ヨリモ減少セシメタト云フ原因ヲ爲スモノト承知スルノデアリマス、ソコデ當局ト致シマシテハ本年度ノ増産計畫ニ對シテ、一方ニ於テ燒子ノ講習ニ依ル專門技術者ノ養成ト、更ニ從來ノ燒子ヲ轉業セシメザル用意ヲ爲ス等ノ收入ヲ一般勞銀ト配合セテ、ドノ程度ニ彼等ノ收入ヲ維持シテヤツタナラバ今年度ノ増産計畫ニ萬遺憾ナキヲ期スルコトヲ得ルヤト云フコトニ對シテ果シテドウ云フ御考ヲ持ツテ居ラレマスカ、其ノ點ヲ伺ツテ見タイト思フノデアリマス

○田中政府委員 木炭ノ増産ト労働關係デアリマスガ、御話ノ通りニ労働力ノ維持ト云フコトハ非常ニ困難デアリマス、是ハ少少位ノ施設デハ、山ヲ去ル者ハ去ル、ソレカト言ヒマシテ、殷賑産業ニ對シテ其ノ勞賃ヲ引上ゲルヤウナ施設ヲスルト云フコトモ中々追ツ付カナイ話デアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテハ、直接労働力ヲ引付ケルト云フヤウナ法策ニ付テハ、餘リ考ヘテ居ナイノデアリマス、勿論全然考ヘナイデハアリセマヌガ、労働力ノ分配ノ問題、移動勞働ト云フヤウナコトハ勿論考ヘマスガ、併シ外ノ産業ト對抗シテマデ勞賃ニ對スル對策ヲ立テルト云フヤウナコトハ、實ハヤツテ居ナイノデアリマス、其ノ點ハ非常ニ吾々トシテモ遺憾デアリマス、唯御承知ノヤウニ副業製炭ト云フコトガ相當アリマスノデ、其ノ方及ビ新シク製炭ニ從事スル者ノ指導、講習、訓練ト云フヤウナコトヲ考ヘマシテ、ソレカラ先程申シマシタ原本

ノ供給ノ問題、其ノ他炭素ノ構築、炭素ノ改良ノ問題ト云フヤウナコトデ以テ、成ベク製炭者ニ有利ニ經營ガ出來ルヤウニヤリタイ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、勞働對策ト致シマシテハ十分デナイト云フコトヲハツキリ遺憾ニ思フノデアリマス

○小野委員 勞働對策ガ十分デナシニ果シテ本年度ノ木炭ノ供給ヲ圓滑ニ爲シ得ルカト云フコトハ、私先刻申上ゲマシタヤウニ非常ニ疑問ニ考ヘテ居ルノデアリマス、一體木炭ノ適正價格ト云フモノガ果シテ何處ニアルカト云フコトハ、外ノ物價ト睨ミ合セナケレバ端的ニ決メルコトハ出來ナイト考ヘルノデアリマスガ、農林省ハ來年度ノ木炭ノ消費期ニ果シテドレダケノ價格ガ適正價格ニ副フモノナリヤ否ヤ、而シテ其ノ適正價格ナルモノガ他ノ勞銀ト比較シテドノ程度ニ製炭業者ノ收入ヲ確保シ得ルヤ否ヤ、斯ウ云フ點ニ對スル御考ヲ伺ツテ見タイト思ヒマス

○田中政府委員 現在ノ木炭ノ價格ガ十分ナ價格デアルト云フコトハ實ハ考ヘテナイノデアリマス、併シ前々申上ゲマシタヤウニ、低物價政策、木炭ガ一人殘ラズ國民ノ消費對象物デアルト云フヤウナコト、サウ云フヤウナコトカラ致シマシテ、木炭價格ヲ引上ゲルト云フコトニ付テハ、事務當局トシテハ躊躇シテ居ルノデアリマス、此ノ點ハ吾々ト致シマシテモ惱ンデ居ル點デアリマスガ、只今ノ所ハ其ノ程度ニ御話申上ゲルヨリ外ハナイノデアリマス、併シ今朝程モ申上ゲマシタヤウニ、生産條件ノ緩和、生産費ノ低下ト云フコトニ付キマシテハ、能率ノ増進ト同時ニ出來ルダケ考ヘナケレバ、目的ノ増產計畫ヲ遂行スルコトハ出來

ナイト思ツテ居リマス、又需要ノ方面ニ付キマシテハ相當豫想以上ノ需要ト云フモノガ十四年度ニモ起ツタノデアリマスガ、十五年度ニ於キマシテモ石炭瓦斯ノ規正如何ニ依リマシテハ、或ハ吾々ノ豫想以上ニ需要ガ増加スルカモ知レマセヌ、併シ外ノ方面ガ規正サレテ木炭ガ之ヲオシスルト云フヤウナコトハ、到底出來兼ネマスカラ、ヤハリ或ル程度ノ消費節約ト云フコトハヤツテ貫ハナケレバナルマイカト思ツテ居リマス、サウシテ消費節約ト増產ト調和ニ於テ、需給關係ヲ考ヘルヤウニシタイ、斯ウ思ツテ居リマス

○小野委員 増產ト消費ノ節約ト配給ノ圓滑ト相俟ツテ消費者ニ迷惑ヲ掛ケナイト云フコトハ、御尤モナ御意見ダト思ヒマスガ、私ハ増產方面ハドウシテモ今ノ製炭業者ノ收入ヲ或ル程度マデ確保シテヤラナケレバ、到底當局ノ期待シテ居ルヤウナ増產ハ不可能ナリト信ズル者デアリマス、其ノ點ニ對シテ今日尙ホ御定見ガナイヤウニ拜聽シタノデアリマスガ、此ノ點ハ甚ダ遺憾ニ存ズル次第デアリマス、更ニ私ハ明年ノ木炭ノ需要期ト申シマセウカ、來年度ハ一般ノ心理ト致シマシテ、需要期ニナラナイ、要スルニ木炭ノ必要トセザル期間ニ於テ、假ニ相當ノ生産額ヲ農林省ガ御計畫ニナツテ居ルトシテモ、一般ノ消費者ノ立場カラスルト、本年ノ苦ミ經驗ニ鑑ミマシテ、需要期ニハ到底配給ノ圓滑ハ幾ラ當局ガ御精勵ニナツテモ出來ナイノデヤナイカ、隨テ早期ニ是等ノ手配ヲシナケレバ、再ビ非常ナ不自由ヲ感ズルト云フヤウナ心理カラ、明年ハ夏分カラ此ノ木炭ノ蒐集ニ有ユル方面デ狂奔スルヤウナ事實ガ起ツテ來ルノデハナ

イカ、ソレハ單ニ或ル團體若クハ個人ノ心理バカリデナシニ、國家トシテモ同様ノ事實ガアルト私ハ思ヒマス、假ニ亞米利加ガ或ル物資ニ對シテ輸出ヲ禁止スルトシマスレバ、其ノ禁止令ノ出ル前ニ他ノ國家ガ之ニ先シテ買付ケルト云フヤウナコトガアリ得ルト私ハ思フノデアリマスルカラ、是ハ個人若クハ團體トシテモサウ云フヤウナ心理ニ動カサレルト云フコトハ、今年ノ經驗カラ當然ナリト斯様ニ私ハ考ヘテ居リマスノデ、其ノ心理ガ結合シマシタ場合ニ、是ハ又非常ニ遺憾ナル結果ヲ招來スル因ニナルノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ今日カラ豫想シ得ルト思フノデアリマス、是等ニ對シテハ生産方面ニ御努力ニナツテ居ル所ノ農林當局デハ、豫メ是等ノコトヲ御考慮ニ入レテ如何ナル對策カラ御考ニナツテ居ルカドウカト云フコトヲ伺ツテ見タイト思ヒマス

○田中政府委員 御心配ノ點、程度コソ違フト思ヒマスガ、吾々トシテモ同様ノ感ヲ持ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ從來トモ木炭配給統制規則等ノ如キモノヲ以チマシテ、ソレヲ運用シツツアリマスルガ、更ニ其ノ運用ヲヤリマス同時ニ、増產其ノ他ノコトヲ勿論ヤリマスシ、更ニ今ノヤウナ問題ニ付キマシテハ、只今吾々ト致シマシテモ考究シテ居リマシテ、其ノ結果ニ依リマシテ、本年カラ來年ニ掛ケテノ需要期ニ出來ルダケ對應シタイト思ツテ居リマス、總テドウモ斯ウ云フ時代デ萬全ニ行カドウカト云フコトハ中人智ノ外ノ問題デアルヤウデアリマスガ、人智ヲ盡シテ出來ルダケ需給ノ圓滑ヲ圖リタイト考ヘテ居リマス

○小野委員 モウ一點伺ツテ見タイト思ヒ

マスガ、是ハ或ハ農林省ノ範圍デナイ、所管事項外ダト仰シヤルカトモ存ズルノデアリマスガ、現在生産シテ居リマス所ノ木炭一般家庭用ノ木炭ト「バス」ニ使ヒマス所ノ木炭トニ於テ私ノ縣、生産地デアル所ノ三戸郡ニ於テハ、私ハツキリシタ數字ヲ忘レマシタガ、多分四貫俵一俵ニ於テ十四錢トカ十二錢トカノ差ガ公定價格デ認メラレテ居ル、ソレハ私素人デ能ク分リマセヌガ、「バス」ニ使用スル所ノ木炭ト一般家庭ニ於テ使用スル木炭トハ其ノ生産ノ行程ガ無論違フノデハナイカト私ハ考ヘルノデスガ、然ルニ「バス」用ノ木炭ハ十四錢バカリ高イモノダカラ、一般ノ家庭用ノ木炭モ之ニ準ジテ、是ハ一種ノ合法的脫法ト云フカ、マア脫法ニ合法的ト云フコトハナイデセウケレドモ、脫法ヲ合理化スル爲ニ、性質ガ違フモノデアツテモヤハリ家庭用ノ炭ヲ切りマシテ「バス」用ノ炭トシテ從來出シテ居ツタサウデアリマス、ソレハ一俵ニ對スル切リ賃ハ四錢デ済ムサウデアリマス、所ガ切リマシテ之ヲ「バス」用ノ木炭ナリトシテ出セバ、ソコニ十錢乃至八錢ノ差額ガアルモノデアリマスカラ、一俵ニ付テソコニ十錢若クハ八錢ノ收入ガ殖エル、是ハ殆ド公認サレマシテ——其ノ檢査ガアルカモ存ジマセヌガ、ソコマデノ深い檢査デナイト見エマシテ、是ハ公然通ツテ居ルサウデアリマス、ソレカラ又是ハ何處デ行ハレタコトデアルト私ハハツキリハ申上ゲラレナイノデアリマスガ、木炭ノ取引ニ對シマシテハ、十車買付ケマス十車分ノ金ヲ拂フ、而シテ是モ其ノ脫法行爲ヲ合理化スル爲デアリマセウカ、此ノ十車分ノ金ヲ拂ツテ自分ハ十車ノ中八車ヨリ受取ラス、二車ハソレヲ

賣ツタ方ニ保管ヲシテ貰フト云フ形式ニシテ、二車ハオ前ノ方デ保管ヲシテ置イテ必要ナ時ニ出シテ呉レ、併シ保管ニ對シテモ盜難其ノ他ノ責任ハ一切負ハヌデモ宜イト云フヤウナ、極メテ巧妙ナ方法デ行ハレテ居ル、實際ハ十車分ノ取引デモ八車分シカ來ナイノデスカラ、二車分ハ向フノ不當利得ニナルコトナラウト思ヒマスガ、斯ウ云フヤウナコトデ、極メテ經濟警察ニ捉ヘラレマシタ場合ニモ十分ニ辯明ノ出來マヌヤウナ方法デ皆行ハレテ居ルト云フコトデアツテ、此ノ外ニモ幾多方法ガアルサウデアリマス、是等ハ極メテ巧妙ナ一二ノ例ヲ舉ゲタニ過ギナイノデアリマスガ、是等ニ對シマシテハ、折角農林當局ナリ商工當局ナリガ聯繫ヲ執リマシテ増産配給ニ御努力ニナツテモ、他ニ斯ウ云フヤウナ事項ガ屢、繰返サレテ居リマスノデ、是又消費者ニ對シテハ、實際ニ非常ナ迷惑ノ掛カル問題デハナイカト考ヘマスノデ、是等ニ對スル豫防ト申シマセウカ、無論犯罪グラウト思ハレルノデスガ、是等巧妙ナル方法ノ防止ト云フヤウナ點ニ對シテ、農林當局ハドウ云フ考ヲ持チ、又如何ナル方法デ商工省ト連絡ヲ執ツテ取締ニ當ラレルカト云フコトヲ私ハ尋ネテ見タイト思フノデアリマス

○田中政府委員 閣取引ガ木炭ニ付テモ行ハレテ居ツタコトニ付キマシテ甚ダ遺憾ニ思ツテ居リマス、隨ヒマシテ地方廳ニ於キマシテモ警察關係ニ於テ相當取締ツテ居ラレルノデアリマスルガ、如何センドウモ各方面ニ付テ色々問題ガ現ハレマシテ、十分出來ナイヤウナ實情ニアルノデアリマス、隨ヒマシテ吾々ト致シマシテハ、ヤハリ警察取締ダケデ以テ斯ウ云フコトヲヤルト云フコトニ付キマシテハ、ヤレタニシテモ亦無理ガアルト云フ考ヲ持ツテ居リマスノデ、之ニ對シテハ何等カノ方法ヲ執ラナケレバナラヌト云フノデ、目下其ノ方法ヲ早急ニ立テルベク考究シテ居ルノデアリマスガ、マダ御發表ヲ申上ゲルマデニ到達シテ居ナイノ御諒承ヲ願ヒタイト思ツテ居リマス

○小野委員 私ノ申上ゲルノハ此ノ事變下ニ於テ、何モ國民カラ強イテ經濟警察ニ掛カル違犯者ヲ出シタイト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、何處マデ行ツテモ斯ウ云フコトガ繰返サレテ居リマスカラ、ヤハリ折角ノ當局ノ御配慮モ水泡ニナルト云フ處ガアリマスノデ、今マデドノ程度マデ公認サレ、ドノ程度カラ處罰サレテ居ツタノカ分ラヌガ、從來ノ經濟警察ノヤリ方ヲ見ルノニ、ドウモ大キナモノガ網カラ逃ガ出シテ、雜魚バカリガ網ニ掛ツテ捉ツタ、小サナモノガ見逃ガサレルノハ仕方ガナイトシテモ、ソレガアベコベデアル、大キナモノヲ捕ヘルト云フコトデアレバ結構ダト思フノデアリマスガ、折角今當局ニ於テ御方策ヲ御研究ニナツテ居ルト云フノナラバ、大キナモノヲ捕ヘルヤウニ一ツ御配慮願ヒタイモノダト、斯様ニ希望ヲ申述ベマシテ私ノ質問ヲ打切りマス

○林委員 一寸關聯シテ——次ノ木炭需要期ニ對シテ農林省ノ執ラレル態度ニ付テ、只今小野委員ノ御質問ニ當局ノ御答デゴザイマシタガ、其ノ中デ消費ノ節約ト云フコトヲ舉ゲラレタヤウデゴザイマスガ、此ノ點ヲ私ハ實ハ御聽キシタイノデアリマス、唯觀念上ノ問題トシテ、消費ヲ節約スレバ餘ルト云フコトハ分ツテ居リマスガ、併シナガラ消費節約デドノ位ノ數量、全體ノ上カラ見テドノ位ノ「パーセント」ヲ期待シテ居ラレルカト云フコトガナクテハ、消費節約ニ依ツテ得ル所ノモノガ計算ニ上ツテ來ナイノデアリマスカラ、凡ソ見透シヲ付ケニナツテ居ルコトト思ヒマス、其ノ數量ト言ヒマセウカ、比率ト申シマセウカ、ソレヲ聽キタイノデアリマス、私共ノ考ヲ以テシマスルナラバ、消費節約ナドト云フモノハ、官僚ト云フ言葉モラカシイガ、兎ニ角政府ナドノ指圖ニ依ツテ出來ルモノダトハ思ヒマセヌ、國民ノ自覺ニ俟タナクテハナラヌノデアリマスガ、其ノ自覺ト云フノモ、唯觀念的ノ自覺デハ、分ツテ居ツテモ實行ハシナイノデス、所ガ今日ノヤウニ木炭ガ異常ニ騰貴ヲシテ參リマス、第一買入レルノニ一方ナラナイ苦勞ヲ要スルノデアリマス、一度炭ガ切レタナリマシタラ、實ニ悲惨ナ思ヒヲシナクテハナリマセヌカラ、各消費者ノ炭ニ對スル關心ト云フノハ非常ニ深イモノガアリ、又之ヲ愛護シテ居ルノデス、事實吾々ノ家ニ於テ日夜實行シテ居ルコトハ、成ベク少シノ炭デ間ニ合フヤウニ、又用ガ濟ンダナラバ直グニ消シテ再ビ之ヲ使ヒ得ルヤウニト云フヤウニ、炭ノ消費ニ對シテハ實ニ極度ニ神經過敏ニ愛護シテ用ヒテ居ルノデゴザイマス、恐ラク是ハ私ノ家庭ダケデハナカラウト思フ、大多數ノ消費者ハ斯様ナ心構ヘヲ以テ炭ニ對シテ居ルコトト私ハ深く信ジマス、然ラバ此ノ上鐘太鼓ヲ以テ消費節約セヨト仰セラレテモ、恐ラクハ更ニ一片ノ炭モ餘シ得ル餘地ハナイノデアリマス、於カレテハ、節約ヲ獎勵シテ、以テ炭ノ不足ヲ補フコトニスルト言ハレルノデアリマスガ、吾々國民ノ各小サナ家庭々々ノ節約ヲ意味サレルノデナクテ、何カ別ニ節約ヲサセル見込ノ場所デモオアリナノデアリマセウカ、節約ニ付テノ具體的御方針、實行方法ニ付テ此ノ際御尋シテ置キタイト思ヒマス

○田中政府委員 消費節約ハ有ユル物資ニ付テ非常ニ難カシイ問題デアアルコトハ、御話ノ通りデアリマス、隨ヒマシテ此ノ消費節約ノミニ頼ツテ此ノ需給ノ「バランス」ヲ取ルト云フ考ハ持ツテ居ナノデアリマス、消費節約ヲモ國民的運動トシテ是ガ爲サレ、更ニ出來得ルナラバ大口需要者ニ對シテモ、必要ノ程度ニ應ジテ、或ル程度ヤハリ考ヘナケレバナラヌコトデアリマス、サウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、勿論増産計畫ノ遂行ニ付テハ、極力ヤラナケレバナラヌト云フ考デ居ルノデアリマス

○林委員 消費ノ節約ニミ頼ルダケデナイト云フ御話デアリマスガ、洵ニソレハ當然ダト思ヒマス、唯私ガ先程伺ヒマシタノハ、消費節約ト云フコトヲ増産計畫ト相並ンデ重要ナル一ツニ算ヘラレタニ付テ、私ハ疑ヒヲ持ツテ御尋シタノデゴザイマス、ドウカ消費節約ニ依ツテ得ルモノハ殆ド無イト云フヤウナ心構ヘヲ以テ、次ノ木炭需要時期ニ善處シテ戴キタイノデアリマス、大量ニ需要セラレル方面モ同様ダト思ヒマス、一俵ノ炭デモ非常ニ高イノデスカラ、生産「コスト」ニ影響ヲ持ツノデゴザイマス、今申シタヤウニ、小サナ家庭々々ニ於テハ、殊ニ生活難ニ追ハレテ居ルノデゴザイマスカラ、到底炭ヲ節約スル餘地ハナイト思ヒマスノデ、ドウゾ特ニ此ノ節約ニ重キヲ置カレナイデ、増産ト云フモノニ第一ニ全力ヲ注ガレンコトヲ御願致シテ、私ノ關聯質

問ヲ終リマス

○野村委員長 川俣君

○川俣委員 昨昨日ニ續イテ木炭對策ニ付テ局長ニ御尋シタイト思フノデアリマス、昨日ハ國有林ノ原木ノ拂下ニ當ツテ、隨意契約トハ言ヒナガラ單價カラ言ヒマスレバ、値上リハ來シテ居リマセスケレドモ、所謂製炭サレタ結果カラ見ルト、値上ト同ジヤウナ状態ニマデ見積リガ嚴格ニナリ、豫定數量ガ生レテ來ナイ、製炭サレナイト云フ結果、原木ノ値上リニナツテ居ル結果ヲ來シテ居ルト云フコトヲ御尋シタノデゴザイマスガ、政府ハ斯ルコトハナイト云フコトヲ言明サレテ居リマスケレドモ、隨意契約ニ依ル場合ニ、今マデノ寬大デアツタノガイカスノデ、今度ハ嚴格ニヤルノガヤハリ至當ダト斯ウ云フ風ニ御考ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ點ヲ御尋シタイト思ヒマス

○田中政府委員 寬大トカ嚴格トカ云フヤウナコトハナイノデアリマシテ、形式的ト言フト怒ラレルカモ知レマセスガ、合法的適正ナル評價デ拂下ガ爾譯デアリマス、唯多クノ營林署員ノヤルコトデアリマスカラ、或ハ比較研究ヲ致シマスケレバ、多少ノ難點ガアルカモ知レマセスガ、何シロ御承知ノ通り原木ニ對スル操作ハ非常ニ難カシクテ、前ニ燒イタモノト、後ノ拂下原木トノ比較ト云フモノハ、是ハ活キ物デアリマスカラ、中々難カシイコトデアリマス、具體的ノ場合ニハ色々論難ル點ガアルカモ知レマセスガ、若シアリトスレバ、サウ云フ點ハ直サセマスケレバ、兎ニ角適正ナ方法デヤラセルト云フ考デ居リマス

○川俣委員 是ハ民有林ニ付デアリマス

レバ、生産サレタ結果ダケナラ所謂検査ニ依ツテ大體御分リニナルト思ヒマス、併シ民有林何石伐材ノ上何石燒イタカ、或ハ何立方米燒イタカ、何坪賣山致シタカト云フヤウナコトハ、ソレハ御知り得ラレナイダラウト思ヒマスケレドモ、國有林ニ付テハ既ニ所管ノ營林署デアリマスケレバ、ドノ程度ノ原木ヲ拂下ガタカト云フコトハ明瞭デアリマス、隨テソコカラ出デ參リマス炭ノ數量ト云フヤウナコトモ、最初カラ豫定サレテ居ルコトデアアル、一昨年或ハ一昨年アタリマデニ拂下ガタ原木カラ生レタ數量ト、今年度即チ十四年度ニ於キマシテ原木ヲ拂下デラレマシタ結果カラ生レテ來タ數量ヲ御引合セニナリマスケレバ、ドノ程度原木ニ於テ價格ヲ上ゲテ居ツタカト云フコトハ明瞭ニナルノデヤナイカト私ハ思フノデアリマス、勿論山相ノ状態デアルトカ、或ハ交通ノ便不便等ニ依リマシテ原木ノ値段モ必ズシモ同一デナイコトヲ私共認メマス、併シナガラ十二年度、十三年度ニ比較致シマシテ、恐ラク坪當リ石數ニ致シマシテ同ジ石數デアリナガラ國庫ノ收入ガ殖エテ居リハセヌカ、サウ致シマスケレバ、單價ヲ上ゲナイデ收入ガ殖エタト云フコトハ、結局石數ノ見積リ方ガ嚴格ニナツタノダ、ソレヨリ私ハ收入ガ殖エル方法ハナイノデハナイカト思フ、去年ハ八十石拂下ガタ、今年ハ八十石ダト云フガ、其ノ八十石ハ計算デ言ハベ同一ノ八十石デアリマスケレドモ、去年ハ八十石アツテモ八十石ト計算ラシテ、今年ハ八十石ハ八十石ト計算ラスル、確ニ計算上ハ間違ヒナイコトデアリマセウガ、ヤハリソコニハ御承知ノ通り木材ノ測定ト云フモノハ相當ナ手心ガ出來ルモノデアリマス、手心ガ出來ル

ト云フコトヨリモ——手心ト云フ心持ニナラナイニ致シマシテモ、餘裕ヲ以テ推定スルノト、嚴格ニ推定致シマスノトデハ、結果ニ大キナ隔リガ出ルコトハ當然ダト私ハ思フノデアリマス、ソコデ政府ノ方針トシテ原木ヲ値上ゲテ致サヌト云フコトヲ現實ニ如實ニ實行ナサルコト云フ方針ヲ立テテ居ラレバナラヌ、或ハ表面ハ原木ヲ値上ゲセスト云フコトヲ言ツテ居リマスガ、實際ハ嚴格ニヤツテ、否見積リ過少ニシテ收入ヲ殖ヤサウト、斯ウ御考ニナツテ居ルノカドウカ、其ノ點ヲ御尋シタイトデアリマス

○田中政府委員 國有林ノ拂下ニ付テハ是ハ申上ゲルマデモナク會計法ノ命ズル所ニ從ツテヤラザルヲ得ナイノデアリマスガ、其ノ範圍ノ溫情ノ必要デアルコトハ勿論デアリマス、氣持ト致シマシテハ御趣旨ノ通り、殊ニ地元山村民ニ對スル問題ニ付キマシテハ、今デハ一人々々拾ヒ上ゲル譯デアリマセスガ、殆ド溫情ヲ以テ營林署員ハ對シテ居ルト云フ確信ヲ持ツテ居リマス、ノミナラズ端端ニ是ガ方針ニハナリマセヌケレドモ、昨日申上ゲマシタヤウニ軍需材、輸出資材、薪炭材、坑木、原木ニ付テハ公賣制度ヲ廢メ省令ヲ以テ特賣制度ヲ執ツタト云フコトハ、少クモ政府トシテハ價格ヲ或ル許サル範圍ニ於テ成ベク安價ニシヨウト云フ方針ハハツキリシテ居ルト思ヒマス

○川俣委員 原木ノ値上ラセスト云フ政府ノ聲明ヲ得マシテ、其ノ徹底ヲ政府モ期セラレシコトヲ希望シ、吾々モ若シモ斯ルコトガアリマスケレバ、今後ハ嚴重ナ警告ヲ發シタイト思フノデアリマス、政府ハ單價モ上

ゲテ居ラナイ、斯ウ云フ御説明デアル、地方ノ營林局、營林署ニ於テモ單價ヲ上ゲナイト云フコトヲ申シテ居リマスケレドモ、是ハ參考デスケレドモ、一體木ヲ伐ツテ參リマスト段々奥ニ入ルコトニナリマス、即チ交通ノ便ガ一歩々々困難不便ニナツテ來ルノデアリマス、隨テ山相カラ見レバ別デアリマスガ、交通ノ便カラ見ルト、奥ニ入ルニ從ツテ大體單價ガ安クナルノガ普通デアリマス、其ノ山ガ大體山相モ似テ居ルモノト見マス、サウスルト山ノ中部ヨリモモツト高クナツタ所ヘ行キマスケレバ單價ガ安ク見積ラレルノガ當然デアリマス、所ガ昨年特賣ヲ受ケテ拂下ガタヨリモ、今年ハ一歩山ノ奥ニ入ツテ居リナガラ値段ガ變ラナイト云フヤウナコトガ事實アリ得ルヤウデアリマス、サウスレバ單價ハ上ゲナイケレドモ、不便ニナツタ分ダケヤハリ上ツテ居ルト斯ウ見做スベキ點モナイ譯デアリナイノデアリマシテ、私共ハ政府ノ低物價政策カラ生レテ參リマス原木ヲ上ゲナイト云フ趣旨ヲ、山村ノ隅々マデ徹底セシメル意味カラモ、又政府ノ政策ガ那邊ニ在ルカト云フコトヲ徹底サセル上カラモ、所管ノ末梢神經ニ至ルマデ其ノ趣旨ヲ徹底サレルト同時ニ、炭ヲ燒イテ居ル者ニモ其ノ趣旨ガ徹底スルヤウ御取計ヒアランコトヲ私ハ切望スルノデアリマス

次ニ御尋致シマスノハ、是ハ午前中質問ニナツタカモ知レマセヌノデダブルト洵ニ御迷惑ヲ掛ケルノデアリマスガ、一體増產計畫ノ要點ヲ何處ニ置イテ居ラレルノカソレヲ御尋シタイトデアリマス、ソコデ私ハ昨年モ政府ノ増產計畫ノ要點ガ外レテ居リハシナイカ、増產計畫ノ要點ハ政府ノ考ヘ

テ居ル所ヨリモ、モツト別ナ所ニアルノデ
ハナイカト云フコトヲ指摘シテ申上ガテ居
ルノデアリマスガ、私が指摘シタヤウナ傾
向ガ不幸ニシテ生レテ來テ居リマスコトヲ
遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマス、一般ニ言
ハレテ居リマスコトハ、物價ガ高クナツテ
來、勞働賃銀ガ高クナツテ來タノ利益ガ
ナイト云フト炭ヲ燒カナイ、斯ウ云フ風ニ
總テ規定サレテ居ルヤウニ思フノデアリマ
ス、勞働賃金ガ高イシ、物價ガ高イシ、炭
ダケガ安ケレバ決シテ炭ヲ燒ク者ハナイ
ト、斯ウ云フ風ニ言ハレルノデアリマス
レドモ、成程一面サウモ言ヘナイコトハ
アリマセヌケレドモ、私ハ必ズシモサウ
デハナイト思ツテ居リマス、所謂資本金ノ
考ヘラルヤウナ今日ノ營利經濟ヲ營ンデ
居ラレル人カラ見マスレバ、勞働賃金ガ高
クナリ或ハ諸物價ガ高クナレバ、炭ヲ燒ク
者ガナイデアラウト云フコトハ、誰デモ想
像サレル點デアツテ、其處ガ急所デアルヤ
ウニ考ヘラレルト思ヒマス、所ガ私ハ今日
マデ炭ヲ燒イテ參リマシタ燒子ノ心理ハ、
必ズシモ儲ルカラ炭ヲ燒ク、儲ラナイカラ
炭ヲ燒カナイト云フヤウナ簡單ナ考デ今日
マデ參ツテ來テ居ナイト思フ、ソレ程貨幣
經濟ニ禍ヒサレテ居ナカツタ、サウ私ハ
見テ居ルノデアリマス、一體收支償ハナケ
レバ生産ニ從事シナイノガ普通デアリマ
スケレドモ、山村ノ農民ノ生活ト云フモノハ
必ズシモサウデハナイ、ソコニ私ハ山村ノ
美風ガアリ特質ガアルト思フ、此ノ美風ヤ
特質ト云フモノハ失ハレルト再び取戻スコ
トガ出來ナイ特質デアルケレドモ、今日マ
デサウ云フ特質ヲ持ツテ來タノダ、隨デサ
ウ云フ特質ヲ逆用サレマシテ、今日マデ炭

ノ價格ト云フモノハドンナニ安クデモ炭ハ
燒クモノダ、ドンナニ他ニ好景氣ガアツテ
モ炭ハ燒クモノダ、斯ウ云フ所謂弱點ヲ巧
ニ逆用サレテ、今日マデ炭ノ値段ト云フモ
ノ割ニ合ハナイ計算ヲサセラレテ來タ、
斯ウ云フ特性ヲ逆用サレテ結果炭ノ價格單
價ト云フモノガ安カツタノデハナカラウカ
ト私ハ思フノデアリマス、所謂山村ノ美風
ヲ逆用サレテ、特性ヲ逆用サレタト云フコ
トガ今日マデ炭價ガ非常ナ窮地ニ陥ツテ居
ツタ原因ノ一ツデアアルト思フ、炭ノ生産費
ニ致シマシテモ、物價局邊リノ御計算ニ依
リマシテ、アア云フ價格ヲ算定サレマシタ
ノモ、私ハ此ノ特性ヲ逆用サレテ所ル所
ノ通念ニ基イタノデハナカラウカト思フ、
サウデナケレバ、アア云フ生産費ハ生レテ
來ナイ、吾々ノ計算スル所ニ依リマシテハ、
斯ル安イ生産費ハ算定出來ナイ、他ニ原本
ト云フモノヲ正確ニ見積リマシテ、原本ノ
數量測定ヲ嚴格ニ致シマシテ、是ダケノ材
石カラ炭ヲ燒キマスレバ、斯ル安イ生産費
デ炭ガ一俵燒上リ出來ルモノデハナイト思
フ、ソレデハ何處ニ今マデノ燒子ノ利益ガ
アツタカ、何故炭ヲ燒イタカト云ヘバ、其
ノ一點ハ他ニ利益ノアル仕事ニ取付クヨリ
モ、長年慣レタ場所ニ於テ、慣レタ仕事ニ
於テ收入ヲ得ラレルト云フコト、モウ一ツ
ハ家族共々ニ一ツノ生産事業ニ當ルト云フ
コト、モウ一ツハ計算デハ出テ來ナイケレ
ドモ、若シ此ノ立木ヲ燒クト二百俵ナラ二
百俵出來ルノダ、斯ウ見積ラレタニモ拘ハ
ラズ、燒キ方ガ巧クテ二百二十俵乃至三十
俵出來タ、其ノ二十俵、三十俵、結局所謂
立木ノ見積ノ寬大サトモ見ルベキ所カラ生
レテ來ル餘得ガ燒子ノ利益ダツタ、二百俵

ヨリ出ナイト云フ炭ヲ二百俵燒クナラバ、
ソレハ二十五六錢カ三十五六錢ノ一日ノ手
間ニシカ付キヤウガナイ、生産費ノコトヲ詳
シク申上ガマスレバ分ルト思ヒマスルガ、
今ハ申上ガマセヌガ、二百俵出來ル炭ヲ二
百俵燒イタナラバ、一日ノ手間ハ二十五六
錢カ三十五六錢ニシカナラナイ、ソレヲナゼ
燒イタカト云ヘバ、今申上ガマシタヤウニ
一ツハ二百俵ヨリ出ナイト云フ炭ヲ、實際
ハ燒子ノ技術モアリマセウシ、見積ノ寬大
サカラモアリマセウガ、二百二十俵燒イテ
ソコニ一割ノ餘分ガ出來タ、ソレガ燒子ノ
餘得デアル、モウ一ツハ一圓五十錢、一圓
八十錢或ハ二圓ト云フ勞働賃銀ノ者ヲ使ツ
タノデハ炭ハ斯ル安價ニハ燒キ上ラヌモノ
デアリマスケレドモ、六十、七十ト云フ老
年デ、他ノ仕事ニ掛ケテハ一日一人前出來
ナイデ三分前ヨリ出來ナイ者、或ハ十二三
歲、或ハ七八歲ノ二分カ三分前シカ出來ナ
イ家族ノ勞働ヲ全部合シマシテ、一家ノ勞
働トシテ炭ヲ、燒タコトガ出來ルト云フ所
ニ、炭價ガ安クテモ炭ヲ燒イテ參ツタ理由
ガアルト私ハ思ツテ居ルノデアリマスガ、
此ノ點ニ付テノ見解ヲ同ジクサレルカ、異
ツテ見ラレマスカ、其ノ點ヲ御尋致シマス
○田中政府委員 原本ノ拂下ガ寬大デ、燒
歩ノ利廻ガ多クナルト云フ點ヲ除イテハ、
御趣旨ニハ同感デアリマス
○川俣委員 今日マデ經過ニ依レバ時ニハ
民有林ガ多ク燒カレヌ時ニハ官有林ガ多ク
燒カレル、其ノ場合ニ、ナゼ燒子ガ民有林
ニ廻リ、官有林ノ方ニ廻ルノカ、斯ウ申
シマスレバ、民有林ノ立木ガ安カツタ場
合ニハ、民有林ニ燒子ガ入ル、民有林ガ
値ガ上ツテモ官有林ノ上ラナイ場合ハ官

有林ニ入ル、ソレバカリデナク、官有
林ニ致シマスレバ、競争入札ナノデア
リマス、競争者ガナカツタ場合ニハ民有
林ノ方ガ安イ、最近ノヤウニ競争者ガ激
シケレバ炭燒子同士ノ競争デハナイガ、
他ノ建築材、或ハ坑木材或ハ其ノ用材
或ハ薪材等トノ競争ガ激シケレバ、民有林
ノ燒子ハ官有林ニ移動スルノデアリマス、
御承知ノヤウニ、今日デハ木炭ヲ燒クヨリ
モ薪ノ儘デ賣ツタ方が得デアリマス、ソレ
程原本ガ値上リ致シテ來テ居リマス、官有
林カラ炭材トシテ拂下ゲテ居リナガラモ、
其ノ儘薪デ賣ツタ方が利益ダツト云フノデ、
炭ヲ燒カヌデ薪デ賣出シタ場合、隨意契約
ノ規則違反デ營林署カラ大分御叱リヲ受ケ
タト云フ例ヲ聞ク位ニ原本ノ方ガ高クナツ
テ居ル、高クナルト云フコトバカリデナク、
ソレガ嚴格ニナルト云フコトニナリマスレ
バ、全ク燒子ノ餘得ガナクナル、私ハ別ニ
見積ヲ寬大ニ餘分ニシテ呉レトハ必ズシモ
言ハナイ、會計法モアルコトデアリマシテ、
國家ノ一ツノ財産デアリマスカラ、如何ニ
燒子ガ氣ノ毒ダカラ申セ、悲慘ナ生活ヲシ
テ居ルカラト申セ、個人ニ對シテサウ云フ
特別ノ計ヒヲ以テ實際アル數量以上ノ數量
ヲ餘分ニヤルト云フコトハ穩當ヲ缺クコトデ
其ノ點ハ認メマス、併シナガラ恐ラクドン
ナ仕事ニ致シマシテモ、例ヘバ一反ノ生地
ヲヤツテ是デ何枚ノ「エプロン」ニ拵ヘロト
カ、或ハ軍需品ノ中、木材ハ何石トカ、或
ハ何貫目ノ釘ヲヤルカラ幾ツノ箱ヲ造レト
言ツテモ、全然餘裕ナシニ現在ヤツテ居ル
カト申セバ、釘カラ見デモ、木材カラ見デ
モ、餘裕ガアル筈デアル、今日軍需工業ヲ
ヤツテ居ラレル人々ニ鐵何處或ハ亞鉛板何

應、或ハ石炭何處ト見積ツテ貰ツテ居リマシテモ、餘裕ナシニハ貰ツテ居ラヌノデアリマス、必ズ「ロス」ヲ見テ貰ヒ、「ロス」以上ノ物ヲ見テ貰ツテ居ル、ソコデ私ハ事業ガ成立ツテ居ルヤウニ考ヘルガ、焼子ダツテアノ山ノ中ニ入ツテ焼キ縮尻ルコトモアル、サウシテ嚴格ニ二百俵ナラ二百俵シカ焼ケナイ時ニ、若シ縮尻レバ百九十俵或ハ百八十何俵シカ焼ケナイト云フヤウナ嚴格ナ拂下ガ方ヲシタナラバ、焼子ヲ官有林カラ愈、失ハセルコトニナルト私ハ思ヒマス、失ツタツテ惜シクナイト言ヘバソレマデデアリマスガ、一度焼子ガ他ノ方ヘ轉業スレバ、再ビ焼子ニナルコトハ中々考ヘラレナイ、決シテ山奥ノ製炭ハ好イ仕事デハナイ、割ノ悪い仕事デ、決シテ見榮ノ好イ仕事デハナイケレドモ、長年ヤツテ居タト云フ慣習ニ捉ハレテ居ルヤウナモノデ、二年デモ三年デモ例ヘバ樺太、或ハ「カムチャツカ」方面ノ漁業労働ニ行ツテ來テ、函館附近ニ於ケル——海上生活ノ苦ミモアルガ享樂等ヲ考ヘルト、又焼子ヲ廢メテ樺太、或ハ「カムチャツカ」ヘ行キ、或ハ北海道ヘ止ツテ漁場ヲ轉々廻リ、炭鑛ヲ轉々廻ルト云フヤウナコトニナツテ、元ノ焼子ニハ戻ツテ參リマセヌ、隨テ今日一寸政策ヲ誤リマス、益、燒子ヲシテ其ノ職カラ離レシムルヤウナ結果ニナツテ參リマシテ、是カラ焼子ヲ作ルト云フ時代デハナクナツテ居リマス爲ニ、燒子ト云フモノハ私ハ尊重シテ考ヘナケレバナラス時代デアルト思フノデアリマスルケレドモ、再度此ノ點ニ付テ御尋致シテ置キマス

○田中政府委員 燒子ノ尊重ハモウ非常ニ尊重シテ居リマシテ、更ニ是デモ足りナイノデハナイカト云フ考ヲ持ツテ指導モシ、吾々トシテモ考ヘテ居リマス、燒子ニ去ラレテハ仕事ガ出來マセヌカラ、其ノ點ハ出來ル範圍デ遺憾ナキヲ期シテ居リマス、勿論物質的ニハ官行製炭ハ非常ニ不利益デアリマスガ、其ノ代リ手ノ届クヤウニ指導シテヤツテ居ルノデアリマス

○川俣委員 私人官行製炭バカリデハナク、拂下ヲ受ケマシタ所謂所管ノ勞務關係ニナイ單ナル請負關係ニアル所ノ焼子ヲモ含メテ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソコデ木炭ノ價格ニナルノデアリマスガ、今日決定サレテ居リマスル木炭價格ニ付テデアリマス、現實ニ自ラモ製炭業ヲサレテ居リ、又其ノ窯ノ造リ方、或ハ製炭方法、或ハ其ノ管理ノ方法マデ指導シテ居ラレマスル山林局ト致シマシテ、今日ノ木炭價格ガ生産費カラ割出シマシテ、妥當ト御考ニナルデアラウカドウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○田中政府委員 公定價格ノ本質ト致シマシテ、申上ゲルマデモナイコトデアリマスルガ、公定價格ハ變化ハシナイケレドモ、生産費ハ變化スル、假令九・一八ノ「ストツプ」令ガ基ニゴザイマシテモ、事實ハソレト異ツテ動イテ居ル、殊ニ昨年ノ九月ノ以前ノ材料ノ公定價格デアリマスルカラ、必ズシモピツタリ生産費ト公定價格ガ合ツテ居ルトハ現状カラ云ツテ考ヘテハ居ナイノデアリマス、併シ公定價格ハ生産及ビ消費其ノ他ノ事情カラ云ツテ、已ムヲ得ナイト考ヘテ居ルノデアリマス

○田中政府委員 相當細カク格差ヲ付ケテ決メテ居リマス、併シ人ノヤル仕事デアリマスカラ、中々具體的ノ問題トシテハ、必ズシモ總テ満足デアルト云フ確信ハ實ハ持ツテ居ナイノデアリマスルガ、アノ當時アノ方法ハ已ムヲ得ナイ程度デアッタト確信ヲシテ居リマス

○川俣委員 尙ホ申上ゲタイコトハ澤山アルノデスガ、モツト細目ニ互ツテ此ノ點ハハツキリサセタイト思フノデス、ケレドモ局長モ御用意ガアルヤウニ見受ケマスカラ政府ニ於テ木炭配給法ヲ本議會ニ御出シタル豫定デアリマスガ、其ノ點ヲ御尋致シマシテ、私ノ質問ハ其ノ程度デ打切りタイト思ヒマスガ……

○田中政府委員 マダ決ツテ居ナイノデアリマス

○川俣委員 政府ハ現在ノヤウナ生産機構及ビ配給機構ノ儘デ所定ノ増産ガ出來ルト御考ニナツテ居リマスガ

○田中政府委員 吾々ノ計畫ヲシテ居リマスル二億萬貫ノ増産ハ出來ルト思ツテ居リマス、勿論辯明ガマシヤウデアリマスケレドモ、今後ノ變化ト云フモノハ、資材關係ニ於テモ相當變化ガアリハシナイカト存ジテ居リマス、其ノ他ノ労働條件等ニ付キマシテモ、或ハ石炭ノ規正、瓦斯ノ規正、電氣ノ問題ト云フヤウナ問題ガ變化シテ來ル、國家政策モ亦吾々デハ考ヘ及バナイヤウナ、經濟政策ガドウツチ向イテ行クカト云フヤウナ問題モアリマスカラ、サウ致シマスルト、又吾々ノ考ヘ通りニハ參ラナイカモ知レマセヌガ、只今ノ所デハサウ大シタ心配ハ致サナクモ、増産ト云フモノハ或ル程度ニハ行キハシナイカト云フヤウニ考

ヘテ居リマス、勿論今後ノ地方ノ協力ガ絶對ニ必要デアリマスカラ、其ノ地方ノ協力ノ如何ニ依ツテ違ヒマスケレドモ、計畫トシテハ出來ルモノダト思ツテハ居リマス

○川俣委員 其ノ豫定數量ノ中ノ原木別ニ、官有林ガ幾ラ、民有林ガ幾ラデアリマセウカ

○田中政府委員 原木トシテハ一寸ナンドスケレドモ、官有關係ハ農林省デ支配シテ居ル範圍ノコトヲ申上ゲテ居ルコトハ、前申上ゲタ通りデアリマスルガ、官行製炭ハ問題ニナラス程極ク僅デアリマス

ソレカラ原木ニシテモ、今朝程モ申上ゲタヤウニ、面積カラ云ツテ非常ニ少イノデスカラ、一割何分カ二割以下ノコトデスカラ、薪炭用材一切引括メテ極ク僅カデスカラ、結局ハヤハリ民有關係ニ於ケル生産ガナイト目的ヲ達シナイ譯デアリマス

○川俣委員 然ラバ民有林ノ潤葉樹ハ三三年末ト十四年末ト、今年末ノ値上リ高ハドシナ傾向ヲ迎ルカ、又迎ツタカ、又ハ迎ルデアラウト云フヤウナ豫想ヲ付ケテ居ラレルカ、其ノ點ヲ御尋シマス

○田中政府委員 原木ノ値段ハ段々ト高クナツテ來テ居リマスカラ、之ニ付テハ今朝程モ申上ゲタヤウニ、原木供給ニ際シテハ民間ニ於テ委員會等ヲ設ケテ相談ヲシ、又政府トシテモ色々ナ方法ヲ以テ、原木ヲ安價ニ確實ニ提供シテ貰フト云フヤウナ方法ヲ執リタイト思ツテ居リマス

○川俣委員 十三年暮ト十四年暮トハ、ドノ程度ノ値上リヲ來シタモノト御認メデスカ

○田中政府委員 其ノ點ハ全國的ノ資料ヲ此處ニ持ツテ居リマセヌノデ、正確ニ申上

が兼ネマス

○川俣委員 大體政府ノ答辯ニ依ツテ豫定數量ト云フモノガ確信アルモノダトハ私ハ判定出來ナイノデアリマス、ナゼカト云ヘバ、其ノ基礎ガ甚ダ不確實デアル、殊ニ木炭金融ト云フコトガ重大ナコトデアリマス、配給機構ト生産機構トガウマク合ハサレナケレバ、豫定數量ト云フモノハ生レテ來ナイコトハ明瞭デアリマス、現在ノヤウニ、私共ノ東北地方ニ於ケル十三年度末ニ於ケル薪ノ代、十四年度ノ薪ノ代トハ五割カラ七割ノ暴騰デアル、隨テ豫定炭ヲ燒ク爲ニ民林ヲ買求メマシテモ、買ツタ直グ後カラ、又伐ラナイ中ニ薪材トシテ他ニ轉賣サレルト云フヤウナ状態ヲ來シテ居リマスカラ、官有林ノ方ハ御指導モ徹底致シマセウケレドモ、私ハ民有林ニ對シマシテハ、恐ラク政府ノ意圖スルコトノ三分ノ一増産モ不可能トハナイカト思フノデアリマス、尙ホ原本ノ資金デアルトカ、或ハ炭窯ノ資金デアルトカ云フモノハ、最近ハ餘程共同組合或ハ産業組合カラ融通ヲ受ケテ居リマスルケレドモ、今以テ尙ホ仲買人或ハ問屋カラノ金融ガ大部分デアリマス、勿論配給機構ガ變ツテ參リマスルト、ソレノ緣故ガ切レマスカラ、ソレノ木炭増産ヘフ刺戟ガ斷タレルコトニナリマス、併シ今マデノヤウナ木炭ノ配給状態デ、或ハ金融状態デ必ズシモ妥當ダトハ思ヒマセヌ、唯配給機構ヲ漫然ト切リマスレバ、唯後ニ切換ヘルダケノ機構ヲ持タズニ今マデノ關係ヲ斷切リマスレバ、私ハ減産ニナラザルヲ得ナイと思フ、是ハ木炭ダカラ割合ニ見逃サレテ居リマスケレドモ、石炭ノ問題ノ時ハ大臣ヲ初メ一般ニ通念サヘ出來テ居ル程デアリマス、即

チ或ル小炭山ガ或ル事業家カラ金融ヲ受ケテ居ツテ、其ノ金融カラ小炭山ノ石炭ガ増産ニカツテ居ルノダ、隨テ今マデノ金融關係ヲ斷切レバ減産ニナルカラ、他ニ金融ノ途ヲ開カケレバ、今マデノ關係ヲ斷切リ得ナイト云フコトヲ大臣モ御答辯ニナツテ居ル、木炭ニシテモ其ノ通りデス、寧ロソレ以上深刻デス、石炭ヨリハ寧ロ木炭ノ方ガ其ノ關係ガ深い、複雑ナノデス、所ガ石炭ノ方ハ分ルケレドモ、木炭ノ方ハ分ラナイト云フヤウナ考方デ機構ヲ斷切ル、機構ヲ斷切ツテ、次ニ切換ノ出來ルヤウナ方法ヲ講ジラレナイデ、此ノ金融ノ方法ヲ講ジラレナケレバ——私ハ今時間ガアリマセヌカラ是以上申上ゲマセヌケレドモ、此ノ事ヲ考ヘナイデ増産計畫ヲ立テラレルコトハ、全ク机上論ニ終リハセヌカト私ハ思フ、此ノ點ニ付テモウ一度伺ヒマス

○田中政府委員 川俣委員ハ秋田ノ取引機構ノ變革ヲ頭ニ多分ニ持ツテ御話ニナツテ居ルノデ、其ノ點ハ多少御尤モノコトガアリマス、併シ全國的ニ必ズシモサウデハナイノデアリマス、秋田縣ニ關スル限リニ於テハ、吾々ノ方デモ多少自認シテ居ル所モアリマスカラ、モウ少シ調べテ見マス

○川俣委員 勿論私ハ秋田ノ實情カラ特ニ其ノ點ヲ深ク論ジタノデアリマス、木炭ニ於テ今マデノ問屋ト燒子トノ關係ハ道ガ通ジテ居ツタ、何處ノ縣デモ或ル地方ニ、或ハ全國的ニ、農林省ノ省令ガ出サレテ何處何處ト「ブロック」經濟ヲ結ンデ居ラレル、今マデ金融ヲ受ケタ縣ニ必ズ流レテ行クト云フ譯ニモ行カヌ、大體サウ云フコトヲ御認メニナツテ「ブロック」經濟ヲ作ラレテ居ナイヤウニ見受ケマス、ソレハ表面ヲ流レ

テ行ツタコトダケデスシ、金融状態カラ見タノデナイ、炭ノ流レタ工合カラ見テアノ「ブロック」經濟ヲ立テテ居ラレルノデアリマスカラ、金融カラ見テ「ブロック」經濟デハナイノデス、ソコデ今度農林省ノ意圖サレテ居ル所ノ木炭ニ對シテ組合力何カガ配給スル法ヲ出サレルコトガ明瞭ニナツテ居リマスレバ、私ハソレ程マデニ論ジナイノデアリマスケレドモ、ソレモ此ノ議會ニ出スカ出サナイカ分ラナイト云フヤウナ状態デハ困ル、唯現在ノ配給状態ガ圓滑デハナイカラト云フヤウナコトデ、東京市ニ配給サセルトカ、或ハ東京府ニ炭ノ荷出シヲサセルトカ云フコトニナリマスレバ——是ハ岩手縣デモ同ジ事デス、商人ノ手デナク東京市ヘ、或ハ東京府ヘ縣ガ斡旋ヲシテ居ル、今マデノ金融關係ト變ツテ來テ居リマス、或ハ變ヘル事ガ惡イト云フノデハナイ、東京市ニ配給スルコトモ、東京府ニ配給スルコトモ、是ハ配給方法トテハ必ズシモ惡イ事デハナイと思フ、併シガラ金融上斯ウ云フ途ヲ立テテ居ツタガ、配給ハ斯ウダ、前ノ配給ノ關係ガ全然切レテシマフ、之ヲ結ンデ、道ガ通ズルヤウニシテ配給シテ行クナラ、決シテ私ハ配給スルコトガ惡イト云フノデハナイ、唯規則的ニ今度ハ斯ウスルノダト云フテモ、サウ云フ簡單ナ工合ニハ出テ來ヌ、斯ウ云フコトデス、石炭ノ事ハ分ツテ居ルケレドモ、木炭ハ分ラナイト云フカラ私ハ申上ゲタ、石炭ノ事ハ比較的世間ニ知ラレテ居ツテ、斯ウ云フ事情ダト云フコトハ割合ニ徹底スルヤウナ状態ニアル譯デス、經營致シテ居ル者モ相當ナ資力ヲ持チ、又金融致シテ居ル者モ財界ニ實力ヲ持ツテ居リマスカラ、政

府ナリ大臣ニモピツタリト耳ニ入ル、所ガ木炭ノ事情ニ付テハ使フコトハ知ツテ居リマスケレドモ、ドウシテ出來カト云フコトハ知ラナイ、ソレダカラ小學校ノ生徒ニ炭ヲ燒カシテモ——是ハ三日ヤ四日、一年ヤ二年デ炭ナド燒ケルモノデハナイ、女學校ノ生徒ガ一日炭燒ニ行ツテ手ガ荒レテ、一週間モ二週間モ醫者ニ掛ツタ、ソレハ醜態デス、中學校ノ生徒ニ炭ヲ燒カシタツテ三日ヤ四日、一年ヤ二年ナカデ炭ヲ燒クコトハ覺エラレマセヌ、十年掛ツテモ、是ハコツガアツテ必ズシモ皆ク出來ナイ、風ノ工合、木質ノ工合、同ジ櫓デアツテモ木ノ質ニ依ツテ、其ノ時ノ風ノ方向ニ依ツテ、窯ノ築キ方ニ依ツテ、或ハ窯ガ西向、東向或ハ南向ト云フヤウニ、窯ノ向ケヤウニ依ツテモ違ヒマス、又風ノ入り工合又ハ送り工合ニ依ツテモ違ヒマス、隨テソナナ三日ヤ四日デ炭燒ノ眞似ヲサセテモ、出來ル譯ハナイ、サウ云フ頭デ炭ノコトヲ計畫サレテ居ツテモ、炭ハ出テ參リマセヌ、ソレダケ申上ゲテ置キマス、ソレデ木炭ノ配給法案ヲ出スカ出サヌカト云フ伺ヒマス

○田中政府委員 ソレハ決ツテ居マセヌ、ノミナラズ、川俣委員ノ御想像ニナツテ居ルヤウナコトハ私ノ方ハ今ノ所考ヘテ居リマセヌ、配給機構ヲ全體のニ……

○川俣委員 其ノ點ハ農林省バカリニ御尋シタノデアリマセヌ、政府ト致シマシテ御尋シタノデアリマス

○田中政府委員 政府ノ役人ノ山林局長トシテ御答致シテ居リマス、大臣トシテ御答辯ヲ申上ゲル譯ニハ參リマセヌガ、今ノ所決ツテ居リマセヌ、ケレドモ川俣委員ノ御意見ヲ想像スルト、木炭ノ配給全體ノ機

構ヲドウスルカ、法案ヲ出スカト云フヤウナ御尋ノヤウデアリマスガ、サウ云フヤウナ計畫ハ考ヘテ居リマセス、今考ヘテ居ルノハ、ソレ程ノ大キナ計畫デハナイノデアリマスカラ、假ニ決リマシテモ、サウ云フ所マデハ參ラナイノデアリマス、ソレカラ今學生、青年團ノ木炭勤勞奉仕ニ付キマシテノ御批評ガアリマシタガ、アレハ實ハ木炭増産ト云フコトヲ主目的ニシテハ居ナイノデアリマス、吾々トシテモ木炭ガ少々不足スルカラト言ツテ、アア云フ計畫ヲ進メタリ、贊同シタリスルト云フコトハ考ヘテ居ナイノデアリマス、唯全國のナ米ニ次グ大キナ問題ニナツテ、サウシテ他方ニ於テ御承知ノ通り原始勤勞ガ學生ノ勤勞奉仕トシテハ最モ適當デアル、此ノ點ニ付テハ川俣委員モ御異存ハナイト思ヒマス、原始勤勞以外ニ學生青年團ニ適當ナ勤勞奉仕ハナイト私ハ思ヒマス、ドウセ勤勞奉仕ヲスルナラ、國家の全國的ナ問題ニ多少トモ觸レテノ勤勞奉仕、隨ヒマシテ増産ガ結果シヤウガ、結果シマイガ、サウ云フコトハ實ハ目的デハナイノデアリマス、隨ヒマシテ炭ヲ直接燒クトカ云フヤウナコトハ考ヘテ居ナイノデアリマス、或ハ運搬ニ携ルトカ、或ハ俵運ビニ從事スルトカ、サウ云フヤウナ多少木炭ニ聯關ヲ持ツ仕事デアレバ宜イ、而シテ危險防止ニ付テハ極力ヤツテ貰イタイ、斯ウ云フ趣旨デアレハヤツタノデアリマシテ、殊ニ小學校ノ生徒ニマデヤラセルト云フコトニ付テハ、吾々トシテハ勿論贊成ハシテ居ナイノデアリマス、中等學校、殊ニ農林學校ヲ中心ニシテ、殊ニ直接ノ木炭ノ生産ニ付テハ農林學校生徒ノ實習ト云フモノモ加味シテヤルト云フ精神デヤツタ譯デアリマス

○野村委員長 只今ノ原始勤勞ニ對スル勤勉、演習等、ソレ等ハ理窟トシテハサウカモ知レマセスガ、當時ハ木炭ガ非常ニ缺乏シテ、サウシテ其ノ缺乏ノ理由ハ色々アリマスガ、勞働者ガ不足デアル、所謂燒子ノ不足デアルト云フコトモ社會的ニ見テ爭ヘナイ事實デアリマス、サウシテ、其ノ際ニ於テ學生ヲ使ツタ、ソレハ原始勤勞ノ修習ダ、斯ウ仰シヤルガ、併シナガラ學生ヲ使フニハ、ヤハリ學生ノ體力等ヲ考慮シテ、原始勤勞ノ修習ニ差支ヘナイト云フコトニナツテ初メテソレニ從事サセルノガ當然デアラウト思ヒマス、然ルニ二日程出テサウシテ一週間モソレガ爲ニ休ム、ソレガ又場合ニ依ツテハ、只今川俣君ノ口調デ言ヘバ、病氣ニナツテ病院ニ入ツタ、サウ云フコトハ原始勤勞ヲ修習スルノニ果シテ適當ナ遣リ口デアアルカドウカ、原始勤勞ハ單ニ炭燒バカリデハナイ、農村ニ關係スルモノモアル、田ヲ耕スノモ其ノ方法デアリ、畑ヲ耕スノモ其ノ方法デアル、其ノ點カラ言ツテ時恰モ木炭ガ無クテ困ツテ居ル、而モソレニ從事スル人ガ足ラナイデ困ル、サウシテソレニ從事セシメル人ハ慣レナイ、其ノ結果、病人ガ出來タト云フヤウナコトハ、原始勤勞ヲ獎勵サレル建前カラ、餘リニ注意ガ足ラナカツタ、斯ウ云フ風ニ思ハレルノデアリマス、假ニ今ノ政府委員ノ御答辯ノ原始勤勞ノ獎勵トシテ見テモサウデアリマス、況ンヤ普通ノ人ハサウ見テ居ラナイ、色々出征軍人其ノ他デ人ガ足ラナイ、足ラナイカラ有ユル方面ノ勞働力ヲ利用シテ、學生モ單ニ本ノミ讀ンデ居ツテハイカス、此ノ際ニ於テヤハリ木炭増産ノ一ツノ助ケニナルノデアアル、斯

ウ云フ風ニ社會ハ取ツテ居リマス、隨テアノ結果ヲ見テ、ドウモ遣リ口ガ面白クナカツタト云フ一般ノ批評ノヤウニ感ゼラレマス、私ハ此ノ點ダケヲ申上ゲテ、別ニ答辯ヲ求メル必要ハアリマセスガ、是カラモアルコトデアリマスカラ、假ニ原始勤勞ヲ修習サセルニシテモ、其ノ點ニ付テ一層注意ヲシテ貰ヒタイト思ヒマス

○林委員 一寸關聯シテ伺ヒマス、——山林局長ノ御話ノ中ニ、原始勤勞ニ學生ヲ向ケルト云フコトガ一番適當ダカラ、川俣委員モ御異存ハナカラウト云フ御答辯デアリマス、私ハ此ノ話ヲ聽イテ實ニ奇怪千萬ニ思フノデアリマス、ナゼカト云フナラバ、今更原始勤勞トシテ炭燒ニ使ツタト云フコトハ、其ノ不成續ヲ「カモフラージ」スル以外ノ何物デモナイカト云フヤウニシカ、國民ハ取ラナイノデアリマス、ナゼカト云フナラバ、アノ時ハ既ニ盛ニ新聞ニモ書立テラレテ居ツタガ、炭ガ無クテ困ツタ、困ツタト云フ、此ノ炭不足ノ聲ニ對應シテ、學生ノ勞力ヲ炭ノ生産ニ向ケタノデアリマス、デスカラ今頃ニナツテ炭ノ生産ノ多少ハ問題外ダト云フヤウナコトハ、ドウモ甚ダ國民ヲ欺クヤウナ結果ニナリハセヌカト思フノデアリマス、若シサウデアラナラバ、其ノ時ニハツキリト此ノ勤勞奉仕ハ時局ニ關聯ヲ持ツセル意味ニ於テ木炭製造ニ向ケルノデアツテ、其ノ成績ノ如何ヲ問フノデハナイ、原始勤勞トシテ、又今ノ時局柄炭ノ方ガ宜イト思ツテ之ヲスルノデアルト云フコトヲ申シタラ疑ハナカツタと思フ、殊ニ殘念デ堪ラナイコトハ、炭ノ不足ナ時ニ、炭燒ニ學生ヲ使ツタト云フ其ノコト自體ガ、ドレ程木炭ノ姿ヲ世ノ中カラ隠シタカ

ト云フコトデアリマス、ソレ學生マデ動員シナケレバナラスヤウナ炭不足ダカラ、一ツ買込シテ置カウデハナイカ、賣ラナイデ置カウデハナイカト云フヤウナ心理狀態ニナルノハ、餘リニモ當然ダと思フノデアリマス、ドウモ國民ニバカリ君子タレ、道德者タレ、愛國者タレ——愛國者タルヲ要求スルノハ宜シイガ、恐ラクハ官吏諸公ト雖モ、少シ餘裕ガアレバ買ツテ置カウトカ、賣ルベキモノモ惜シマウト云フ心ニナルノハ當然ダと思フノデアリマス、殊ニアノ際ニ、盛ニ學生ヲ動員スルト云フコトハ、如何ニ炭ガ不足カト云フコトヲ物語ツテ餘リアルト思フ、即チ逆效果ヲ與ヘタノデアリマス、全ク其ノ反對ノ效果ヲ來シタノデアリマス、サウ云フ苦々シイ結果ヲ招イタニ拘ラズ、今ニナツテ、ナニ初カラ炭ノ増産ト云フコトハ念頭ニナカツタノダト言フニ至ツテハ、呆レテ物ガ言ヘナイト思フ、モツト率直ニ正直ニ、イヤハハニ失敗デアツタ、全クサウデアツタト言ハレタ方ガ、如何ニモ無邪氣デ誰モ咎メル者ハナカラウト思フ、サウ云フ心構ヘニ是非改メテ戴キタイノデアリマス

ソレカラ序デニ御尋致シタイノハ、先程ノ川俣君トノ應答ニ於キマシテ、今年度ハ二億貫ノ増産ヲ計畫シテ居ルト云フコトデアリマスガ、是ハ東北六縣カラノコトデゴザイマセウカ、全國カラデゴザイマセウカ、多分全國ダト思ヒマスガ、ソレナラバ東北六縣カラハドレ程ノ増産ヲ當込シテ居ラレルカ伺ツテ見タイノデアリマス

○田中政府委員 私ノ申シタ原始的勤勞ノコトガ、非常ニ問題ニナツタヤウデアリマスガ、私今日マデノ答辯デ噓ハ言ハナイ、

實ハ率直ニ申上ゲタ積リデアリマス、或ハ私ノ答辯ハ、上ノ方カラハ、アンナ答辯ハ言ヒ過ギデハナイカト言ハレル位ニ、率直ニ今マデ申上ゲテ居リマス、ノミナラズ今ノ問題ニ付テモ、實ハ其ノ時ノ主任官ノ打合せ會議ニ於キマシテ、勤勞奉仕ガ主カ、木炭増産ガ主カト云フ質問ニ對シマシテハ、勤勞奉仕ガ主カ、併シ手段ハ木炭増産ニアルノダカラ、木炭増産ヲ目標トスルコトハ當然ダト云フコトヲ、其ノ打合せ會議デモハツキリ申上ゲタ位デアリマス、サウ云フコトデ御諒承ヲ願ヒタイと思ヒマス

ソレカラ木炭ノ増産ニ億貫ト云フノハ、全國的ノコトデアリマス、而シテ東北六縣ニドノ位割當テルカト云フコトハ、實ハマダ決メテ居リマセヌ、ヤハリ十四年度ノ實績ヲ見テ決メタイ、既ニ十四年度ノ一億四千萬貫ハ割當テマシタガ、實ハ縣ニ依ツテハ無理ナ所モアリマシタシ、ソレカラ昨年ハ早害地方ガアリマシタカラ、其ノ早害地方ニ付テハ、今年ハ又別ナ考ヲ持タナケレバナリマセヌカラ、今ノ所マダ割當デシテ居リマセヌノデドノ位ト云フコトハ申上ゲ兼ネルノデアリマス

○林委員 東北ニ於ケル木炭増産ノ數字ハマダ分ツテ居ラスト云フ御答辯デアリマスガ、ソレデハ御同致シマスガ、東北ニ對シテ十四年度ニ期待サレタ増産額ヨリモ、更ニ相當ニ増スコトヲ期待サレラウト思フノデアリマスガ、御配付戴イタ資料ニ依ツテ見マスノニ十四年度ニ於テハ東北ニ對シテ三千六百萬貫ノ増産ヲ期待サレテ居ルノデアリマス、サウシテ精々努力サレタ結果、此ノ増産ハ期待シ難イト云フ御報告デアリマス、洵ニ御尤モダト言フヨリモ、

寧ロ此ノ資料ノ報告ノ書キ振リガ私ハ満足シナイ、否誤ツテ居ル御報告ダと思フ、ト云フノハ此ノ御報告ニ依リマス、増産ガ期待出來ナイト云フノデゴザイマスガ、増産ドコロノ話デハゴザイマセヌ、平年産ノ期待スルコトガ出來ナイノデス、平年産ノ二三割減ト云フノガ實際ノ數量と思ヒマス、平年産サヘモ期待出來ナイノニ、増産ガ期待困難ダナト云フノハ、ドウモ書キ振リガ世ノ中ヲ欺クヤウナコトデハナイカト思フノデアリマス、而モ昨十四年度ニ於テサヘモ人手ガ足りナイ爲ニ、又物ガ上ツタ爲ニ増産ガ出來ナカツタノニ、今年ハ更ニ物ガ上ルコトハ龐大ナ豫算ニ依ツテモ想像ガ出來マス、ノミナラズ東北カラ拓務省ガ多クノ青年移民ヲ期待シテ居ル、拓務省バカリデナイ、其ノ他ノ各省ニ於テモ東北ニ人的資源ヲ期待シテ居ルト云フコトハ即チ東北カラ人的資源ガ減ツテ行クト云フコトナデス、益、人的資源ガ減ツテ行キ、物價高クナツテ行ケバ、十五年度ニ於テ十四年度ヨリモ減收スルコソ當然デス、然ルニ二億萬貫ヲ増産セシメルトスレバ、少クトモ其ノ何割カハ東北ニ期待サレラデアリマセウガ、實ニ私ハアナタ方ノ御計畫ガ不安デ堪ラナイノデス、何カ一ツヤツタコトニ付テ、ソラ此ノ通りダト云フコトノ御示ヲ願ハレルモノナラバ本當ニ信ジテ躍イテ行ケル、又信ジテ躍イテ行キタイ、サウ云フ心持ヲ持ツテ行キタイノデスケレドモ、過去ノ事實ガ兎角御計畫ノ通りニ行ツテ居ナイ、サウシテ今伺ツタコトノヤウニ、青年、學生ヲ動員シタノハ炭ヲ作ル爲デハナイ、社會奉仕ガ目的ダナト云フコトニナツテハ、實ニドウモ何處マデ信ジテ躍イ

テ行シテ宜イカ分ラナイノデゴザイマス、ドウカ増産計畫ニ付テハ、モット徹底シタ所ノ具體案ヲ立テテ吾々ニ御示ヲ願ヒタイ、是ガ即チ東北ノ振興問題ニ密接ナ關係ヲ持ツテ居ル、炭ヲドレダケ増産スルカ、又人的資源ヲドウ云フ風ニ見テ居ラレルカト云フコトハ、東北ノ振興上由々シキ重大ナル關係ヲ持ツノデゴザイマスカラ、是非トモ此ノ委員會ノ終了シナイ内ニ、東北ノ薪炭増産計畫ニ付テ承ツテ置キタイノデアリマス

○川俣委員 先程局長ガ農林省トシテ木炭配給ノコトハ是レ以上大シテ考ヘテ居ナイト云フ御話デアツタケレドモ、商工省デハ何カ御考ニナツテ居リハセヌカ

○田中政府委員 全體的ノ配給機構ヲ改メルヤウナ計畫ハ考ヘテ居タイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、需給調節策ニ付テハ目下考ヘテ居リマス、併シマダ確定的ニナツテ居リマセヌカラ御發表マデニ至ツテナイト云フコトヲ御諒承願フ、斯ウ申上ゲタ譯デアリマス

○川俣委員 ソレト今年ノ増産トハ關係ナク御考慮ニナリ得ラレルノデスカ

○田中政府委員 無關係ト云フコトハ出來スト思ヒマス、或ル程度ニ關聯ガアリマ

○小野委員 今局長カラ伺ツタノデアリマスガ、二億萬貫ノ増産計畫ニ付テ、此ノ間農林大臣カラ私ノ質問ニ對シテ斯ウ云フ御答ガアツタノデス、大キナ數量ヲ炭ノ要ラナイ時期ニモ焼カシテ、燒溜メヲシテ置イテ、ソレヲ必要ナ時ニ段々流シテ行クト云フ工夫ヲ考ヘテ行クトガ一番安全デハナイカト云フヤウナ考ヘ方ヲ以テ只今研究シテ、之ニ對シテハ立案ヲシテ、成案ヲ得マ

スレバ、此ノ議會中ニデモ追加豫算ナリ或ハ立法ノ形ヲ以テ御相談ヲ願ヒ、御協賛ヲ仰グヤウニシタイト云フコトデ、今折角其ノ點ニ付キマシテハ努力ヲシテ居リマスガ、此ノ既ニ御協賛ヲ得タル豫算ノ中ニモ、増産計畫トシテ、所謂燒子ノ養成ト云フヤウナコトニ付テハ、相當ナ費用ヲ認メテ貰ツテ居ル譯デアリマスカラ「斯ウ云フコトデアリマスガ、此ノ二億萬貫ノ増産計畫ハ、吾ガ協賛ヲ與ヘテ今貴族院ニ廻ツテ居ル豫算ノ中ニアルダケノ手配出來ルト思フカ、農林大臣ガ仰シヤツタヤウナ前段ノ點モ、今折角考究シテ居ル、是カラ議會ニモ協賛ヲ仰ガウト云フ施設ヲモ合セテ初メテ此ノ二億萬貫ノ増産ガ出來ルト云フノデアリマス

○田中政府委員 多少關聯ヲ持ツテ居リマスケレドモ、併シ大體ハ貴族院ニ回付サレタ豫算ノ範圍ニ於テ、ソレガ大部分デゴザイマス

○小野委員 今考ヘテ居ルコトガ成案ヲ得ナクテモ、只今マデノ計畫ダケデモ大體出來ルト、サウ云フ意味ニ諒承シテ宜シイカ

○田中政府委員 現在認メラレタ豫算ダケデアリマスト非常ニ努力ヲ要スル、更ニ考ヘテ居ルコトガアリマスレバ其ノ努力ガ割合輕減サレラウト、斯ウ思ツテ居リマス

○小野委員 ソレデハ今御考ニナツテ居ルコトハ、近い將來具體化シテ此ノ議會ニ何カノ案ニナツテ出テ來ルト、斯ウ承知シテ宜シイカ

○田中政府委員 大臣ノ御答辯ノヤウニ計畫ガ進ンデ居ルノデアリマシテ、最後ノ政府トシテノ確定ガアルカドウカガマダ問題

デアリマスガ、大臣ノ御答辯ノ程度ト御諒
承ヲ願ヒタイ

○小野委員 サウナツテ参リマス、今マ
デノ決ツタ——無論貴族院モ協賛ヲ與ヘル
デセウガ、衆議院ダケハ通ツタ豫算ノ範圍
内デヤツテモ出來ナイコトデハナイガ、非
常ニ努力ヲ要スル、其ノ努力ヲ要スル量ノ
範圍ハ私共茲デ分リマセス、大變私共不安
ガ出テ來ルト思ヒマスガ、サウ諒承シテ宜
シイカ

○田中政府委員 御尤モデアリマス、努力
ノ測定ハドウモムツカシイノデスガ、併シ
御承知ノ通りニ、十四年度ニ於テハ非常ニ涙
グマシイ程ノ、生産業者ハ勿論デアリマスガ、
縣廳等ニ於キマシテモ、其ノ他民間有志ニ
於カレマシテモ、餘程努力ヲシテ戴キタイノ
デアリマス、十四年度ノ増産ニ付キマシ
テモ、早害其ノ他目的ヲ達スルカドウカ
ハ一寸疑問デアリマスケレドモ、其ノ上ニ
増産デアリマスカラ、勿論吾々ト致シマ
シテハ林道——御承知ノ通り十四年度ハ
林道計畫百圓ニ過ギナカツタノデアリ
マスガ、ソレガ五百萬圓ニナツタ譯デア
リマス、其ノ林道ニ付テモ既ニ計畫ヲ立
テマシテ、何時モナラバ四月ニ主任官
會議ヲ開キマシテ相談スルノデアリマスガ、
本年ハ既ニ二月二十三日頃デシタカ、開キ
マシテ、大方ノ意見ヲ聽イテ豫算ノ御協賛
ヲ經レバ成ベク早イ機會ニ林道計畫ニ著手
ノ出來ルヤウニ準備モ實ハ致シテ居リマ
ス、サウ云フヤウナコトカラ致シマ
シテ、薪炭材ノ供給ヲ更ニ一層潤澤ニスル
ト云フ計畫ヲ持ツテ居リマスカラ、サウ云
フ計畫其ノ他デアリマスケレドモ、大部分ハ
サウ云フ計畫ノ下ニヤレル、斯ウ云フ風ニ

考ヘテ戴イテ宜カラウト思ヒマス

○小野委員 端のニ大臣ノ仰シヤツタヤウ
ニ出セルト局長カラ御答ガ出來マセスカ
○田中政府委員 其ノ通りデアリマス、大
臣ノ御答辯通りニ御諒承願ヒタイ

○林委員 關聯シテデゴザイマスガ、十四
年度ノ増産ガ期待シタ程困難ダト云フコト
デゴザイマスガ、十三年度ノ分ヨリモ減産
ヲシタト云フ事ハ御認メニナラナイノデス
カ、減産ハ無論シナイガ唯思フヤウニ増産
モシナイト云フノデスカ、十四年度程モ出
ナイト云フ、詰リ減産ヲ認メラレルカドウ
カト云フコトヲ一寸御尋シタイ、全國的デ
ナクテ、東北六縣ダケニ付テノコトデアリ
マス

○田中政府委員 増産ハ全國的ニ見マシテ、
先程言ヒマシタヤウニ一億四千萬貫ノ計畫
ヲシマシテ、マダ三月末日マデノ統計ヲ見
ナイト分リマセヌガ、早害其ノ他ノコトデ
多少引込ムカモ知レマセヌガ、殆ド目的
通り行クト考ヘテ居リマス、東北六縣ノ増
産ノ數字ヲ實ハ持ツテ居リマセヌガ、減産
ハナカツタト思ヒマス、ヤハリ全體的ニ
ハ増産デアツタト思ヒマス、唯秋田縣等ハ
割當量ガ多カツタノデ、其ノ割當量ニ相當
追ツカナカツタト云フコトハデアリマスガ、
東北六縣全體トシテヤハリ増産デアツタト
思ヒマス

○林委員 ソレハドウ云フ統計デアルカ分
リマセヌガ、吾々ノヤウニ實際村々ノ實狀
カラ見て去年カラ較ベテドウカト云フコト
ヲ直接ニ打ツカツテ聽イテ來タモノニ依レ
バ、二割、三割、中ニハ四割減ト云フ所モ
アルノデアリマス、サウ云フモノヲ綜合シ
テ見マスレバ、増産ナドト云フコトハ思ヒ

モ寄ラナイ數字デアルト云フコトダケハ、
ハツキリ申上ゲテ宜イト思ヒマス、ソレデ
先程御願シテ置キマシタ東北ノ木炭計畫ト
云フモノヲ委員會ノマダ終ラナイ内ニ御出
シ願ヒタイト申上ゲタノデアリマスガ、如
何デゴザイマセウカ

○田中政府委員 是ハ林道網其ノ他ノ資材
ト關係ガアリマスカラ、其ノ全體ノ計畫ガ
ヤハリ並行シテ参リマセヌト計畫ガ立チ兼
ネマスノデ、此ノ委員會ノアル二三日内ニ
正確ニ御話ヲスルコトハ一寸困難カト思ヒ
マス

○林委員 併シ其ノ二億萬貫ノ増産ト云フ
モノヲ大體大綱ミニ擧マレテ、ソレニ對ス
ル經費モ既ニ豫算ニ見込マレタノデスカラ
東北六縣大綱ミニノ位、福島縣デドノ位、
宮城縣ハドノ位、秋田縣ハドノ位ト云フヤ
ウナコト位ハ分ラナイ筈ハナカラウト思ヒ
マス、極ク細密ニ互ツタコトハ御聽キシナ
クテモ、極ク大體ノ計畫ヲ御聽キシタイト
思ヒマス

○田中政府委員 實ハ十四年度ノ實績ガ
先程申上ゲマシタヤウニ分ツテ居リマセヌ
シ、ソレカラ林道網ノ問題ニ付キマシテ、
例ヘバ此ノ位ノ林道ヲ作レバ此ノ縣カラド
ノ位ノ木材ガ伐レルト云フヤウナコトヲ具
體的ニヤル譯デアリマス、今度ノ林道ニ付
イテハ特ニサウ云フ計畫ヲ持ツテ居ルノデ
アリマス、ソレヲ今盛ニ計算シテ居リマ
ス、サウ云フヤウナ關係カラ大綱ミノコト
ヲ申上ゲテ又間違ツテモ却テ色々誤解ヲ生
ズルトイケマセヌノデ、考ヘテハ見マス
ケレドモ、出來ルナラバ御免除ヲ願ヒタイ
ト思ヒマス

○林委員 是ハ重大ナ問題デゴザイマス、
先程私繰返シテ申上ゲマシタヤウニ、東北
カラ政府ハ非常ナ多數ノ人的資源ヲ考ヘテ
居ラレルヤウデゴザイマス、ソコヘ持ツテ
行ツテ、農林省トシテハ多量ノ製炭ヲ豫
想サレ、ソレヲ製炭スル人的資源モ亦必要デ
ゴザイマスカラ、ソコニ喰違ヒガアツテハ
困ルノデアリマス、デアリマスカラ政府全
體トシテドレダケノ人的資源ガヨリ多ク必
要ナ狀態ニナルカト云フコトヲ急イデ御調
ヲ要望スルコトハ當然ダト思フノデアリマ
ス、今御答ガ出來ナケレバ仕方ゴザイマセ
ヌガ、成ベク速ニ此ノ案ヲ立テラレンコト
ヲ希望致シマス

○小野委員 前ノ議會ニ協賛シタ豫算ノ中
ニ農林水産物ノ増産ニ關スル政府ノ助成見
タヤウナモノガアリマシタネ、アノ中デ全
國的ニ木炭ノ増産ニ關スル案ノ策進ニ獎勵
シタ金額ト、案ノ數、ソレカラ其ノ中デ東
北六縣ニ新シク策進シタ案ニ對スル助成金
ト分ツタラ、今デナクテモ宜シウゴザイマ
スガ、アトデ頂戴出來マシタラ……

○田中政府委員 所謂農林水産物ノ増産資
金ト云フノハ、實ハ木炭ニ付テハアノ趣旨
ノモノハ總テ止マリマシタ、唯今ノ案ノ問
題ノハ續イテ居リマス、調ベテ出來ルダケ
差上ゲマス

○林委員 國有林ノ開放ニ付キマシテハ農
林大臣ノ御出席ヲ毎日御待チシテ居ツタノ
デスガ、御出席困難ナ模様デアリマスカラ、
山林局長ニ御尋致シタイト思ヒマス、去ル
二十四日ニ森田君ニ對スル島田農林大臣ノ
御答辯ヲ速記デ拜見シタノデゴザイマスガ、
〔委員長退席、井上委員長代理著席〕
ソレニ依リマス、東北ノ人々ノ希望スルヤウ
ナ開放ヲシマス、ドウシテモ木材ヤ薪炭材ヲ

濫伐サレデ、サウシテ治山治水事業ニ惡影響ヲ與ヘルト云フヤウナ風ニ御答ニナツテ居ルノデゴザイマス、成程濫伐スレバ治山治水ニ惡影響ヲ及ボスコトハ、是ハ大臣ノ仰セラレルマデモナク、尤モ至極ノコトト思ヒマス、併シナガラ私ハ之ニ對シテ農林大臣ハ東北ノ國有林ニ對スル認識ガ十分デナイ結果ノ御答辯ダト思フノデアリマス、何故サウ思フカト申シマスレバ、第一東北地方ガ特ニ國有林開放問題ニ付テ長年ニ互ツテ叫バレテ居ルト云フコト、即チ東北ニ限ツテ特殊ノ叫ビ聲デアルト云フ此ノ事實ヲ見落シテ居ラレルノデハナイカト思フ、全國到處ニ羣タト起ツテ居ル問題デハナク、多少ハ勿論アリマスケレドモ、殆ド東北ニ限レル問題デアルト言ツテモ宜イヤウナ國有林開放問題デアリマス、然ラバ特ニ考ヘラレテ宜イノデアアル、私共ノ考ヲ以テ申上グルナラバ、東北ガ特ニ雨ガ多い地方デアルトカ、或ハ地形ガ急傾斜デアルトカ、何レノ地方ヨリモ洪水ガ多い地方デアアル、サウ云フ特別ノ地方デアアルガ故ニ、餘所ノ地方ヨリモ國有林ガ澤山ニ必要デアルト云フ結論ガ得ラレルナラバ、大臣ノ仰セハ尤モダト思フ、所ガ東北ガ特ニ洪水ノ多い地方デアルト言フ譯ニハ參リマセヌ、特ニ雨ガ多いト云フ譯デモナイ、特ニ傾斜地ガ多いト云フ譯デモナイノデアリマス、寧ロ或ハ其ノ逆カモ知レマセヌ、デアリマスルカラ、東北ニ限ツテ斯様ナ厖大ナ國有林ヲ持ツテ居ラナケレバナラヌト云フ理論の根據ハ何處ニモナイノデゴザイマス、サウシテ多クノ人々ノ言ハレル通り、吾々モ亦ソレヲ信ジテ居ルノデゴザイマスガ、東北ノ疲弊困憊ハ餘リニ國有林ガ多過ギル結果デア

ルトサヘ言ハレテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ實情ヲ認識サレルナラバ、ドウシテモ東北ヲ振興サセナケレバナラヌト云フ政府ノ御方針ヲ立テ、國ノ資材ヲ澤山ニ振向ケラレテ居ルコトデゴザイマスルカラ、モツト國有林開放ニ付テハ特殊ノ觀點ヨリ眺メラレテ宜イト思フノデゴザイマス、併シナガラ大臣ハ始終更ルコトデゴザイマシテ、兎角東北ノ山林ニ付テ御認識ニ缺ケル點モゴザイマセウガ、山林局長ハ農林省生ヘ抜キノ方デゴザイマスルカラ、能ク御分リデゴザイマスルカラ、吾々ノヤウナ考ト同ジ考デゴザイマシタラ、ドウカ一ツ大臣ヲ説得サレ、進言サレテ、サウシテ大臣ノ御心持ヲ直シテ戴ク、是正シテ戴クト申シマセウカ、是非東北ノ國有林ヲ開放シテ戴クヤウナ御努力ヲ願ヒタイノデアリマスガ、之ニ對スル山林局長ノ御所見ヲ伺ツテ置キマス

○田中政府委員 國有林ノ開放問題ハ從前カラ非常ニ熱心ナ御話デアリマスガ、全的ナ開放ニ付キマシテハ、既ニ國策ガ定マツテ居リマスルカラ、難カシイノデアリマスルガ、併シ吾々ト致シマシテハ、御承知ノ通り東北問題ニ付テハ非常ノ關心ヲ持ツテ居リマスノデ、殊ニ國有林ガ多いト云フ其ノ觀點カラ致シマシテ、全國のカラ見マシテ、東北ニ對スル施設ニハ非常ナ努力ヲ拂ツテ居ルノデアリマス、殊ニ地元山村ノ經濟開發ト云フコトニ付キマシテハ、特ニサウデアリマス、又營林局ノ施設等ニ於キマシテモ、山ノ種類カラモ勿論デアリマスルケレドモ、例ヘバ軌道ノ敷設ト云フヤウナ問題ニ付キマシテモ、ヤハリ山ノ多いト云フコトモ原因デアリマスケレドモ、青森或

ハ秋田營林局管内等ニ付キマシテハ、軌道ノ施設、林道ノ施設等ニ付キマシテモ、比較的ニ多ク施設サレテ居ル、其ノ他民間ノ問題ト致シマシテハ、官有委託林問題ニ付キマシテモ、比較的東北ハ多ク、且ツ指導方面ニ於キマシテモ、非常ニ行届イテ行ハレテ居ルト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス

○林委員 此ノ問題ト何時間應答論議ヲ重ネテモ同ジデゴザイマスガ、結論ヲ申上ゲテ御尋シタイト思フコトハ、ドウデセウカ、農林省デモ年々歳々、何年モ何十年モ、此ノ東北ノ國有林開放問題ガ叫バレテ來タノダガ此ノ聲ヲナカラシムルト云フ態度ニ出テハ貫ヘマスマイカ、斯様ナ聲ヲナカラシムルヤウニ、詰リ其ノ聲ヲ發スル必要ヲナカラシムルト云フヤウナ風ニハ、ドウスレバ宜イダラウカト云フ點ニ御心持ヲ移シテ戴キタイ、特ニ東北ガ國有林ノ開放ヲ要求シテ居ルト云フコトハ、ドウ云フ點デアラウカ、間違ツテ居ルノナラバ、才前等ハ間違ツテ居ルノダ、是々ノ點デ間違ツテ居ルト御諭シヲ願ヒタイ、間違ツテ居ナイナラバ、之ニ應ズルヤウナ方法ヲ急速ニ執ラレテ、以テ東北ニ於ケル國有林開放ノ聲ヲ解消セシメル爲ニ御努力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、如何デセウカ

○田中政府委員 先程申上ゲマシタヤウニ、國有林ノ所有權ノ開放ト云フコトハ、國策トシテ決ツテ居リマスノデ、吾々トシテハ困難デアルガ、併シナガラ其ノ利用ハ勿論地元ノ方ガオヤリニナル譯デアリマス、先程申上ゲマシタヤウニ、山村ノ經濟ニ付テハ、特別ナ關心ト指導ヲヤツテ居ルノデアリマス

○林委員 「バルプ」會社ガ年々東北ノ國有林及ビ民有林ヲ八十萬石以上ヅツ伐採シテ行クヤウナ計畫ヲヤウニ承ツテ居ルノデゴザイマスガ、是ハ治山治水ニハ別ニ關係ガナイトノ御見込デゴザイマスカ、伺ツテ置キマス

○田中政府委員 官有林カラ東北振興開發ニ對シマシテノ供給ニ付キマシテハ、治山治水ニ影響ノナイ程度ノ計畫ヲ立テテ進メテ行ク積リデアリマス

○林委員 是ハ特殊會社デアリマシテ、東北興業會社ノ責任ニ於テ出來タ「バルプ」會社デゴザイマスガ、其ノ會社デ伐採スル所ノ木材デゴザイマスカラ、國有林バカリデナク、民有林ハ皆坊主ニシテモ差支ナイト云フコトハ、國家ガ出來ナイデゴザイマセウガ、民有林ニ對シテモ亦十分ニ國有林ト同ジヤウナ心持デ對處シテ居ラレルカドウカ、伺ツテ置キタイ

○田中政府委員 御説ノ通り民有林ニ對シテモ從來ヨリモ實ハ關心ヲ持ツテ居ルノデアリマス、御承知ノ通り隨分過伐早伐ノ聲ガアリマスカラ、實ハ森林法ヲ運用致シマシテ、過伐早伐ノ結果、治水國土保安ニ影響ガアツテハナラナイ、幾ラ事變デモ最小限度ニハ其ノ濫伐防止ヲシナケレバナラヌト考ヘテ居リマス

○林委員 伐採後ノ植林計畫ト云フノガ此ノ材料ノ中ニゴザイマスガ、此ノ植林計畫ノ實施ハ何處デオヤリデゴザイマセウカ「バルプ」會社デアル譯デゴザイマセウカ、ソレトモ東北興業會社ノ方デアルカ、誰ガヤルノデゴザイマスカ

○田中政府委員 御承知ノ通り國有林ハ國デアル譯デアリマス、公有林ハ一部官行造

林デヤリマス、民有林ニ付キマシテハ造林獎勵施設ガアリマスカラ、ソレデ御願スル、其ノ他自力ノ造林ト云フコトニナルノデアリマス

○林委員 「バルブ」會社ガ出來マス當時相當議會ノ問題トモナツタヤウニ記憶致シマス、ソレハドウ云フ點カト申シマス、無暗ニ東北ノ山ヲ伐リ倒サレテハ東北ノ治山治水ニ惡影響ヲ來シ、第二ノ樺太ノヤウニナツテハ大變ダト云フヤウニ心配サレタ人が可ナリ多カツタノデゴザイマス、ソコデ一年ノ伐採量ト云フモノヲ凡ソ制限サレタカノヤウニ思ツテ居リマスガ、私ノ記憶違ヒカドウカ知レマセヌガ、多分三十万石程度ニ止ムベキモノダト云フヤウナ當局ノ御答ヲ聽イタヤウニ記憶シテ居リマス、マダ見付カツテ來ナイ、併シ三十万石ト決メタカ、幾万石ト決メタカ知レマセヌガ、無制限ニ伐ツテ行クト云フコトノ宜シクナイコトハ申スマス、デモゴザイマセヌカラ、凡ソ限度ト云フモノハ嚴ニ決メテ置カクテハナラヌト思フノデゴザイマスガ、農林省トシテハドウ位マデ伐ツテ行ツテモ差支ナイト云フ御見込デゴザイマセウカ

○田中政府委員 東北振興「バルブ」會社ニ付キマシテ國有林カラノ供給分量ト云フモノハ大體決メテアリマス、唯振興狀況ガ遅レマシタノデ、其ノ供給ニ付テ多少變更シナケレバナラヌカトモ思ツテ居リマスガ、國有林カラノ供給數量ト云フモノハ大體決メテ居リマス

○林委員 ソレハ幾ラデスカ

○田中政府委員 今一寸其ノ材料ヲ持ツテ居リマセヌカラ、後デ御知ラセ致シマス

○林委員 ドウモ一度許セバ段々増石スル

コトヲ斷ハル譯ニハ行カナイト云フノハ人情デアリマシテ、初ハ三十万石ト云フコトニ抑ヘテ見テモ、會社ノ都合デ四十万石欲シイト言ヘバ、ツイ四十万石モ許ス、五十万石ニシテ實ヒタイト言ヘバ、又ツイ五十万石ヲ許サザルヲ得ナイヤウニナルノハ、ソレハ勢ヒノ當然デアラウト思フ、併シナガラ國策ノ上カラ、東北振興ノ上カラ、永遠ノ東北ノ發展ノ上カラ見マシテ、其ノ大體ノ見當ヲ決メラレテ、如何ナル事情ガアツテモ、ソレヲ超サナイト云フヤウナコトニシテ戴クコトヲ私ハ此ノ際特ニ強ク要望シテ置キタイノデアリマス

次ニ一點伺ツテ置キタイノハ、東北カラ八十万石ツツモ「バルブ」材料ヲ伐出シ、又支那行ノ枕木ナドモ非常ニ多量ニ伐出スト云フコトニナツテ居ルノデゴザイマスガ、枕木トカ、他ノコトハ暫ク措イテ斯様ニ「バルブ」會社ガ多量ノ木材ヲ伐出シマシテハ、東北ノ他ノ木材ノ騰貴ヲ促サナイモノカ、刺戟シナイモノカドウカ、此ノ點ハ如何ヤウニ御考デゴザイマセウカ

〔井上委員長代理退席、委員長著席〕
○田中政府委員 國有林カラ供給スル「バルブ」材料致シマシテハ、サウ影響スル程ノ問題デハナイノデアリマスガ、一般民有ノ「バルブ」資材ニ付キマシテモ、其ノ爲ニ非常ナ値上リヲスルト云フ特別ナ事情ハ今ノ所考ヘラレヌノデアリマス

○林委員 ドウモ段々其ノ御話ヲ進メテ行クト終ヒニハ御別レヲスルト云フコトニナツテシマフノデスカ、私ハドウモ常識的ニ考ヘテ、國有林ヲドン／＼澤山ニ伐出シテ、其ノ隣ノ民有林ノ値段ガ上ツテ行カナイナドトハ想像出來マセヌ、殊ニ況ンヤ民間ノ

ヲ四十万石モ伐ツテ行ケバ、其ノ影響ガ他ノ山ノ値段ニ影響シナイナドト云フコトハ以テノ外ノ考ヘ方ダト思フノデス、今年ハ伐ラナクトモ其ノ次年ニ其ノ隣ノ山ヲ買ハネバナラヌコトデアリマスカラ、段々ト騰貴シテ行キマス、ミナラズ「バルブ」ニ用ヒナイ他ノ用材ニマデ影響スルコトハモウ當然ノコトダト思ヒマス、ドウモサウ云フモノガ影響シナイト云フヤウナコトニナツテハ、ソレデハモウ全ク問答無用ト云フコトニナツテシマフト思ヒマス、サウ云フ答ハアリマセヌ、確ニ斯様ニ多量ノ「バルブ」材料ヲ伐出シテ、東北ノ山林ガ暴騰ヲ來サナイナシト云フコトハ以テノ外ノ考ダト思ヒマス、隨テ私共ハ實ハ低物價政策ノ逆ノ效果ガ現ハレテ來ルノデハナイカト思フノデゴザイマス、サウ云フコトモ御考下サイマシテ、東北ノ國有林ニ限ラズ、東北全體ノ山林ニ付テ深キ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ私ハ建議案ヲ出シテ置キマシタノデ、其ノ時ニ申上ゲテ見タイノデスカ、今ハ茲ニホンノ簡單ナコトダケ伺ツテ置キタイト思ヒマス、ソレハ木材検査ト東北ノ影響ト云フコトデ實ハ詳シク應答ヲ重ネタイノデスカレドモ、時間ガアリマセヌカラ極ク要點ダケヲ伺ツテ置キタイ、私ノ見ル所デハ最近隨分誤レル統制法ガ頻々ト實施サレテ居ル、極端ニ言フナラバ、惡法又惡法ガ次ギ／＼ト現ハレテ參ルヤウデゴザイマスガ、此ノ木材検査程ノ惡法ハ近來稀レダト思ツテ居ルノデゴザイマス、殊ニ此ノ木材検査ノ結果ト致シマシテハ、東北ノ人的資源ニ實ニ甚大ナル惡影響ヲ及ボシテ來ルノデゴザイマス、其ノ細カイ數字ヲ申上ゲルコトハ省略致シマスガ、結論トシ

テハ此ノ木材検査ヲ廢止セラレル御意思アリヤナシヤ伺ツテ置キタイノデアリマス
○田中政府委員 今後ノ木材ノ需給關係カラ見マシテ、各府縣、二十三府縣位ニナツテ居リマシタガ、從來ノ單純ナ品等區分ノ検査ト云フヤウナ程度ノモノデハ——勿論ソレモ一ツノ理由デハアリマスカレドモ、ソレダケデハゴザイマセヌノデ、將來ノ木材ノ需給關係カラ致シマシテ、木材ノ検査ヲ廢止スルト云フ考ハ今ノ所ナイノデアリマス

○林委員 木材ノ細カイ質問ニ入リタクハナイノデスカ、木材ノ原木検査ノ必要ハドウ云フ點ニアリマスカ

○田中政府委員 素材ノ検査デアリマスガ、ヤハリ是ハ當業者ノ利便カラモ考ヘテ居ルノデアリマスガ、今御承知ノ通りニ此ノ素材ニ付テノ木取りノ關係ノ如キモ非常ニ區別デアリマス、是ガモウ少シ合理的ニ木取りヲサレルト致シマスレバ、相當用材ガ合理的ニ利用サレルト云フ點モアルノデアリマス、一例ヲ舉ゲマスレバ、電柱等ニ付キマシテモ、長サニ於テ隨分——是ハ自然木デアル關係モアリマスカレドモ、色々アリマス、サウ云フヤウナ木取り等ノ關係、ソレカラ又検査其ノモノノ關係ノ品質ノ問題ニ付キマシテモ、コナラガハツキリト規格ヲサレバ、ソレダケ取引ノ便益モアリマシ、ソレカラヤハリ素材ノ利用ニ付キマシテ、或ル所ハ板ニ取り、或ル所ハ坑木、其ノ次ハ薪炭ト云フヤウナ風ニ木取りヲスルト云フヤウナ指導ト云フヤウナコトモソレニ伴ヒマス、又將來其ノ需給問題ニ付キマシテハ、場合ニ依ツテハ例ヘバ松ノ如キハ、「バルブ」用材、坑木用材、枕木用材、更

ニ箱用材ト云フヤウニ、松ダケニ付テ用途ガ非常ニ集中シテ居リマス、最近石炭ノ問題ガアリマスガ、坑木ガ足りナイカラト云ツテ坑木ノ供給ニ付テ色々言ハレマス、ソレカラ軍需ニ付テモ、簡易建築用材トシテノ松丸太等ノ問題ガアリマス、サウ云フヤウナ場合ニ於キマシテ、力ノ有ル者ガ松ヲ取ツテシマフト云フヤウナコトニナリマスルト、國家ノ斯ウ云フ際ニ於キマシテ、色々支障ガ生ズルト思フノデアリマス、サウ云フ場合ニハヤハリ或ル程度ノ素材ニ付テノ検査ヲ致シテ置キマシテ、サウシテ皆ニ其ノ利用ガ出來ルヤウニスル必要ガアルノデハナイカ、サウ云フヤウナ場合ニ於テハ、ドウシテモ検査ガ前以テ準備サレテアリマセスト、其ノ時ニ急激ニドウダト云フコトモ出來マセシ、又急激ニヤリマスレバ、ソレダケノ迷惑ガ掛ルト云フコトニモナリマスノデ、資材ノ検査ヲ廢メルト云フコトハ、只今ノ所困難デアルト思ヒマス

○林委員 ドウモサツパリ實際ニ當嵌ツタ御答デハゴザイマセヌガ、素材ヲ検査スル必要ト云フモノハ、今ノ御話デハドウモ肯ケマセヌ、先ヅ木取りヤ何カニ付テモ云々ト云フコトデゴザイマスルガ、一體此ノ検査ヲスル人ガ、木ト云フモノガドウ云フモノダカ知ラナイ者ガ四五日ノ講習位デ——今マデ炭焼ヲシテ居ツタヤウナ人達、或ハ米ノ検査デモシテ居ツタヤウナ人達ガ三日ヤ五日ノ講習ヲ受ケタダケデアツテ、ロクニ木ノ種類ノ判別モ付カナイ者ガ多イノデス、吾々ハ山ノ中デ育ツテ相當能ク知ツテ居ル積リデアルガ、吾々モ實際ノ板ニナツタ時ニハ是ガ松ノ板カ杉ノ板カ分ラナイ、杉カ檜カ分ラナイヤウナ場合ガ多イノデス、洵

ニ滑稽ナ話ガ澤山アル、検査ニ行ツタ者ガ小僧ヲ擱ヘテ、オイハ檜カ松カ教ヘテ呉レ、イヤ検査員ニ教ヘル譯ニハイカナイ、オ前ノ方デ検査スレバ宜イダラウ、何ダ貴様生意氣ダト云フノデ、撲リ合ヒニナツテ喧嘩シタト云フ話ヲ二三聞イデ居ル、恐ラク到ル處ニ斯ウ云フ滑稽ナ問題ガ起ツテ居ルノダト思フ、二十圓カ二十五圓ノ少イ月給ヲ支給シテ足リルヤウナ者デ、木ノ中カラ生レテ來タヤウナ、玄人ノ木材人ノ物ヲ検査スルト云フヤウナコトハ、テンデ其ノコト自體ガ誤ツテ居ルノデス、國家ノ權力サヘアレバ、切レナイ刀デモ切レルト考ヘル所ガ間違ツテ居ルノデス、切ル能力ノナイ刀デ切ツテ行ケル筈ガナイノデス、ソレト同ジヤウニ二十圓ヤ三十圓ノ少イ月給ヲ呉レテ間ニ合フヤウナ人達デ以テ、木カラ生レタト同ジヤウナ木材人ノ物ヲ検査シテ品位定メヲマデスルト云フヤウナコトハ、以テノ外デス、サウ云フ不合理ナコトヲ無理押シニサレルカラシテ、露々トシテ國民ノ不平ノ聲ガ起ツテ來ルノデス、サウシテ大キナ木材ト云フモノハ大體不便ナ所ニアリマス、嶮岨ナ奥山ニゴザイマス、其ノ奥山ニ行ツテ目通り三尺モ五尺モアルヤウナ太イ木ヲ伐倒シテ、サウシテソレヲ検査スル爲ニ一箇處ニ集メルト云フコトガ如何ニ困難カト云フコトハ、アナタ方御分リデハゴザイマセヌカ、検査ヲ受ケル爲ニ一箇處ニ集メテ來ルコト自體ガ、如何ニ困難デアルカト云フコトガ分リマセヌカ、而モ之ヲ集メテ來テ、其ノ大木ヲ上ニシタリ下ニシタリシテ、一本ノモノヲ天地返シシテ見セナケレバナラス、検査場ニ來テ一本ヲ動かサダケデモ容易ナ任務デヤゴザイマセヌ、ソレガ

何百本、何千本ト云フモノヲ検査スルニハ、實ニ莫大ナ所ノ努力ヲ要スルノデゴザイマス、而モ山主ガ居ナケレバ検査ヲシテヤラスト云フヤウナコトヲ言ハレバ、山主ハ態、其處マデ出張シナケレバナラス、殊ニ役人デスカラ、雨ガ降ツテ行カナイコトモアルデアラウシ、時間外デ行カナイコトモアルデアラウシ、中々検査ヲ完了スルマデニハ容易デハナイノデアリマス、而モソレガ效果ノアルモノナラバ是ハ宜シウゴザイマスガ、原木ヲ検査シテ、品ノ良否ナドハ分ラナイノデアリマス、長サガ規格ニ合ハナイトカ、不揃ヒデアルトカ仰セラレケレドモ、ソナモノハ一本ノ通牒ヲ出サレテ、今度ハ板ノ厚サハ斯ウセヨ、長サハドウセヨト云フ規格ヲ定メラレテ全國ニ通牒ヲサレタナラバ、何人デモ之ヲ守ラナイ者ハナイイデセウ、第一停車場ニ來テ、直チニ寸ノ縮ンデ居ルモノ、伸ビテ居ルモノハ分ルノデゴザイマスカラ、間カラ間ニ使用スル譯ニハ行カナイ、唯一本ノ通牒ヲ以テスレバ、數百人、數千人、數万人、數十万人ト云フ多クノ人ヲ要スルヤウナ煩瑣ナコトヲヤラレル必要ハナクナルノデハナイカト思ヒマス、先ヅ大體一萬圓ノ山ノ木材ノ検査ヲ受クルノニハ、約百人ノ努力ヲ要スル計算ニナツテ居ルノデアリマス、假ニ福島縣ニ一萬圓ノ木材ガ出ルトスルナラバ、百萬人ノ努力ヲ要スルノデアリマス、勿論是ハ延人員デアリマスガ、斯ウ云フ驚クベキ數字ニ上ツテ來ルノデゴザイマスカラ、努力、人的資源ノ極度ニ拂底シテ居ル今日、何ノ效果モナイ此ノ木材検査ヲ續ケテ行カレルト云フコトハ、私共ノ常識ヲ以テスルナラバ、官吏ノ方々ガ自分ノ面目ヲ

立テントシテ國民大衆ニ迷惑ヲ掛ケルコトヲ顧ミナイト云フヨリ外ナイト思フ、此ノ點ニ對スル御考慮ヲ願ヒタイト思フノデスガ、如何ナモノデゴザイマセウカ

○田中政府委員 木材検査ノ場所、方法等ニ付テ、何分施行當初ノコトデアリマスカラ、或ハ地方的ニハ不便ナ場合ガアルカト思ヒマス、サウ云フ點ハ出來ルダケ改メルヤウニ地方廳トモ相談ヲシタイト思ヒマス、併シ此ノ木材検査ヲ廢メルト云フ考ヘ方ハ、將來ノ木材供給ノ關係、取引上ノ問題、或ハ價格ノ問題モ、既ニ昨年ノ七月カラ相當大キナ問題ニナツテ、吾々ニハ公定價格ヲ作レト云フ主張ガ非常ニ強ク起ツテ居ルノデアリマス、併シナガラ吾々トシテハ規格ヲ定メサシテ戴カナケレバ價格ト云フモノハ出來ナイ、東京市場デサヘモ數十萬圓アルト言ハレテ居リマス、大阪市場亦十萬トカ二十萬トカ云フヤウナコトデアリ、又名古屋市場モ十萬カラアルト稱サレテ居リマス、サウ云フモノニ關シマシテ公定價格ヲ決メルコトハ、是ハ吾々トシテハ又閣取引ヲ助長サセルト云フヤウナコトニモナリ、ソコニ色々問題ガアリマシテ、又十五年度ニ於ケル需給關係カラシテモ、從來ノ儘デアルト營業者モ困ラデアラウト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○林委員 其ノ規格ノ點ハ通牒一本デ國民ハソレヲ守ルト私ハ信ジマス、忠良ナル、善良ナル國民ハ、通牒一本デ規格ヲ定メラレタナラバ必ズ守ルモノナリト固ク信ジテ疑ヒマセヌガ、農林省ハ信ズルコトハ出來マセヌカ、此ノ點ヲ伺ツテ置キマス

○田中政府委員 ヤハリ規格ハ合理的ニ實際ノ取引ニ即シタヤウニ定メルト云フコト

ガ必要デアリ、又木材業者ノ方ハサウ云フ
風ニ御考ニナリマシテモ、註文者ノ方カラ
色々ナ規格ガ註文サレノデアリマス、其
ノ間ノ關係モアリ、サウ簡單ニ通牒一本デ
行ハレルト云フコトハ、國民ノ信不信ノ問
題デハナクシテ、實際ノ問題トシテ中々困
難ダト思ツテ居リマス

○林委員 ソレデハ益ヲカシクナツテ來
ルノデス、註文者ノ方ノ好キ不好キ、希望
ト云フヤウナモノニ依ツテモ色々變ルト云
フノデハ、ソレデハ規格ト云フモノハ無ク
ナツテシマフノデス、ソレハ規格ト云フモ
ノハ註文ヲ十尺ニシタイトカ、九尺八寸デ
宜イトカ、十尺三寸デ宜イトカ、ソナコ
トヲ言ハズニ、キツパリ十尺ナラ十尺ニス
ルトカ、十尺五寸ニスルト云フトコロ
ニ規格ガアルノデ、色々、賣手ニハ賣手ノ
註文ガアリ、買手ニハ買手ノ註文ガアツ
テ、中々サウハ行カナイト云フコトニナレ
バ、モウ既ニ規格ト云フモノハ認メナイコ
トニナリ、規格檢査ハ出來ナイト云フコト
ニナルノデアリマセヌカ

○田中政府委員 サウ云フヤウナ事情カラ
致シマシテ數十ワト云フ規格ガ出來タノダ
ト思ツテ居リマス、ソレデアリマスカラ
吾々ト致シマシテハ今日ノ程度ノ規格ヲ基
礎トシテ、サウシテソレニ或ル程度ノ制限
ヲ設ケテ、成ベク此ノ規格ノ範圍ニ於テ
止メヨウト云フコトニシテ居ル譯デアリ
マス

○林委員 規格ヲ定メラレタナラバ規格以
外ハ沒收スルトカ賣買ヲ禁ズルト云フコト
ニナレバ、何モ何十万、何百万ト云フヤウ
ニ全國のニハ實ニ驚クベキ數ニ上ルヤウナ
新ナル努力ノ捌口ヲ態々作ラナクトモ、

通牒一本デ嚴守サセル方法ガアラウト思
フ、寧ろ炭、米ノ闇取引ヲ防グヨリハ遙ニ
簡易ニ取締ルコトガ出來ルト固ク信ズル
デアリマスルガ、飽マデヤハリ實際山ニ行
ツテ調査シナケレバ實行出來ナイト云フオ
考ヘデゴザイマセウカ、モウ一遍伺ツテ見
タイ

○田中政府委員 米、炭ハ既ニ檢査ガ施行
サレテ居リマシテ一定規格ヲ下ニ取引ガ爲
サレテ居リマス、隨ヒマシテヤハリ木材ニ
付テモ檢査ト云フモノガナイ以上ハ中々厲
行ガ困難ダト思ヒマス、ノミナラズ木材ハ
規格ハ多種多様ニ出來得ルト考ヘテ居リマ
ス

○野村委員長 同ジコトヲ繰返シテ見タツ
テ仕樣ガナイガ、ドウデス

○林委員 同ジコトヲ繰返スコトハモウ止
メマス、ソレデ實際徹頭徹尾農林省ノ御意
見ヲ承認スルコトハ出來マセヌガ、規格ハ
アナタ方ハ飽マデモ通牒一本デハイカス、
實際現場ニ付テ一々調査シナケレバナラヌ
ト云フノデスカラ、是ハ努力ノ非常ナ多ク
ヲ要スルコトヲ覺悟ナサル譯デゴザイマス
ガ、サウスレバ茲ニ御尋シタイ、サウ云フ
ヤウニシマス、此ノ檢査ヲ受ケル爲ニ必
要ナル人夫ノ負擔ハ荷主デゴザイマスガ、
荷主デアラウガ、誰デアラウガ、ソレハ別
トシテ、非常ニ多數ノ努力ヲ新ニ要スル結
果トシマシテ、勞銀ノ昂騰ヲ來スト云フコ
トハ當然ダト思フガ、ソレヲ御認メデゴザ
イマセウカ

○田中政府委員 ソレ程多數ノ努力ニ要ス
ルトハ思ツテハ居リマセヌ、或ハ部分的ニ
努力ノ不足ノ所ハ多少アルカモ知レマセヌ
ガ、ソレハ全般的ニサウ云フ現象ハナイト

思ツテ居リマス

○林委員 ソレデハ此ノ木材檢査ヲスル爲
ニ全國のニ要スル努力ハ凡ソ何百万人位ニ
見テ居ラレルカ、及ビ東北ハドノ位ニ見テ
居ラレルカ、其ノ數字ヲ伺ヒマス

○田中政府委員 其ノ數字ヲ正確ニ調べテ
ハ居リマセヌガ、少クモソレ程非常ナ澤山
デアルトハ思ツテ居リマセヌ

○林委員 ドウモ非常ニ澤山ダトハ思ハナ
イト云フノハ、非常ニ澤山ト云フヤウナ言
葉デハ分リマセヌ、百万人ノコトヲ澤山ト
言ツテ居ルノカ、千万人ノコトヲ澤山ト
言ツテ居ルノカ分リマセヌカラ、是ハ思フ思
ハナイノ話デナク、實際ノ數字ヲ御提出願
ヒタイト思フノデス、如何デセウカ

○田中政府委員 實際ノ數字ヲ取調べテ申
上ゲルト云フコトハ、中々急ニハ行カヌト
思ヒマス

○林委員 無責任甚ダシイト思フ、吾々ノ
計算ニ依ルト、ハツキリ數字ヲ申上ゲテ居
ルノデス、山代金一万圓ノ山ヲ處理シテ行
ク爲ニ八百人ノ人夫ヲ新ニ要スルト云
フハツキリシタ數字ヲ申上ゲテ居ルノデ
ス、所ガアナタ方ハ國民ニ非常ナ負擔
ヲ負ハセルコトヲ付テナンボ掛ルカ知リ
マセヌデハ居ラレナイデセウ、普段ナ
ラバ兎モ角モ、今此非常時ニ人的資源ガ
最も重大ナル國策遂行ノ一ツノ要素ニ
ナツテ居ル時ニ、非常ニ國家ニ迷惑ヲ
掛ケナケレバナラス、國民ニ負擔ヲ負ハセ
ナケレバナラス、此ノ仕事ヲ新ニ實施サレ
ルノニ、大シタコトハアリマスマイ位ナ態
度デ居ラレルト云フノハ餘リニ無責任ト
ハナケレバナラスト思フ、是ハ是非トモ調
ベテ戴カナケレバナリマセヌ

○田中政府委員 吾々ノ檢査ハ、斯ウ言ツ
テハ釋迦ニ説法デアリマスガ、吾々ガ好キ
好シデ御迷惑ヲ掛ケテ居ルト云フ考デハナ
イノデアリマシテ、國家ノ目的カラ言ヒマ
シテドウセ檢査ヲヤルノデアリマスカラ、
犠牲ハ或ル程度ニアルト思ヒマス、ソレハ
木炭檢査デモ米ノ檢査デモ同様デアリマ
ス、併シナガラ今後ノ木材需給ノ關係カラ
言ヒマシテ、之ヲ其ノ儘放任スルト云フコ
トデハ實際此ノ事變下ニ於ケル資材ノ要求
ニ應ズルコトモ出來ナイト思フノデス、最
近陸軍軍用材ニ付テ吾々ニ御要求ガアリマ
シタガ、此ノ檢査ガアツタ爲ニ全國的ナ規
格ニ依ツテノ價格ノ協定ガ出來タノデアリ
マス、若シ是ナクシテヤルト云フコトデア
リマスレバ、吾々ノ手デハ一寸出來兼ネマ
スノミナラズ、又今協定價格、公定價格ノ
問題ガヤカマシイノデアリマスガ、協定價
格公定價格ヲ作ルニ付キマシテハ、申上ゲ
ルマデモナク規格ヲ定メナケレバ不可能ナ
コトハ御承知ノ通りデアリマス、サウ云フ
ヤウナ關係カラ致シマシテ、吾々役人ガ好
キ好シデヤツテ居ル譯デハナクシテ、兎ニ
角國民ノ爲、又當業者ノ爲、又林業ノ爲ニ
モ其ノ必要ガアルト云フノデヤツテ居ル譯
デアリマス、一人當リノ檢査員ノ檢査ノ分量
ト云フモノハ大體見當ヲ付ケテ居リマス、
其ノ他檢査ニドレダケノ人夫ヲ要スルカト
云フコトハ、先程申上ゲマシタヤウニ急ニ
ハ參リマセヌケレドモ、或ル程度ノ時間ガ
アレバ、又現在檢査ヲ施行シテ居ルノデア
リマスカラ、其ノ施行ノ狀況ニ付テノ基礎
數字モアリマスカラ、調べヨウト思ヘバ出
來ルト思ヒマスケレドモ、急ニ御間ニ合セ
ルト云フコトハ出來兼ネル、斯ウ云フ譯デ

アリマス

○林委員 検査ガアツタカラ軍用材ナドノ要求ニモ應ズルコトガ出来タト言ハレルガ、是ハ實ニ途方モナイ話デアツテ、假令サウ云フ検査ガナクテモ、幾ラモ別ノ方法デ軍用材ニ容易ニ應ズル方法ハアラウト思フ、ナカツタナラバ應ジラレナカツタト云フコトハ、實ニ私共カラ見ルト詭辯トハ申上ダヌケレドモ、不思議ナ御言葉ト拜聴スルヨリ外ハナイノデアリマス、併シソレモ押問答デスカラ止メマス、先程伺ツタ勞銀ノ點モ大シタ人數ハ要ラナイカラ、勞銀ニモ影響シナイト云フ御口吻デゴザイマスガ、

是モ徹頭徹尾吾々ハ諒承スルコトガ出来ナイ、諒解ハ出来ナイノデスガ、尙ホモウ一度伺フコトハ、此ノ奥山ニ於テ検査ヲスル時ニ使用スル所ノ人夫、サウ云フ人達ハ商人トカ百姓トカ云フモノガ行ツテヤルノデハナイ、大體炭焼デモスルヤウナ側ノ人達ガ行クノデゴザイマス、サウ云フ人達が臨時ニ今日ハ検査ガアルカラ來テ呉レト云フヤウニ雇ハレテ行クノデアリマスカラ、結果トシテハ製炭ノ増産ニ影響ヲ持チ、木炭ノ生産ニ影響ヲ持ツト云フコトモ想像出来ルノデゴザイマスガ、サウ云フ影響ナシトノ御見解デゴザイマセウカ

○田中政府委員 寡聞ニシテ製炭業者ガ検査シテ居ルト云フコトヲ實ハマダ聞イテ居リマセスガ、其ノ検査場所或ハ方法ニ付テ負擔ガ重クテ困ルト云フ點ニ付キマシテハ、調査ヲ致シマシテ、サウ云フコトノナイヤウニ出来ルダケスル積リデアリマス、検査員ノ質ニ付キマシテ御話デアリマスカ、検査員ノ質ニ付キマシテモ、質ノ惡イ者ニ付キマシテハ、段々改メテ行キタイト

思ツテ居リマス

○林委員 ドウモ餘リ御聽キスルト意見ノ一致シナイヤウニナツテシマヒマスカラ、私ハ農林大臣ニ對スル御尋ヲ留保シマシテ、山林局長ニ對スル御尋ハ是ヲ以テ終リマス

○野村委員長 小野君

○小野委員 私ハ極ク簡單ニ文部省ノ政府委員ニ對シテ御伺致シタイト思ヒマス、生産力擴充計畫ニ伴ヒマシテ、政府ハ本年度カラ高等工業學校ヲ全國ニ互ツテ數箇所開設ヲシタノデアリマスガ、アノ計畫ハ最初ハ相當大規模ナ豫定ニナツテ居ツタヤウニ承知シテ居ツタノデアリマスガ、愈々豫算ニ出テ見マスルト最初ノ計畫ヨリモ遙ニ縮小サレマシテ、慥カ最初ノ計畫ハ二十何校デアツタト思ヒマスガ、豫算ニ現ハレマシタモノハ七校ニ過ギナカツタトコトデアリマス、相當國民ヲ失望セシメタモノガアルト信ズルノデアリマス、尤モ政府カラ言ハシムレバ、國家財政トノ關係ヲモ睨ミ合セナケレバナラヌト云フヤウニ何時モ言譯サレルノデスガ、ソレト今一ツハ折角學校ヲ開設シテモ、先生ガドウモ今年ノ春ニハ間ニ合ハナカツタ、其ノ他色々機械設備ノ關係デモ間ニ合ハヌモノガアル、斯様ナ理由デ結局文部省ハ相當大規模ナ計畫ヲ最後マデ遂行シタイト云フ御考デアツタラシイガ、大藏省ノ方ノ大斧鉞ヲ蒙リマシテ結局現在ノ七校ニナツタヤウデアリマシテ、隨テ是等ノ施設ノ遅レテ居リマス所ノ東北地方デハ極メテ猛烈ナル誘致ノ運動ト申シマセウカ、爭奪ノ運動ノ起ツタコトハ御承知ノ通りデアリマセウ、其ノ結果吾々トシテハ色々ナ點ニ遺憾ヲ感ジタノデアリマス、一々例ヲ指摘申上

ゲマスレバ、人ノ關係ヤ何カニ互リマスノデ、私ハ茲デハ御遠慮申上ゲタイト思ヒマスガ、併シ吾々ハ當時此ノ希望ヲ當局ニ申述ベマシテ、吾々ノ縣ニモ是非トモ一校ノ新設ヲ見タイト云フ考ヲ持ツテ居ツタノデアリマスルガ、結果ニ於テハ遺憾ナガラ其ノ希望ヲ達成スルコトガ出来マセナシダガ、是等ノ陳情其ノ他ノ場合ニ際シマシテ、當局ハ今年ハ是デケケレドモ、更ニ來年又來々年ト第二期第三期ノ計畫ヲ繼續シテヤルノダカラ、何モ今年デナイカラト云ツテ、此ノ次ニ是非トモ君ノ方ニ持ツテ行クヤウニシタラ宜カラウト云フ話ヲ承リマシテ、其ノ當時ハ其ノ將來ノ第二期計畫、第三期計畫ニ一縷ノ望ヲ囑シテ居ツタノデアリマスルガ、現在ニ於テハモウ既ニ政府ノ方針トシテ、大體縮小サレタ計畫其ノ儘ニナツテ、アトノ計畫ハ吾々ノ眼ニハ見エナイヤウデアリマス、併シナガラ此ノ生産力擴充計畫ハ益々國家的ニ必要デアル、是等生産力擴充ト相關シテ最モ其ノ運用ニ必要ナル人的資源ノ養成ト云フコトハ、今日ノ場合一日モ忽セニスベカラザル重要問題デアラウト思フノデアリマス、隨テ又東北各縣ニ於キマシテモ、最近ハ關東關西程デハゴザイマセスガ、漸ヲ追ウテ近代産業ノ新設發展振興ヲ見ツアルノ情勢デアリマシテ、殊ニ我ガ青森縣ニ於テハハ戶港ノ築港ノ進展ト共ニ各種ノ近代産業ガ、水陸ノ交通機關ニ惠マレテ居リマスルアノ地方ニ集中シツアルノ情勢ニアルノデアリマス、更ニ又大湊要港ヲ中心トシマシテ、アノ方面ニモ工業ガ起ラントスルノ情勢ニアリ、既ニ新設ヲ見テ居ル相當ナ工場モアルヤウナ實情ニアルノデアリマス、

隨ヒマシテ百萬縣民ハ是等ノ仕事ニ從フ所ノ人的資源ノ養成ニ對シテハ非常ナル關心ヲ以テ其ノ誘致ニ熱心ナ希望ヲ持ツテ居ルハ、最初ニ御考ニナリマシタ二十數校ノ計畫ヲ全然放棄セラレタノデアルカ、或ハ又近キ將來ニ之ヲ復活致シマシテ、第二期或ハ第三期ノ計畫ヲ促成サレントシツアルノデアルカ、而シテ是等ノ學校ノ新設ニ際シテ最モ必要ナル機械設備其ノ他先生ノ養成ハ現在ノ所ドウ云フヤウニ御考ニナツテ居ルカ、是等ノ點ニ付キマシテ文部當局ノ御所見ヲ拜聴シタイト思ヒマス

○舟橋政府委員 只今小野サンカラ東北六縣方面ニ於ケル産業擴充ノ目的カラ、高等工業學校關係ノ專門學校増設ガ文部當局ノ當初ノ計畫通り現在ナツテ居ラスノハ甚ダ遺憾デアル、産業擴充計畫ニ即應スベキ是等ノ當初ノ計畫ヲ今後ドウスル方針デアルカ、大體左様ナ御質問デアリマシタ、ソレニ對シテ簡單ニ御答辯致シマスルガ、文部當局ト致シマシテハ、當初ノ計畫通り今日實現ヲ見ナイコトハ甚ダ遺憾ニ存ジテ居リマス、勿論當初ノ計畫ヲ拋棄スル意思ハ全然持ツテ居リマセスガ、唯時局ノ關係カラ、色々物資ノ不足、又教員ノ養成ト云フヤウナ點ヲ顧慮致シマスルト、中々急激ニ澤山ノ是等ノ專門學校ノ増設ト云フコトヲ一時ニ計畫致シマシタ所デ、實際的ニハ實現ガ困難ト思ヒマスノデ、是ハ漸ヲ追ヒマシテ、所謂長期建設ノ計畫ノ下ニ、當初ノ目的、計畫ヲ將來實現致シタイト考ヘテ居リマス、隨テ是等ノ學校ニ——將來増設致サレマスル學校ニ當テマスル所ノ教員ノ養成等モ、是亦現在ニ於テモ色々方策ヲ講ジテ養成ニ着

手中デアリマス、將來當初ノ計畫ガ實現セラレマスル曉ニ於キマシテモ、教員ノ不足設備ノ不充實ト云フヤウナコトガナイヤウニ十分ニ注意致シタイト考ヘテ居リマス

尙ホ東北六縣方面ニ於テ專門學校ノ數ガ少イ、最近出來マシタ七校ノ中デモ、盛岡ニ一校ダケシカ出來テ居リマセス、是等ノ點ニ付キマシテモ、將來東北方面ニ増設致シマスル場合ニ於キマシテハ、能ク各地ノ狀況、其ノ他諸種ノ條件ヲ考慮致シマシテ、不公平ニ相成ラヌヤウニ十分ニ考慮致シタイト思ツテ居リマス

○小野委員 只今ノ御答辯ヲ得マシテ大體ノ文部省ノ御方針ガ分ツタノデアリマシガ、是等人的資源ノ養成ハ、現在、將來ニ於ケル東北振興ト不可分ノ關係ニアルノデアリマス、殊ニ東北六縣ニ於ケル專門的ナ實業學校ト申シマセウカ、是等ノ專門學校ノ配置ヲ見テミマスルニ、唯一校ヲモ有セザルモノハ青森縣デアリマス、而モ最近ニ於テ八戸港ヲ中心トシタル近代産業ノ勃興ハ、東北各縣ヲ通ジマシテ最モ顯著ナルモノアリト私ハ左様ニ信ジテ居リマス、是ハ或ハ文部當局モ之ヲ御承認ニナルコトデアラウト私ハ思フノデアリマスルガ、是等ノ關係ヲ考慮ヒマシテ、近イ將來ニ文部省ノ最初ノ方針ヲ御實施ニ相成リ、而モ其ノ際ニハ特ニ是等ノ狀況ヲモ御考慮下サイマシテ、最善ノ方法ヲ講ゼラレンコトヲ特ニ御願ヲ申上ゲマシテ私ノ質問ヲ打切りマス

○井上委員 小野君ノ質問ニ關聯シマシテ簡單ニ御尋致シタイト思ヒマス

○野村委員長 宜シウゴザイマス

○井上委員 燃料資源ノ開發ハ、現下ノ我

國、又將來ノ我國ニ取リマシテ最モ大事ナコトデアラウト思ヒマス、ソコデ秋田鑛山專門學校——勿論秋田縣ハ非常ナ工業縣デアリマスカラシマシテ、採鑛冶金科トカ何トカ云フ學科ハ秋田鑛山專門學校ニアルデアリマセウガ、アノ學校ニ石油ニ付テ研究スル所ノ一學科ガアルノデアリマスカ、ドウデアリマスカ、之ヲ御伺シタイノデアリマス

○舟橋政府委員 秋田鑛山專門學校ノ學科中ニ石油研究關係ノ講座ヲ持ツテ居リマスカレバ、總理大臣ガ四時ニ來ルト云フノガ遅レマシタガ、少シ待ツテ下サイ、サウセスト機會ヲ失スル虞ガアル——ソレデハ今日ハ是ニテ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ開會致シマス

午後五時一分散會

昭和十五年二月二十七日印刷

昭和十五年二月二十八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局